

6.講義概要(シラバス)

日進キャンパス

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
1	春	言語	ドイツ語Ⅲ(総合)	糸井川修	月	3	6

【副題】ドイツ語の基礎の応用(1)

【講義内容】

ドイツ語の基礎文法を一通り学び終えた方を対象に、文法を反復練習しながら、中級への橋渡しを目的とする授業です。日常表現を中心とした教材を用いて、ドイツ語の正しい理解、発音、独作文などに挑戦し、ドイツ語に慣れ親しんで頂きたいと思います。授業はLL教室で行い、映像教材を見たり、機械を使った発音練習なども行います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
2	秋	言語	ドイツ語Ⅳ(総合)	糸井川修	月	3	6

【副題】ドイツ語の基礎の応用(2)

【講義内容】

ドイツ語Ⅲ(総合)の内容と教材を引き継いで行う、中級への橋渡しを目的とする授業です。基礎文法の反復練習に加え、関係代名詞や接続法などの文法も取り上げ、やや複雑な文章にも挑戦しながら、ドイツ語の理解を深めて頂きたいと思います。授業はLL教室で行い、映像教材を見たり、機械を使った発音練習なども行います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
3	春	言語	中国語Ⅰ(基礎)	勝股高志	火	2	6

【副題】中国語の入門(1) 発音と簡単な表現

【講義内容】

中国語の初級を学びます。中国語は初級の段階ではそれほど難しくはありません。発音は少々難しいところがありますが、文法は比較的学びやすいものです。動詞の変化などの面倒な規則はありませんし、基本的な語順さえ覚えれば、簡単な言葉ならすぐ使えるようになります。この授業ではまず発音を練習した後、中国語の構造を説明しながら、簡単な表現を学びます。まずは初歩的な中国語が使えるようにしていきたいです。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
4	秋	言語	中国語Ⅱ(基礎)	勝股高志	火	2	6

【副題】中国語の入門(2) 中国語を使ってみましょう

【講義内容】

春学期の中国語Ⅰ(基礎)の続きです。春学期で中国語の発音の説明・練習は終わりますが、秋学期でも発音の指導は引き続き行います。そして、中国語の構造を解説しながら、色々な表現を学んでいきます。初級の段階ではそれほど複雑な表現を学ぶことはありませんが、実際に中国語を使おうとするとなかなか口から出てこないことが多いようです。授業の中でできるだけ中国語を使う機会を作り、中国語を使うことに慣れてもらおうと思います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
5	春	言語	教養セミナーⅢ	齋藤和佳子	木	2	6
【副題】「ボンジョルノ！イタリア」－文化と会話－（入門）							
【講義内容】 イタリアに関心のある方を対象に、イタリアとの出会いを深めていきます。「イタリア料理」と「イタリアの街」にスポットをあてて文化を理解し、「日常会話」を通して発音や文法の基礎を学びながらイタリア語に親しみます。繰り返して練習することにより簡単な自己紹介ができることを目指します。パワーポイントやビデオなどの視聴覚教材も活用していきます。魅力の国、イタリアの扉を開けてみましょう。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
6	秋	言語	教養セミナーⅣ	齋藤和佳子	木	2	6
【副題】「ボンジョルノ！イタリア」－文化と会話－（初級）							
【講義内容】 春学期に引き続き、イタリアとの出会いを深めていきます。「イタリア料理」と「イタリアの街」にスポットをあてて文化を理解し、「日常会話」を通して発音や文法の基礎を学びながらイタリア語に親しみます。繰り返して練習することにより簡単な自己表現ができることを目指します。パワーポイントやビデオなどの視聴覚教材も活用していきます。魅力の国、イタリアの扉を開けてみましょう。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
7	春	言語	中国語会話Ⅰ	朱新建	木	4	6
【副題】 少人数のペアワークによる楽しい会話							
【講義内容】 入門から初級レベルまでの中国語会話です。ペアワークによる会話の練習をしていきます。発音を重視し、ペアワークによる会話の発表を毎回行います。中国映画観賞を通して聴解力をアップします。受講生の中国語検定試験HSKへの挑戦をバックアップします。中国語学習経験者も大歓迎ですので、若い学生たちと楽しく中国語の会話をしましょう。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
8	秋	言語	中国語会話Ⅱ	朱新建	木	4	6
【副題】 少人数のペアワークによる楽しい会話							
【講義内容】 入門から初級レベルまでの中国語会話です。ペアワークによる会話の練習をしていきます。発音を重視し、ペアワークによる会話の発表を毎回行います。中国映画観賞を通して聴解力をアップします。受講生の中国語検定試験HSKへの挑戦をバックアップします。中国語学習経験者も大歓迎ですので、若い学生たちと楽しく中国語の会話をしましょう。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
9	春	英語	通訳・翻訳入門	中村幸子	火	3	5

【副題】 通訳・翻訳の世界を知る

【講義内容】

概論的通訳法の講義と通訳の基礎的かつ実践的な訓練メニューを体験しつつ、題材、教材を通じて、英語的資質、英語運用能力、思考力、論理性、対人コミュニケーション能力、美しい話し言葉としての日本語の向上を目指します。英日逐次・同時通訳の基本的な訓練を行います。指定テキスト『通訳トレーニングコース』(水野・鍵村・中村共著)大阪教育図書¥1,800を成文堂にて購入してください。授業はパソコン教室で行ないます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
10	秋	英語	通訳・翻訳基礎	中村幸子	火	3	5

【副題】 通訳・翻訳の基礎的技能を高める

【講義内容】

この科目のねらいは、本学で通訳翻訳入門を履修したことがある人あるいは別の機関で同様の講座の受講経験がある人が、更に通訳・翻訳の世界への理解を深め、必要な基礎的かつ実践的技能を高めることです。駆け出し通訳の3大業務であるレセプション・商談・工場見学通訳などを体験し、訳すことの楽しさも味わいます。翻訳では社会的ニーズの高い実務翻訳や日英字幕翻訳に挑戦します。授業はパソコン教室を使用します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
11	春	英語	通訳法a	中村幸子	月	2	5

【副題】 基礎的な通訳訓練法を理解し、逐次・同時通訳の技法を習得する

【講義内容】

概論的通訳法の講義と通訳の基礎的かつ実践的な訓練メニューを体験しつつ、題材、教材を通じて、英語的資質、英語運用能力、思考力、論理性、対人コミュニケーション能力、美しい話し言葉としての日本語の向上を目指します。英日逐次・同時通訳の基本的な訓練を行います。指定テキスト『通訳トレーニングコース』(水野・鍵村・中村共著)大阪教育図書¥1,800を成文堂にて購入してください。授業はパソコン教室で行ないます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
12	秋	英語	通訳法b	中村幸子	月	2	5

【副題】 逐次通訳技能を確立し同時通訳の技能を磨く

【講義内容】

「通訳法 a」で習得した通訳技能を駆使し、さらに実践力を伸ばしていくことを目的としています。逐次通訳のスタイルを確立し、明確で歯切れの良い話し方で聴衆に向かって語りかける意識を高めます。十分に学習した内容なら英日同時通訳ができることを目標とします。指定テキスト『通訳トレーニングコース』(水野・鍵村・中村共著)大阪教育図書¥1,800を成文堂にて購入してください。授業ではパソコンを使います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
13	春	言語	フランス語Ⅰ(基礎)	長谷川洋	火	2	6

【副題】 初めて学ぶフランス語(Ⅰ)

【講義内容】

フランス語はどんな言語なのでしょう。それをこの授業で学びます。そのためには、フランス語の文法を学習することから始めるのが理にかなったやり方です。春学期のフランス語Ⅰ(基礎)では、フランス語の発音、名詞、冠詞、形容詞、基本的な動詞の使い方などについて勉強します。授業ではフランス語を繰り返し発音したり、書いたりしながらフランス語の初歩を習得していきたいと思ひます。 ※授業レベル:入門～初級

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
14	秋	言語	フランス語Ⅱ(基礎)	長谷川洋	火	2	6

【副題】 初めて学ぶフランス語(Ⅱ)

【講義内容】

秋学期のフランス語Ⅱ(基礎)は、春学期と同一のテキストを用いながら、フランス語のさらに広い分野にわたる文法要項について学習します。外国語の勉強はどこかスポーツの練習と似ています。今までできなかったことができるようになるのは楽しいものです。そのために、授業において、基礎的な知識を確実に積み重ねるようにしたいと思います。 ※授業レベル:初級

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
15	春	言語	ドイツ語Ⅰ(基礎)	白川茜	火	2	6

【副題】 ドイツ語の基礎を学ぶ(1)

【講義内容】

私たちは母国語を自然に経験を重ねて習得できました。しかし、ドイツ語学習はそうはいきません。不足する経験を理論で補います。約束事(文法)を最大限に活用します。文法は難しいものではなく、とても便利なものです。文法理解を基礎にして、ドイツ語の総合的な運用能力の養成を目指します。新しい世界に挑戦してみませんか？

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
16	秋	言語	ドイツ語Ⅱ(基礎)	白川茜	火	2	6

【副題】 ドイツ語の基礎を学ぶ(2)

【講義内容】

ドイツ語Ⅰで学んだ基礎文法知識をもとに、少し複雑なドイツ語にチャレンジします。限られた時間で基礎学力を身につけることは容易ではありません。授業中の集中と予習・復習が不可欠です。分かり易い、楽しい授業を心がけますが、努力が伴うことを自覚して下さい。今まで知らなかった世界が見えてくるはずですよ。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
17	春	言語	英語学概論a	藤田賢	火	4	5
【副題】 英語学基礎							
【講義内容】 本講義は、英語の発音と綴り、標準英語と英語の変種、英語と文化、英語と社会・国家の関係、日本の英語教育と教授法などについて基礎的な知識を身につけ、ことばそのものだけでなく、ことばの周辺にあるものとの関係からことばを見つめることによって、言語への理解を深めることを目的とします。 ※授業レベル: 上級							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
18	秋	言語	英語学概論b	石川弓子	火	4	5
【副題】 英語学基礎							
【講義内容】 本講義は、英語の構造や意味についての知識を深めることによって、英語を学ぶ楽しさを知って頂くことを目的とします。春学期に扱う内容は、単語ができる仕組み、文の構造、ことばの意味が理解される仕組みなどです。具体的には、例えば同じ言語表現が二通りの意味を持つとき、構造的にどのような違いがあるか、また、英語話者と日本語話者の発話時の視点の違いが言語表現にどのような影響を及ぼすかなどを学びます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
19	春	言語	フランス語会話 I	A.フレ	木	4	6
【副題】 Conversation française I							
【講義内容】 基本的な口語表現を練習することによって、実用的なフランス語表現の使い方を覚えるように訓練します。一年程度の初歩のフランス語文法の知識が必要です。(初・中級)							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
20	秋	言語	フランス語会話 II	A.フレ	木	4	6
【副題】 Conversation française II							
【講義内容】 基本的な口語表現を練習することによって、実用的なフランス語表現の使い方を覚えるように訓練します。一年程度の初歩のフランス語文法の知識が必要です。(初・中級)							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
21	春	言語	中国語Ⅰ(基礎)	前山慎太郎	月	2	6
【副題】 中国語入門(発音を重点に)							
【講義内容】 中国語を初めて学ぶ人を対象とした授業です。中国語を学ぶには、発音つまり聞き・話すことがすべての基礎となります。まずその練習から始まりますが、それとともに「ピンイン」(ローマ字を用いた中国語の発音表記)も学びます。「ピンイン」に従って発音すること、そしてあいさつや簡単な文を聞き取ったり、話したりできるようになることが目標です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
22	秋	言語	中国語Ⅱ(基礎)	前山慎太郎	月	2	6
【副題】 中国語初級(基本の文型)							
【講義内容】 内容は春学期の中国語Ⅰの続きで、テキストも同じものを使います。「ピンイン」と中国語の発音になじんだ上で、基本的な文型を学び、それにいろいろの単語をあてはめることによってさまざまな表現ができるようになることが目標です。内容はまだ難しくありません。聞く・話すの練習を積み重ねて中国語が身につくことをめざします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
23	春	言語	中国語Ⅲ(総合)	前山慎太郎	水	4	6
【副題】 中国語初級から中級へ(中国語に親しもう)							
【講義内容】 中国語の基礎を学んだ人を対象とした授業です。基礎とは「ピンイン」に従って発音することができ、簡単な文を聞き・話し・読むことができることです。その復習から始めて、次の段階に進みます。「多く聞き、多く話す」練習を重ねて、中国語のさまざまな表現ができるようにします。また、発音にみがきをかけることを常に心がけてください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
24	秋	言語	中国語Ⅳ(総合)	前山慎太郎	水	4	6
【副題】 中国語中級(中国語が使えるようになろう)							
【講義内容】 春学期の「中国語Ⅲ」の続きの授業で、テキストも同じものを使います。中国語特有の文型や表現になれていって、実際に中国語を使って聞いたり話したりすることができるようになることを目指します。簡単な作文の練習もあわせて行います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
25	春	言語	English for Tourism	松岡昌幸	月	1	5
【副題】 海外旅行のための会話術と観光学(ハワイ旅行を中心に)							
【講義内容】 英語を楽しく学ぶための入門英語講座です。世界中から約800万人の観光客(ツーリスト)が訪れるハワイに着目し、これまで主流であった旅行会社が牽引する団体旅行ではない「個人旅行」を推進するための基礎英語(場面別の会話術)や、旅行ガイドブックを中心に、ハワイの観光資源(文化資源、自然資源)、リゾートホテル、コンドミニアム等の学習および、記憶に残る旅を形成するための旅行術を修得します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
26	春	言語	Business English a	道添栄一	火	2	4
【副題】 シーン毎に学ぶビジネス英語							
【講義内容】 教科書に沿ってDVDを見ながらビジネスシーンで使われる英語表現を学んでいきます。社交会話、コミュニケーション、会議、発表、交渉の5つのビジネスシーンに出てくる実践的なビジネス英会話を学びながら「聞く、話す」能力を高め、同時にビジネスの理解も深めてゆきます。また、メモ・報告書、契約書等の文書訓練を通じて、語彙や「読む、書く」能力の向上も目指します。中級程度のレベルです。予習を前提に授業を進めます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
27	秋	言語	Business English b	道添栄一	火	2	4
【副題】 国際ビジネスと異文化理解							
【講義内容】 Business English aはDVDを見ながらビジネスシーン毎の会話中心の学習ですが、本講では、教科書でビジネス、文化等に関する記事をまず読みます。CDを聴きながら、国際ビジネスマナー、異文化理解等基本的な英語読解力、単語力、思考力を身につけることを目指すとともに、対話を通じて実用性の高いビジネス英会話の練習をします。中級レベルの内容です。予習を前提に授業を進めます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
28	春	言語	ドイツ語会話 I	三宅恭子	火	3	6
【副題】 ドイツ語会話の基礎を学ぶ(1)							
【講義内容】 ドイツ語の基礎文法や基本的な語彙を学習したことがある方を対象としています。基本的な文法を復習しながら、多くの会話パターンを練習したいと思っています。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
29	秋	言語	ドイツ語会話Ⅱ	三宅恭子	火	3	6
【副題】 ドイツ語会話の基礎を学ぶ(2)							
【講義内容】 文法を再度確認しながら、パターン練習を重ね、ドイツ語会話の基礎を勉強します。ドイツ語のリズムや発音が身に付くようにします。ドイツの話題にも触れながら、ドイツ語での意思表示や様々な表現に挑戦します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
30	春	宗教	仏教の歴史Ⅰ	石田尚敬	金	2	7
【副題】 インドにおける仏教の成立と展開							
【講義内容】 本講義では、インド仏教の基礎知識を身に付け、インドにおいて成立した仏教の歴史的展開を把握することを目的とします。本年度は、三蔵法師として知られる玄奘の著作、『大唐西域記』を初めとして、中国からインドへ旅した留学僧たちの著作を取り上げ、インド仏教の歴史をどれほど客観的に見ることができるか、考察していきます。講義では、原典とその翻訳を配布して読解するほか、映像資料も積極的に使用する予定です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
31	秋	宗教	仏教の歴史Ⅱ	石田尚敬	金	2	7
【副題】 インドにおける大乘仏教の歴史的展開							
【講義内容】 本講義では、春学期に引き続き、インドにおいて成立した仏教の歴史的展開を解説します。特に、大乘仏教の成立と展開に着目し、玄奘の『大唐西域記』を初めとした中国からの留学僧の資料に基づきつつ、大乘仏教の特色を見ていきます。大乘仏教の理論的な側面にも着目し、中観、唯識といった思想がいかに誕生し、学派として意識されていったのかも考察します。講義では、映像資料も積極的に使用する予定です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
32	春	宗教	禅の思想Ⅰ－Ⅰ	伊藤秀憲	金	1	10
【副題】 道元禅研究－研究の概説と伝記講読－							
【講義内容】 1. 目的 a. 道元禅研究の回顧と現況を知る。b. 道元の伝記史料と生涯を知る。2. 方針 資料を配布し、それに基づいて講義する。3. 内容 伝記・著作・思想研究の回顧と現況を述べ、次に、道元の伝記史料としては最も古い、『三大尊行状記』の道元伝を講読する。4. テキスト プリントを配布する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
33	秋	宗教	禅の思想Ⅰ－Ⅱ	伊藤秀憲	金	1	10
【副題】 道元禅研究－『普勸坐禅儀』『正法眼蔵行持』講読－							
【講義内容】 1. 目的 道元の著作を通して思想を知る。2. 方針 資料を配布し、それに基づいて講義する。3. 内容 『普勸坐禅儀』『正法眼蔵行持』を講読する。『正法眼蔵』の成立に関しては「禅の思想Ⅰ－Ⅰ」で述べるので、すぐに講読に入る。4. テキスト プリントを配布する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
34	秋	宗教	宗教文化史Ⅱ	伊藤雅之	木	2	10
【副題】 欧米と日本の幸福のゆくえ							
【講義内容】 この授業では、欧米と日本で追い求められる効率主義と豊かさ、そして人びとの幸福の関係を対象とし、現代のスピリチュアリティ、マインドフルネスの展開を検討する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
35	秋	宗教	仏教と現代社会Ⅰ	大橋崇弘	金	2	6
【副題】 現代に生きる禅の精神							
【講義内容】 中国から日本に伝わった禅仏教は、宗教としてのみではなく日本人の精神を豊かにする新たな概念として人々に受け入れられている。本講義では現代生活の中に脈々と受け継がれている禅の要素をとり上げ考察していく。講義内容…「禅とは何か」・「海外に広まるZEN」・「スポーツ・武道と禅」・「癒しとしての禅」等 資料等…講義時にプリント配布							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
36	春	宗教	仏教と現代社会Ⅱ	岡島秀隆	木	3	6
【副題】 仏教の可能性を考える							
【講義内容】 本講義は、「①仏教者の言葉は現代人にどのような指針を提供できるのか ②仏教的世界観や仏教的イメージは現代人にどのように映り、どのような影響を持ち得るか ③多様化する現代社会において、仏教はどのような役割を担い得るか」という課題を念頭に置きながら、前半は禅者・仏教者の名言を、後半は仏教的イメージ世界（須弥山世界や華嚴経の世界、地獄、浄土など）をppt、DVDなどの資料を用いて紹介する。〔テキストはプリントを配付する〕							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
37	春	宗教	禅の思想Ⅱ－Ⅰ	河合泰弘	水	3	5
【副題】 禅の公案に学ぶ(1)							
【講義内容】 禅の公案とは、仏祖が示した仏法の道理で、多くは師弟の間に交わされた問答体で表現される。それは難解な対話の例えにもされるが、様々な示唆が含まれている。本講座では、中国の禅宗で成立した「語録」や「燈史」の中に含まれる公案を講読して、禅思想の理解を深めてゆく。テキストは、道元の著した『正法眼蔵三百則』などの公案集や『景德伝燈録』などの燈史を用いるが、その都度プリントを配布する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
38	秋	宗教	禅の思想Ⅱ－Ⅱ	河合泰弘	水	3	5
【副題】 禅の公案に学ぶ(2)							
【講義内容】 禅の公案とは、仏祖が示した仏法の道理で、多くは師弟の間に交わされた問答体で表現される。それは難解な対話の例えにもされるが、様々な示唆が含まれている。本講座では、中国の禅宗で成立した「語録」や「燈史」の中に含まれる公案を講読して、禅思想の理解を深めてゆく。テキストは、道元の著した『正法眼蔵三百則』などの公案集や『景德伝燈録』などの燈史を用いるが、その都度プリントを配布する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
39	春	宗教	禅語録講読Ⅰ	河合泰弘	火	2	5
【副題】 『祖堂集』を読む(1)							
【講義内容】 『祖堂集』は、952年に成立した禅宗燈史(仏法の伝授を伝える歴史書)のひとつである。本書では、過去七仏から西天(インド)の28代を経て、中国禅宗六祖慧能に至る各祖師と、六祖門下南嶽系の臨済義玄の孫弟子までと、青原系の雪峯義存の孫弟子までの257人の祖師の師資相承の伝記がまとめられており、それぞれの祖師の語録をもとに編集された「語録のダイジェスト版」とも言える。本講義では、南泉晋願(748-835)を中心に南嶽系の祖師の伝記を講読する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
40	秋	宗教	禅語録講読Ⅱ	河合泰弘	火	2	5
【副題】 『祖堂集』を読む(2)							
【講義内容】 『祖堂集』は、952年に成立した禅宗燈史(仏法の伝授を伝える歴史書)のひとつである。本書では、過去七仏から西天(インド)の28代を経て、中国禅宗六祖慧能に至る各祖師と、六祖門下南嶽系の臨済義玄の孫弟子までと、青原系の雪峯義存の孫弟子までの257人の祖師の師資相承の伝記がまとめられており、それぞれの祖師の語録をもとに編集された「語録のダイジェスト版」とも言える。本講義では、臨済義玄(?-866)を中心に南嶽系の祖師の伝記を講読する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
41	春	宗教	禅宗史 I	河合泰弘	火	3	5
【副題】 中国禅宗思想史							
【講義内容】 禅は、インドで発生し、中国に伝わり禅宗として発展した。ダルマを初祖とする中国禅宗は、ダルマから数えて6代目の時代に大きな転換期を迎え、北宗禅と南宗禅に分かれて隆盛へと向かった。特に南宗禅は、その後、更なる分派を繰り返し、五家七宗へと展開し、やがてわが国にもたらされた。本講座では、中国禅宗を中心に、代表的な祖師の語録や燈史(仏法の伝授を伝える禅宗の歴史書)などの記述を参考にしながら、その歴史と思想についての理解を深めていきたい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
42	秋	宗教	禅宗史 II	河合泰弘	火	3	5
【副題】 中国禅宗人物史							
【講義内容】 禅は、インドで発生し、中国に伝わり禅宗として発展した。ダルマを初祖とする中国禅宗は、ダルマから数えて6代目の時代に大きな転換期を迎え、北宗禅と南宗禅に分かれて隆盛へと向かった。特に南宗禅は、その後、更なる分派を繰り返し、五家七宗へと展開し、やがてわが国にもたらされた。本講座では、中国禅宗の代表的な祖師の伝記を講読することによって、禅宗の歴史と思想についての理解を深めていきたい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
43	春	宗教	宗教学 I	木村文輝	水	2	20
【副題】 人間にとって宗教とは何か							
【講義内容】 世界情勢や日本文化を理解するために、宗教の理解は欠かせません。また、エセ「宗教」に惑わされないためにも、宗教の正確な理解は不可欠です。本講義では、「聖なるもの」と人との関係、人間の心理活動、社会秩序の維持という3つの観点から、宗教の考察を行います。ただし、個別の宗教の解説は最小限にとどめます。また、本講義は1年生の必修科目であり、愛知学院大学の建学の精神を学ぶためのものであることをご承知おきください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
44	秋	宗教	宗教学 II	木村文輝	水	2	20
【副題】 釈尊から禅へ(建学の精神を学ぶ)							
【講義内容】 本稿義では、古代インドの思想から説き起こし、仏教の開祖である釈尊の教え、大乘仏教の思想、および、禅の立場を概説します。教科書には『宗教と人間』(愛知学院大学宗教研究会編、大東出版社)を用います。ただし、インド、中国、日本における仏教の歴史の全体像を論ずることはいたしません。また、本講義は1年生の必修科目であり、愛知学院大学の建学の精神を学ぶためのものであることをご承知おきください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
45	春	宗教	仏教と文化 I	木村文輝	水	3	20
【副題】 現代に受け継がれる日本仏教の思想と文化							
【講義内容】 本講義では、現代まで伝わる日本仏教の様々な思想と、それにもとづく日本文化の諸相について、その淵源を日本仏教の歴史の中を探ることを目指します。具体的には、日本への仏教の伝来以来、それぞれの時代背景の中で成立した思想と文化を時系列にそって概観するとともに、それらが現代の日本において、どのような形で受け継がれているのかを考察します。また、その一環として、神と仏の共存についても論及する予定です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
46	秋	宗教	仏教と文化 II	木村文輝	水	3	20
【副題】 仏教からみる「いのち」と尊厳							
【講義内容】 本稿義では、仏教的観点から「いのち」と尊厳について考察します。講義においては、自殺や他殺、臓器移植の問題から、葬儀や水子供養という文化的事象まで、幅広く扱う予定です。考察にあたっては、インド的、あるいは日本的な仏教の教義の解説をまじえるとともに、キリスト教の観点なども参照します。また、関連するビデオ教材も利用する一方、受講生の意見も参考にする予定です。なお、参考書として『生死の仏教学』（木村文輝著、法蔵館）を使用します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
47	春	宗教	宗教社会学 I	熊田一雄	月	2	20
【副題】 現代日本の宗教問題							
【講義内容】 宗教と社会の相関関係を分析する宗教社会学。前期の授業では、宗教社会学の話題を幅広く扱う。後期の授業では、社会的影響力に比してそもそも実態の知られていない新宗教や「精神世界」の問題を概観する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
48	秋	宗教	宗教社会学 II	熊田一雄	月	2	20
【副題】 現代日本の宗教問題							
【講義内容】 宗教と社会の相関関係を分析する宗教社会学。前期の授業では、宗教社会学の話題を幅広く扱う。後期の授業では、社会的影響力に比してそもそも実態の知られていない新宗教や「精神世界」の問題を概観する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
49	春	宗教	宗教心理学Ⅰ	熊田一雄	木	3	20
【副題】 ジェンダー論入門							
【講義内容】 宗教や心理療法の話題を中心に、女性学・男性学の基本を学ぶ。「男らしさ/女らしさ」とイメージされるものの大半は、生物学的宿命ではなく社会や文化によって構築されるもの、従って変化するものである。急激に変化する現代日本社会において、ジェンダー(社会的文化的性差)は、人々の「心の問題」にどう影響するかを考える。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
50	秋	宗教	宗教心理学Ⅱ	熊田一雄	木	3	20
【副題】 ジェンダー論入門							
【講義内容】 宗教や心理療法の話題を中心に、女性学・男性学の基本を学ぶ。「男らしさ/女らしさ」とイメージされるものの大半は、生物学的宿命ではなく社会や文化によって構築されるもの、従って変化するものである。急激に変化する現代日本社会において、ジェンダー(社会的文化的性差)は、人々の「心の問題」にどう影響するかを考える。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
51	春	宗教	宗教文化史Ⅰ	熊田一雄	月	3	20
【副題】 世界の宗教文化の歴史的背景と現状							
【講義内容】 世界の主要な宗教伝統の歴史をはば広く扱う。マスメディアが取り上げるような世界の様々な宗教問題を、ジャーナリストとは一味違う学者の視点から分析する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
52	秋	宗教	宗教文化史Ⅱ	熊田一雄	月	3	20
【副題】 世界の宗教文化の歴史的背景と現状							
【講義内容】 世界の主要な宗教伝統の歴史をはば広く扱う。マスメディアが取り上げるような世界の様々な宗教問題を、ジャーナリストとは一味違う学者の視点から分析する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
53	春	宗教	現代社会と宗教 I	小林奈央子	金	2	10
【副題】 宗教を知れば世界が見えてくる							
【講義内容】 泥沼化しているシリア内戦やアフリカ各地の紛争、西欧諸国の移民問題、アメリカ大統領選挙など、現代社会で起きている出来事の背景には、政治や民族、経済問題はもちろんのこと、宗教にかかわる問題も多く含まれている。本講義では、現在、世界各地で起きている諸問題について、宗教を切り口として考察していく。各宗教の分布や成立史、教義や歴史的経過などをふまえた上で、現在の世界情勢を理解していく。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
54	秋	宗教	現代社会と宗教 II	小林奈央子	金	2	10
【副題】 日本の霊山と信仰							
【講義内容】 近年、世代や性別を超えて多くの人が山登りを愉んでいる。そんないわゆるスポーツ登山をしているときも、山中で石仏や祠を目にしたたり、白衣の修行者と出くわすことがある。なぜならば、日本の山岳は、それ自身が御神体、あるいは、神仏や死者（ひいては祖霊）の鎮まる霊域と考えられ、古くから信仰の対象となってきたからである。本講義では、日本各地の霊山を紹介し、各霊山の歴史や信仰、文化について詳しく学んでいく。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
55	春	宗教	人間の尊厳と平等 I	菅原研州	火	3	6
【副題】 仏教と人権問題 人間はいかにして生きるべきか							
【講義内容】 現代社会では自明とされる「人権」だが、より深く学ぶために、歴史から「人権」の意義と、その確立してきた状況を学ぶ。更に、仏教の人間観への考察を通して、平等と差別に対抗する根源的な思想を各自に学んでもらいたい。そのため、仏教史の中で、本講義に関係ある諸事象を抽出し、考察する際の題材として提供する。講義は基本、配布プリントで行い、参考資料なども適宜紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
56	秋	宗教	人間の尊厳と平等 II	菅原研州	火	3	6
【副題】 宗教・仏教の社会福祉							
【講義内容】 社会福祉についての歴史的意義と、各宗教・仏教による福祉活動の思想的基盤への考察を通して、各受講者には福祉を行ってきた人々の心底にある思いを知ってもらいたい。その上で、その思いへの共感を通して、福祉活動への理解と実践を促したいと考えている。なお、講義に際しては、基本は配布プリントで行い、参考資料などは適宜紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
57	春	宗教	宗教文化史 I	林淳	木	2	10
【副題】 スポーツと宗教							
【講義内容】 スポーツの歴史をさぐっていくと、戦争と宗教に結びついていることが多い。古代ギリシアのオリンピックは、ゼウスをはじめとする神々に捧げられたものであった。近代に魅了、平和の祭典としての意味を持った。イギリスのフットボール、サッカー、スウェーデン体操、アメリカの野球、日本の武道などを対象にして、スポーツが19世紀以降の近代国家の成立に密接に結びつき、宗教的なものにも関連している様子を明らかにしたい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
58	春	宗教	仏典講読 I	引田弘道	水	1	20
【副題】 『首楞嚴三昧経』を読む							
【講義内容】 鳩摩羅什訳の『首楞嚴三昧経』を読んでいきます。堅意菩薩が仏に請い、それを受けて仏が頓証菩提の法を説いた経典ですが、思想的には『華嚴経』、『維摩経』、『法華経』の先駆をなすものとされます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
59	秋	宗教	仏典講読 II	引田弘道	水	1	20
【副題】 『首楞嚴三昧経』を読む							
【講義内容】 春期に引き続き『首楞嚴三昧経』を読んでいきます。菩薩の十地、空の思想等、他の大乘経典と比較しながら、この経の特質を明白にしていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
60	春	宗教	アジアの思想と文化	平野克典	水	4	10
【副題】 比較宗教学概論							
【講義内容】 本講義では、アジアの思想と文化を「文学」に焦点を合わせ解説する。取り上げる文学はアジア諸国の文学に影響を及ぼしたインドの文学である。宗教聖典、神話、叙事詩、純文学、宗教文学など、各ジャンルから代表的な作品を選択して解説していく。『ヴェーダ聖典』『バガヴァッド・ギーター』(神の歌)、『ラーマーヤナ』(ラーマ王行伝)などである。授業では、単に文学作品のあらすじを追うのではなく、作品の生成に関わる文化的、歴史的なコンテキストを視野に入れた内容理解をめざす。さらに、インドの文学を通して文学の基層となるインド人の思惟方法の特質を考察する。この考察は同時にアジアの思想と文化の一基層の理解へとつながる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
61	春	文化・歴史	仏教と芸術 I	石黒淳	火	3	10

【副題】 インドの古代初期仏教美術(1)

【講義内容】

この講義では仏教を背景に生み出された芸術について学習する。仏教芸術の始原は仏教が説かれたインドであり、それはまたたくまにインド周辺の国々から中国、日本へと伝えられた。仏教の芸術を学習することは東洋(アジア全土)の芸術を学習することでもある。しかしながら仏教の芸術をアジア全土の芸術と認めるにしても、それは個々の国々によってその造形美を異にする。それは個々の個々の土着的な宗教をはじめ風土や歴史が仏教の美術にも大きく影響しているからであろう。講義では仏教の芸術が如何なる様相をもって開始され展開していったかという基本的な点に重点を置きすめる。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
62	秋	文化・歴史	仏教と芸術 II	石黒淳	火	3	10

【副題】 インドの古代初期仏教美術(2)

【講義内容】

この講義では[仏教と芸術 I]を土台にしてバールフト、サーンチーの仏教遺跡について学習する。バールフトに関しては仏塔(ストゥーパ)の周囲に構築された欄楯(王垣)の装飾浮彫りの特色について講義する。特に貫石や隅柱の装飾浮彫りを細部にわたり鑑賞する。サーンチーに関しては第一塔の南北東西に配された塔門の装飾浮彫りについて学習する。さらにバールフトとサーンチーの仏教芸術の主題や様式の類似点、相違点などについても講義する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
63	春	文化・歴史	西洋の思想 I	岩佐宣明	金	4	5

【副題】 西洋哲学史 I —古代・中世・近代—

【講義内容】

古代ギリシアに始まり、キリスト教哲学、大陸合理主義、イギリス経験論を経て、ドイツ観念論に至るまでの、西洋哲学の歴史を概説します。その歴史を通じてつねに哲学者を刺激し続けてきたのは、「何が本当に存在するのか」というあらゆる問いの中でもっとも基本的な問いです。この問いは今日ではすでに解決済なのでしょうか。それとも、たんに放置されているだけでしょうか。ともかく、この講義で哲学者たちの思考を追体験してみてください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
64	秋	文化・歴史	西洋の思想 II	岩佐宣明	金	4	5

【副題】 西洋哲学史 II —現代—

【講義内容】

【西洋の思想 I】に引き続き、この講義では時代を現代(19世紀以降)に下って西洋哲学の歴史を辿ります。ただ、現代哲学についてはまだ標準的な哲学史理解というものが成立していませんので、強引に一つの流れに整理するのは避け、現象学、論理実証主義、構造主義など、代表的な学派や哲学者の各々についてその特色を概説します。存在の謎に迫る哲学的アプローチの多様性を、いくつかアクチュアルな論争も取り混ぜつつ紹介したいと思います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
65	秋	文化・歴史	表象文化論	岩田和男	木	4	5
【副題】 映画監督が選ぶ映画トップ10作品を見る							
【講義内容】 科目名が変わってから内容が極端に難しくなったのを軌道修正します。表象文化なる用語の枠組みをごく簡単に解説したうえで、ほとんど作品名も監督名も知らない学生に世界の名画を紹介し、どこが面白いのかを具体的に解説していきます。そのうえで最後に、“BFIの選ぶトップ10” に過去一度も顔を出したことのなかった『東京物語』が、何故突然2012年に登場することになったのか、その理由及び社会的意義について考察したいと思えます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
66	春	文化・歴史	日本の近代文学Ⅰ	神山重彦	金	4	10
【副題】 映画化された小説(1)							
【講義内容】 小説と、その映画化されたものとを比較対照し、両者の相違点を検討する。取り上げる作品は、『舞姫』『雁』『野菊の墓』『坊っちゃん』『こころ』などを予定している。小説の原文(プリントを配布する)を読み、ビデオやDVDで映画を見る。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
67	秋	文化・歴史	日本の近代文学Ⅱ	神山重彦	金	4	10
【副題】 映画化された小説(2)							
【講義内容】 小説と、その映画化されたものとを比較対照し、両者の相違点を検討する。取り上げる作品は、『伊豆の踊子』『春琴抄』『銀河鉄道の夜』『砂の器』『氷点』などを予定している。小説の原文(プリントを配布する)を読み、ビデオやDVDで映画を見る。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
68	春	文化・歴史	日本の古典文学Ⅰ	神山重彦	月	2	10
【副題】 歌舞伎『忠臣蔵』を見る(1)							
【講義内容】 数ある歌舞伎作品の中でもっとも著名な、『仮名手本忠臣蔵』全十一段を見る。場面ごとに区切ってまずテキストを読み、その後にビデオやDVDで実際の上演のありさまを見る。春学期は、大序から五段目までの予定。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
69	秋	文化・歴史	日本の古典文学Ⅱ	神山重彦	月	2	10
【副題】 歌舞伎『忠臣蔵』を見る(2)							
【講義内容】 数ある歌舞伎作品の中でもっとも著名な、『仮名手本忠臣蔵』全十一段を見る。場面ごとに区切ってまずテキストを読み、その後にビデオやDVDで実際の上演のありさまを見る。秋学期は、六段目から討ち入りまで。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
70	春	文化・歴史	古典文学研究Ⅰ	川名淳子	火	2	20
【副題】 枕草子を読む							
【講義内容】 平安時代に成立した『枕草子』を読みます。約三百段の章段には、清少納言が敬愛する中宮定子と過ごした日々ことや、当時の宮廷の様子、平安貴族たちの暮らしやその美意識、清少納言と殿上人たちとの交流などが生き生きとした文章で綴られています。当講座では、当時の歴史的状況をふまえながら本作品を読み進めていきます。また後世のものですが、現存する「枕草子絵巻」もあわせて鑑賞します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
71	秋	文化・歴史	古典文学研究Ⅱ	川名淳子	火	2	15
【副題】 枕草子を読む							
【講義内容】 平安時代に成立した『枕草子』を読みます。約三百段の章段には、清少納言が敬愛する中宮定子と過ごした日々ことや、当時の宮廷の様子、平安貴族たちの暮らしやその美意識、清少納言と殿上人たちとの交流などが生き生きとした文章で綴られています。当講座では、当時の歴史的状況をふまえながら本作品を読み進めていきます。また後世のものですが、現存する「枕草子絵巻」もあわせて鑑賞します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
72	春	文化・歴史	東洋史特殊講義B-Ⅰ	菊池一隆	月	4	5
【副題】 日中戦争前史							
【講義内容】 日中戦争前史。満州事変は「日中十五年戦争」の起点と位置づけられ、極めて重要な事件である。その後、第一次上海事変、「満州国」の建国と日中関係は悪化の一途を辿った。何故日本は戦争を開始するに至ったのか。当時の日本の状況はどのようなものであったのか。それに対し、中国政府、中国民衆はどのように対応したのか。また、満州武装移民の問題もとりあげる。本講義はいわば日中全面戦争に至る1931～1937年を扱い、その実態を解明していく。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
73	秋	文化・歴史	東洋史特殊講義B-II	菊池一隆	月	4	5
【副題】 日中戦争開始後							
【講義内容】 日中戦争開始後、すなわち1937年の盧溝橋事件から1945年の日本敗戦までの状況をとりあげる。日本が「泥沼戦争」の中で消耗し、中国が勝利を獲得する経過にアプローチする。その侵略、占領によって生じた「南京大虐殺」問題、毒ガス問題、さらに台湾高砂義勇隊などにも踏み込む。これらの問題をどう考えるかは別として、真剣に学んでおかなければならない歴史的事実である。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
76	春	文化・歴史	地域文化研究Ⅲa	木村英憲	月	3	10
【副題】 音楽と映画を通してアメリカを見るとどう見えるかー日本との比較							
【講義内容】 赤ちゃんは機嫌が悪くても、がらがらやいない、いないソバーをするとキャキャ笑います。私たちが嫌なことがあっても音楽や映画をみると、忘れたり紛れたり、癒やされたり元気が出たりします。私たち日本人は、そしてアメリカ人はどういう嫌なことが家庭、職場、学校、近隣などであるのかを、映画の主人公を通してみたいと思います。そして主人公たちはどうやって紛らわしたり、元気を出したり、どうやって癒やされるのかも見つけ出したいと思います。また日米で流行った歌に注目して、歌詞にはどういう辛いことが歌われ、どうやって紛らわしたり、どうやって癒やされたり、どういうことに希望を見いだすかも、日米比較をしてみたいと思います。※なおこの授業ではミクシィというインターネット上の掲示板に感想や意見を書き込んでもらいますので、キーボードとインターネットが使えることが望ましいですが、初歩からお教えします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
77	秋	文化・歴史	地域文化研究Ⅲb	木村英憲	月	3	10
【副題】 実際にアメリカは住んでみたらどんなところなのか							
【講義内容】 どこでも、何でもそうですが、実際に言ってみると、思っていたのと違うということがあります。たとえばあの美しい富士山ものぼってみると、岩や砂だらけです。アメリカで言えば、たとえば努力するものには誰でも臨む自分になれるという、アメリカンドリームで、多くの人々をアメリカは引きつけてきました。でもトランプ大統領出現の背後には、かつて豊かな暮らしをしていた中産階級が没落した実体があります。アメリカは肌の色や宗教の違いに関係なく、だれでも分け隔てなく暮らしているイメージ、メルティングポットのイメージもあります。でも実際はどうなのでしょう。過去40年の日本人によるアメリカ滞在記をいわばサーチライトにして、みたいと思います。しかし滞在記に書かれていることは、滞在記の著者たちの限られた経験かもしれないので、アメリカの世論調査とつきあわせてみたいと思います。そして実際に暮らしてみても立ちあらわれてくるアメリカがなぜそのようになったのか、ヨーロッパと違って革命を経ることなく、太平洋を渡って近代社会になったという歴史的背景から探してみたいと思います。 ※なおこの授業ではミクシィというインターネット上の掲示板に感想や意見を書き込んでもらいますので、キーボードとインターネットが使えることが望ましいですが、初歩からお教えします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
78	春	文化・歴史	比較文化特講Ⅳa	木村英憲	火	4	5
【副題】 アメリカとどう向き合うかー異文化間コミュニケーションから日米関係まで							
【講義内容】 遊びというものがあります。たとえば自動車のハンドルを右に切っても、すぐ右にいかないのも遊びです。アメリカはどうも遊びがない国のようにです。政治にしても経済にしても教育にしても子育てにしても、アメリカのものとは我慢ができなくて、かええさせようとしています。まるで宣教師がキリスト教以外の宗教を否定して、キリスト教を布教するかのようにです。政治においてもフレンドと言いながら治外法権的なこと、たとえば日本の空で日本の飛行機が飛べないところを定めています。真のフレンドは相手を尊重するはずで。身近な問題から、経営、政治、経済においてアメリカ化にどう向き合うか、一緒に考えていきたいと思ひます。※なおこの授業ではミクシィというインターネット上の掲示板に感想や意見を書き込んでもらいますので、キーボードとインターネットが使えることが望ましいですが、初歩からお教えます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
79	秋	文化・歴史	比較文化特講Ⅳb	木村英憲	火	4	5
【副題】 非難されるとすぐ謝る日本人、ひどいことをしても謝らないアメリカ人							
【講義内容】 日本人は非難されると、本当にひどいことなのか考えないで、謝ってしまう傾向があります。他方、ひどいことをしても謝らない人たちが世界にはたくさんいます。アメリカはそのような国の一つです。日本人は外国人を排除しているとか、クジラを殺す残酷な国民だという非難があります。本当にそうなのか検証します。自分たちも同じことをしているのに、日本人がすると非難するといういわゆるダブルスタンダードが見えてきます。他方でひどいことをされた人、すなわち被害者を、落ち度があったからだと責めるパターンがあります。この事例として服部君という名古屋の高校生がハロウィーンの時に留学先の町で射殺された事件の報道があります。、服部君に落ち度があったのかみてみます。広島や長崎への原爆投下で10万に規模の一般市民を殺されましたが、空襲や原爆投下をした米軍関係者の生の声やアメリカの教科書の記述を読むと、戦争を終わらすために必要だったとして、悪いことをしたと認めません。現在のテロとの戦争にも同じ理屈が使われています。日本とアメリカのこの違いはどこから来るか探してみたいと思ひます。 ※なおこの授業ではミクシィというインターネット上の掲示板に感想や意見を書き込んでもらいますので、キーボードとインターネットが使えることが望ましいですが、初歩からお教えます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
80	春	文化・歴史	比較文化論a	木村英憲	水	3	5

【副題】 カルチャーショックの向こうに何が見えてくるのだろうか？

【講義内容】

人は生まれ落ちた時代や社会で価値があるとされるものを価値があるものと思って、人生を送っています。しかし時代や国が違くと価値があるとされるものが価値がないものになったり、逆に価値がないとされていることが価値のあることになったりします。今まで漠然と価値があると思っていたものが、文化の違う国では、そうでないということを知って、もしかして自信をもてなくなることがあります。さらに進むと、何が本当だかわからなくなってしまいます。これがカルチャーショックです。

この授業では、日本人が異文化に触れて受けたカルチャーショック、外国人が日本に来て受けたカルチャーショックの他に、挫折体験、ガンなどの死を宣告された人々のショック、失恋、離婚などのショックも取り上げます。人はこれらのショックに翻弄されますが、これらのショックを超えた向こうにどのようなことが一回限りの人生を後悔しない、充実したものだと見えてくるか、いろいろな体験談から探り出したいと思います。違った価値観を持っている若い学生たちにあなたの体験談をかたってみませんか。 ※なおこの授業ではミクシィというインターネット上の掲示板に感想や意見を書き込んでもらいますので、キーボードとインターネットが使えることが望ましいですが、初歩からお教えます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
81	秋	文化・歴史	比較文化論b	木村英憲	水	3	5

【副題】 子育てや教育からみた、存在証明のための比較文化論

【講義内容】

私たちはもし外国に生まれていたらどんな人間になっていたことでしょうか、どんな人生を送っていたことでしょうか。生まれ落ちた社会や時代の価値観が大きく影響していると思います。価値観を注入するが子育てであり、教育であり、職場での評価ではないかと思えます。

この授業では日本とアメリカの子育てや学校教育の仕方を取り上げ、背後にある価値観を浮かび上がらせて、その結果、どういう人間になり、どういう人生を送っているかを浮かび上がらせたいと思います。 ※なおこの授業ではミクシィというインターネット上の掲示板に感想や意見を書き込んでもらいますキーボードとインターネットが使えることが望ましいですが、初歩からお教えます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
82	春	文化・歴史	アジアのなかの日本文化 I	木村文輝	木	1	20

【副題】 日本文化に取り入れられたインド的世界像

【講義内容】

日本の文化には、仏教を通して取り入れられた様々なインド的な要素が含まれています。本講義では、その中から六道輪廻、須弥山世界、多彩な神々(天部)など、世界像にまつわる事柄を取り上げます。また、それらの事柄に由来する日本語の単語についても考察します。講義内容は仏教に関連したものになりますが、教義そのものを論ずるのではなく、インド的な世界観がどのような形で日本人に受け入れられたのかを検討したいと思います。なお、教材はプリントを配布します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
83	春	文化・歴史	国際関係史Ⅰ	小林隆夫	月	3	10
【副題】 19世紀国際関係史の展開							
【講義内容】 フランス革命の勃発(1789年)から19世紀末の「帝国主義の時代」までの時期を解説していき、それを通して19世紀国際関係史の流れと主要な特徴を理解していきます。講義ではヨーロッパで生まれた近代国際関係の仕組みが、アヘン戦争や日本の開国などを通して、どのように東アジアへも広がっていったのかも考えていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
84	秋	文化・歴史	国際関係史Ⅱ	小林隆夫	月	3	10
【副題】 20世紀前半の国際関係史の展開							
【講義内容】 第一次世界大戦から第二次世界大戦の展開に至る国際関係史の展開を解説していきます。第一次世界大戦とはどのような特徴を持っていたのか、戦後、ヨーロッパ中心の国際関係に代わってアメリカがどのような世界観をもって国際舞台に登場したのか、どのような理由によって第二次世界大戦が起こったのかなどを考えていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
85	春	文化・歴史	日本の思想Ⅰ	下川玲子	火	2	10
【副題】 日本思想史(古代～近世初期まで)							
【講義内容】 この授業は、日本思想史を、それぞれの原典を読解しながら通史的に学ぶものである。神道という基盤の上に、仏教・儒教・西洋思想などの外来思想を受け入れて成立した日本思想の重層性を確認する。春学期に取り上げるのは、『日本書紀』などの古代思想、平安・鎌倉時代の仏教思想と神仏習合思想、近世初期の朱子学思想と神儒習合思想である。テキストは、プリントを使用する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
86	秋	文化・歴史	日本の思想Ⅱ	下川玲子	火	2	10
【副題】 日本思想史(近世中期から近代まで)							
【講義内容】 「日本の思想Ⅰ」に引き続き、日本の近世中後期から近代までの思想を扱う。江戸時代中期には朱子学批判が生じるが、儒教における批判者である伊藤仁斎・荻生徂徠の思想、儒教そのものを否定した本居宣長や平田篤胤の国学思想などを読解する。幕末には攘夷思想が起こるが、明治期になり西洋思想を全面的に受容することになる。この時期の思想家として、福沢諭吉・中江兆民・幸徳秋水などを扱う。テキストは、プリントを使用する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
87	春	文化・歴史	日本文化史Ⅰ	下川玲子	金	3	10
【副題】 国家神道の思想と反戦平和の思想							
【講義内容】 神道思想は、近代の天皇制国家の成立とともに変容し、いわゆる国家神道が形成された。国家神道は天皇を神聖視し、国民に天皇への絶対的服従を求めるものであり、これまでの神道のあり方と大きく異なるものであった。この授業では「教育勅語」や「戦陣訓」などから分析し、それが戦争遂行の論理となっていたことを検証する。近代日本は、絶え間なく戦争を続けていたが、その中で、戦争に反対する思想もまた形成されていた。この授業では、同時に日本における反戦・平和の思想をも概観する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
88	秋	文化・歴史	日本文化史Ⅱ	下川玲子	金	3	10
【副題】 戦中戦後の自由主義思想							
【講義内容】 戦中から戦後の自由主義思想の展開を論じる。西洋から受容した自由と民主主義の思想は、厳しい戦争期も連綿と継承され戦後の日本国憲法の成立を準備した。まず戦中から、在野で、批判精神豊かに自由と平和を訴えた長谷川如是閑の思想を扱う。日本国憲法にこめられた基本的人権・国民主権の理念は、近代以降の日本の自由主義思想の一応の達成点である。さらには、戦後の論壇で活躍した南原繁・丸山真男の自由主義思想、最後に羽仁五郎の思想にも言及し、今後の我々の進むべき道しるべとしたい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
89	春	文化・歴史	日本語学Ⅰ	下野雅昭	火	2	5
【副題】 日本語を見つめる							
【講義内容】 日本語に囲まれて生まれ育った日本人にとって、自分の話すことば(日本語)がどんなしくみをもった言語なのかを意識したり考えたりすることはほとんどありません。自分のことばであるだけに突き放してみることがむずかしいこともあります。この講義ではそのような日本語をあらためて見つめ直し、できるだけ客観的な方法でそのしくみに迫ります。日本語が世界の諸言語の中でどんな位置にあるかをいくつかの方法で確認したあと、日本語を対象に実際の例をあげながら解説します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
90	秋	文化・歴史	日本語学Ⅱ	下野雅昭	火	2	5
【副題】 日本語を見つめる							
【講義内容】 日本語に囲まれて生まれ育った日本人にとって、自分の話すことば(日本語)がどんなしくみをもった言語なのかを意識したり考えたりすることはほとんどありません。この講義ではそのような日本語をあらためて見つめ直し、できるだけ客観的な方法でそのしくみに迫ります。本期は日本語の語彙と意味を中心に解説します。頭を柔らかくして一緒に考えましょう。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
91	春	文化・歴史	考古学概説 I	白石浩之	火	2	10
【副題】「モノ」から時代を読み解く							
【講義内容】 パワーポイント・資料を併用して概説する。旧石器時代、縄文時代、弥生時代で検出された遺跡・遺構・遺物から各時代の特徴を抽出し、その背景やその課題を具体的にさぐることを目的にした考古学の入門のための講義です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
92	春	文化・歴史	考古学概論	白石浩之・藤澤良祐	水	2	8
【副題】考古学の方法論							
【講義内容】 考古学は明治期以来長い研究を積み重ねて今日に至っている。考古学の研究は基本的に発掘調査で得られた考古資料を対象としている。調査で得られたモノ(遺跡・遺構・遺物)であるので文字や言語で語っているわけではない。それを語らせるためにいろいろな方法が考古学では培われてきた。ここでは主要な研究方法の成果を紹介しようと思う。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
93	春	文化・歴史	欧米文化特講 I a	高木真理子	金	2	5
【副題】18世紀末～20世紀のハワイ社会の歩みー先住民ハワイ人と移民マイノリティの視点から							
【講義内容】 多くの人々にとって、ハワイは「青い海と白い砂浜」「椰子の木」を思い出させ、高層リゾートホテルに泊まって、買い物三昧できる場所ではないかもしれない。誰にとっても、ハワイには「楽園」とか「夢のリゾート」のイメージが強いのだろう。この講義では、ハワイの楽園イメージの裏側にあるマイノリティの歴史に目を向け、現在はアメリカの1州であるハワイの「本当の姿」に目を向けたい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
94	秋	文化・歴史	欧米文化特講 I b	高木真理子	金	2	5
【副題】日系を中心とするアジア系アメリカ人の足跡							
【講義内容】 本講義ではアメリカ社会におけるAsian and Pacific Americans(アジア太平洋系アメリカ人)と呼ばれる人々の歴史をたどりたい。アメリカでは「マイノリティの中のマイノリティ」と呼べるほど、アメリカのメインストリームの歴史には登場することの少ない彼らが、いかにアメリカ社会に貢献してきたのかを確認したい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
95	春	文化・歴史	言語学Ⅰ	高田三枝子	木	1	5
【副題】 言語学の基礎							
【講義内容】 言語学の基礎的な事項について学ぶこと、また言語を観察する観点を養うことを目標とします。私たちが使っている「ことば」とは何でしょうか？授業ではまず、この問題を、身近な例から皆さんに考えてもらいたいと思います。次に言語学という学問領域の全体像を簡単に示した後で、日本語だけでなく様々な言語に普遍的に見られる現象、あるいは個別言語的な特徴を見ることを通して、世界中の言語の中に日本語を位置づける視点を提案したいと思います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
96	秋	文化・歴史	言語学Ⅱ	高田三枝子	木	1	5
【副題】 社会言語学・方言学の基礎							
【講義内容】 社会言語学の基礎的な事項について学ぶこと、また言語を社会との関係で観察する観点を養うことを目標とします。言語は実際には、その運用される状況(話者の属性、使用場面など)によって多様性を伴い、様々な形で運用されます。この授業では特に言語の多様性という側面について、日常的な言語使用の具体的事例を通して言語を観察する方法を紹介したいと思います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
97	秋	文化・歴史	古文書学Ⅱ	中川すがね	月	4	7
【副題】 江戸時代の古文書を解読する入門							
【講義内容】 近世は、中世までと違って庶民が多様な古文書を作成し、今も地域に残されている。こうした古文書は「御家流」といわれる書流のくずし字で書かれていて一見難しそうであるが、「少し昔の日本の書き言葉」であり、勉強することにより読めるようになるものである。社会人の方には、地域の古文書を理解してその歴史を研究してもらいたい、できれば地域の古文書の保存に寄与していただきたいと考えている。授業内容は、①近世古文書とはどういうものか、②近世古文書を理解するための基礎知識、③古文書から見る近世社会という3点である。古文書コピーを配布するので予習してほしい。それを教師が解読し、その背景について講義する。なお多数なので一人一人の個人指導はできないため、解読の手助けとして古文書辞書を携帯することが好ましい。もし新たに購入するのであれば、若尾俊平他編『増訂 近世古文書解読辞典』柏書房(2726円/2015年12月段階)をおすすめする。 毎年教材は変更するが、初心者向きの内容がくりかえされるので、連続受講の際は、その点了解されたい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
98	春	文化・歴史	書道文化4 I	浅野多鶴	月	3	2
【副題】 篆書を学ぶ(明・清を中心に)							
【講義内容】 中国の近世、特に清代は金石学の興隆と共に書画に遊んだ文人達の活躍した時代でもあります。他方、今日において篆書体はその文字特自の造型のおもしろさから書作品にも多く使われています。この授業では清代の篆書の作品の傾向を学びながら、その時代の書家達の作品に触れながら篆書全般について学びます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
99	秋	文化・歴史	書道文化4 II	浅野多鶴	月	3	5
【副題】 篆刻を学ぶ							
【講義内容】 篆刻は方寸の美といって限られた空間(印面)にどう文字を造形するかという芸術です。文人が競って作りあげた中国近世の印を模刻することから始め、自分の作品用の印の作成を通して篆刻の美について学びます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
100	春	文化・歴史	書道文化5 I	長谷川昌弘	水	4	5
【副題】 隷書、楷書、行草書作品の創作							
【講義内容】 隷書、楷書、行草書の展覧会出品可能な漢字作品創作を目標とする。各自が設定したテーマにそって、その題材から指導し、作品の構成、技法等を講義するとともに、最終的に各種展覧会にも出品可能な大作の作品を創作する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
101	秋	文化・歴史	書道文化5 II	長谷川昌弘	水	4	5
【副題】 仮名、漢字かな交じり作品の創作および実用書							
【講義内容】 大字仮名および漢字かな交じりの展覧会出品可能な作品を創作することを目標とする。各自が設定したテーマにそって、その題材指導とともに作品創作の手法を講義し、実作の指導をおこなう。また時間数に余裕がある場合は、色紙、賞状、手紙、はがき等々の実用書についても指導する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
102	秋	文化・歴史	考古学概説Ⅱ	藤澤良祐	火	2	8
【副題】 歴史考古学への招待							
【講義内容】 本講義では、古墳時代から江戸時代にかけての歴史考古学における重要な学説や論争を紹介するとともに、歴史考古学研究の現状・到達点を解説することにより、今後の研究の可能性を探ることを目的としています。歴史学科1年生の必修科目であるため、大人数の講義です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
103	春	文化・歴史	東洋史特殊研究A-I	松下憲一	金	2	20
【副題】 中国と北方民族							
【講義内容】 本講義では、中国と北方民族との関係を概観します。中国における中華と夷狄の思想の形成から、秦漢と匈奴、魏晉と五胡十六国、鮮卑と南朝の時代を対象として、時代背景やその時代の特徴、北方民族の与えた影響などを検討していきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
104	秋	文化・歴史	東洋史特殊研究A-II	松下憲一	金	2	20
【副題】 中国と北方民族							
【講義内容】 本講義では、中国と北方民族との関係を、北朝隋唐と突厥・ウイグル、北宋と契丹・女真、モンゴルを対象として、それぞれの時代背景やその時代の特徴、北方民族の与えた影響などを検討していきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
105	春	文化・歴史	日本史特殊講義A-I	松菌斉	木	3	10
【副題】 後宮女房の歴史							
【講義内容】 日本における古代から中世にかけて朝廷と貴族社会の変化を政治史・社会史・文化史の側面より論じていく。今期は、特に律令貴族から王朝貴族への変質を中心に、院政期頃までの問題を考えていく。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
106	秋	文化・歴史	日本史特殊講義A-Ⅱ	松園齊	木	3	10
【副題】 後宮女房の歴史							
【講義内容】 中世における王朝貴族から「公家」への変質の問題を論じる。 時代的には鎌倉時代～戦国時代を対象とする。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
107	春	文化・歴史	言語と文化Ⅰ	三木理	水	4	5
【副題】 日本語の語彙(基礎編)							
【講義内容】 ことばの研究に関しては様々な分野がありますが、この授業では語彙論の分野に立って日本語の語彙について学び、理解を深めることを目的とします。具体的には、日本語の個々の語について、様々な例を採り上げながら、構造と意味の両面から考察していく予定です。単に「単語をたくさん覚える」ということよりも、単語を違った視点から考察することや、その成り立ちや意味に興味を惹かれる皆さんの聴講を歓迎します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
108	秋	文化・歴史	言語と文化Ⅱ	三木理	水	4	5
【副題】 日本語の語彙(ケーススタディ)							
【講義内容】 「言語と文化Ⅰ」で学んだことを基礎として、日本語の語彙についてさらに深く学び、理解を深めることを目的とします。具体的な事例(地名、人名、若者語等々)を採り上げ、その特徴等について考察していくつもりです。また、折に触れて他言語の事例を紹介したり、他分野からの視点を紹介する機会もあるかと思えます。語彙(単語)に関する「豆知識」を増やしていくことよりも、学術的に考察することのおもしろさを味わいたい皆さんの聴講を歓迎します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
109	春	文化・歴史	東アジア史	尹大辰	月	2	5
【副題】 朝鮮半島と日本との交流二千年							
【講義内容】 朝鮮半島の古代国家形成史から現代に至るまでの通史を概観します。前半は、朝鮮三国時代から朝鮮王朝中期までの歴史過程を通じ、日本との善隣関係の意義を深め、後半は朝鮮王朝末期(近代)から現代までの歴史をふまえて真の意味での「歴史認識の共有」を目指します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
110	春	心理	生涯発達心理学	片山和男	金	3	10
【副題】 かけがえのない生涯							
【講義内容】 従来の発達心理学は、誕生から成人までを扱い、人生の発展の部分のみを扱い、衰退の部分はないがしろにしてきた。生きざまと死にざまを統合して考えるのが生涯発達心理学である。人は人の環境に入り(誕生)、人とかわり、そして環境を去る(死)。本講義では、この誕生から死に至る過程の諸相と、環境(家庭・学校・職場・地域社会)とのかかわりに視点をおいて生涯にわたる「こころ」の発達を考える。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
111	春	心理	産業心理学a	高木浩人	木	2	5
【副題】 個人と組織の関わり							
【講義内容】 およそ社会で生きていく上で組織と無縁でいられる人はまずいません。産業心理学aでは、とくに「社会的パワー」、「リーダーシップ」に焦点を当て、さまざまな研究を紹介し、現在までにどのようなことが明らかとなっているのか、何が課題として残されているのかについて考えます。受講生の方には、授業で紹介する一般的な理論や現象について、できる限り身近な問題に引き寄せて理解することを試みてほしいと思います。なお、最終回はまとめとレポート作成となります。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
112	秋	心理	産業心理学b	高木浩人	木	2	5
【副題】 個人と組織の関わり							
【講義内容】 産業心理学bでは、とくに「組織のなかで働く個人」に焦点を当て、組織内での服従行動、少数者の影響、モチベーション、キャリア等について、さまざまな研究を紹介し、現在までにどのようなことが明らかとなっているのか、何が課題として残されているのかについて考えます。受講生の方には、授業で紹介する一般的な理論や現象について、できる限り身近な問題に引き寄せて理解することを試みてほしいと思います。なお、最終回はまとめとレポート作成となります。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
113	春	心理	社会心理学	太幡直也	月	3	5
【副題】 ミクロ・マクロな視点から社会的行動を理解する							
【講義内容】 われわれは、日々、他者や社会から多くの影響を受けながら生活しています。また、自分自身が他者や社会に多くの影響を与えています。これらの影響のダイナミズムに着目するのが社会心理学です。この授業では、人間の考え方や行動の背後には他者や社会からの影響が多くみられることを、われわれの日常の行動を例にとりながら解説します。授業の前半は、対人関係、対人行動に関する研究テーマを説明します。後半は、集団に関する研究テーマを説明します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
114	春	心理	人格心理学	太幡直也	木	2	5
【副題】 心の個人差を理解する							
【講義内容】 この授業では、人間の個人差や人格の特徴を表す、パーソナリティという概念を扱います。パーソナリティは心理学の多くの領域と密接に関連しているため、パーソナリティについて学ぶことで、他の心理学の領域を学ぶ際にも有用な知識を得ることができます。授業の前半は、パーソナリティを理解するための基礎的な知識を説明します。後半では、パーソナリティに関する主な研究テーマを説明します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
115	秋	心理	対人認知論	太幡直也	月	3	5
【副題】 他者や社会的事象に対する認知プロセスを理解する							
【講義内容】 われわれは、日々、他者や社会的事象について、特徴を判断したり、推測したりしながら生活しています。この授業では、社会心理学の重要なテーマの一つである、他者や社会的事象に対する認知プロセスについて、われわれの日常の行動を例にとりながら解説します。授業の前半は、他者や社会的事象に対する認知プロセスに関する代表的な研究テーマを説明します。後半は、欺瞞的コミュニケーションを例に、認知プロセスと対人行動との関係を説明します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
116	春	心理	計量心理学a	千野直仁	金	1	10
【副題】 心を計るa							
【講義内容】 春学期では、測定されたデータの基礎的な集計方法やその統計学基礎について学ぶ。最後に、人の知能の測定に始まる因子分析の基礎と応用について学ぶ。予習・復習のためには以下のHPを参照。講義レベルは、中級制度である。愛知学院大学ホームページから、「千野直仁」を検索。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
117	秋	心理	計量心理学b	千野直仁	金	1	10
【副題】 心を計るa							
【講義内容】 秋学期では、春学期で学習した内容を基礎として、アドバンスコースとしての計量心理学的方法を学ぶ。1つには、心や行動・態度等の規定因を探るための方法であり、他方は心や行動・態度等の測定されたデータから、当該現象に潜在する原因変動を探る方法である。講義レベルは、中級程度である。予習・復習のためには以下のHPを参照。愛知学院大学ホームページから、「千野直仁」を検索。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
118	春	健康	先端医療概論	伊藤高行	水	4	10
【副題】 生命科学の進歩とそれが医療に新たにもたらすもの							
【講義内容】 今、先端医療の基礎にある生命科学はすごい勢いで進歩している。特に生命活動を分子レベルで捉える分子生物学の急速な進歩やデジタル技術の飛躍的發展は遺伝子診断、遺伝子治療、分子標的薬、再生医療などの領域を生み出し、また診断技術や治療技術や遠隔地医療にも大きな進歩をもたらしている。新たな医療とその基礎を一般向けに概説し、さらに先端医療開発を支えるシステムや技術革新に伴う新たな倫理的問題にも触れたい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
119	春	健康	人間と環境 I	伊藤雅彦	月	3	6
【副題】 科学の基礎と地球環境の歴史							
【講義内容】 最初に、基礎的な化学の概念を紹介する。次に、宇宙・地球の生成から現在の環境に至るまでの歴史や他の惑星との比較から、生物と地球環境との関係について紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
120	秋	健康	人間と環境 II	伊藤雅彦	月	3	6
【副題】 地球規模の環境問題と環境ホルモン							
【講義内容】 地球規模の環境問題や環境ホルモンなどの、人間が原因となっている地球環境の変化について科学的(化学的)な観点を中心に紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
121	春	健康	人間と環境 I	伊藤雅彦	月	4	6
【副題】 化学の基礎と地球環境の歴史							
【講義内容】 最初に、基礎的な化学の概念を紹介する。次に、宇宙・地球の生成から現在の環境に至るまでの歴史や他の惑星との比較から、生物と地球環境との関係について紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
122	秋	健康	人間と環境Ⅱ	伊藤雅彦	月	4	6
【副題】 地球規模の環境問題と環境ホルモン							
【講義内容】 地球規模の環境問題や環境ホルモンなどの、人間が原因となっている地球環境の変化について科学的(化学的)な観点を中心に紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
123	春	健康	食事療法論	太田喜久	木	5	10
【副題】 食べることは、美味しく、楽しいこと。							
【講義内容】 食べることは、どのような環境においても生命維持には不可欠です。食事療法は全ての生活習慣病の基本となる治療法です。「好みの味付けができない」「家族や友人と同じものが食べられない」「制限が多い」「続かない」、食事療法をこんな風に思っていないか。昨今、食の問題として、高齢者だけでなく、あらゆる世代に潜んでいる低栄養がクローズアップされています。食事療法を基本から学び、美味しく、楽しく続ける方法を、現在の事例に基づき考えることによって、「食べること」について理解することを目指します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
124	秋	健康	ストレス科学論	片山和男	火	1	10
【副題】 ストレスは人生のスパイスである							
【講義内容】 ストレス社会をたくましく生きるためには、時々刻々と変わる環境の変化に適応するべく、常時反応しなければならない。講義では、ストレスの実体を理解したうえで、ストレス反応を「調節する、あるいは、積極的にストレス反応に対処する」という考えに沿って展開する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
125	春	健康	人間と環境Ⅰ	来住準一	木	2	5
【副題】 食品の科学							
【講義内容】 (目標)食品の基礎知識を学び、有機野菜やハーブなどの天然物は必ずしも安全ではなく、すべての食品にリスクが存在することを理解する。(授業内容)①健康情報の正しい読み方(天然モノは安全か、メディアバイアス、みのもんた症候群、フードファディズムなど)②リスクとハザード(狂牛病、ダイオキシン、リスクのトレードオフ、風評被害など)③身近な食品(バターvs.マーガリン、和牛vs.国産牛、発酵vs.腐敗など)							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
126	秋	健康	人間と環境Ⅱ	来住準一	木	2	5
【副題】 食品の科学							
【講義内容】 (目標)食品の基礎知識を学び、有機野菜やハーブなどの天然物は必ずしも安全ではなく、すべての食品にリスクが存在することを理解する。(授業内容)①食の安全をどう考えるか②食品の表示(賞味期限vs.消費期限、無糖vs.砂糖不使用、減農薬vs.低農薬③身近な食品(水道水vs.ミネラルウォーター、せんべいvs.おかし、コピー食品、健康食品など)④食生活と疾患(むし歯、がん、メタボなど)							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
127	春	健康	健康の科学	小出龍郎	木	4	6
【副題】 「健康医学」と「健康スポーツ」							
【講義内容】 人生80年時代を迎え、日本人は平均寿命で世界一長寿国となりましたが、反面、生活の中で健康をおびやかす条件があまりにも多くなってきています。また、超高齢化が進む中で健康への関心が益々高まり、医療に関する情報が日常真偽とりまぜてあふれています。世はまさに健康ブームで、限りなく新たな健康法が日々登場してきています。本講座では、正しい医学的知識を身につけ、食生活はもとより生活習慣の見直しとともに、どう健康情報を活かしていくのかを学びます。そして、ひとりひとりの健康増進と健康寿命の延伸を目指します。2年生次対象の講義のため、わかりやすく、初歩的な内容からスタートします。また、学生さんへは毎回課題に対するレポートを冒頭に書いていただいています。 ※秋の内容と同一です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
128	秋	健康	健康の科学	小出龍郎	木	4	6
【副題】 「健康医学」と「健康スポーツ」							
【講義内容】 人生80年時代を迎え、日本人は平均寿命で世界一長寿国となりましたが、反面、生活の中で健康をおびやかす条件があまりにも多くなってきています。また、超高齢化が進む中で健康への関心が益々高まり、医療に関する情報が日常真偽とりまぜてあふれています。世はまさに健康ブームで、限りなく新たな健康法が日々登場してきています。本講座では、正しい医学的知識を身につけ、食生活はもとより生活習慣の見直しとともに、どう健康情報を活かしていくのかを学びます。そして、ひとりひとりの健康増進と健康寿命の延伸を目指します。2年生次対象の講義のため、わかりやすく、初歩的な内容からスタートします。また、学生さんへは毎回課題に対するレポートを冒頭に書いていただいています。 ※春の内容と同一です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
129	春		生命論	續伯彦	水	2	5
【副題】 生命の新たな捉え方							
【講義内容】 今世紀、生命科学は生命活動をその基礎過程のレベルで制御しはじめ、人間は生命に対する新しい捉え方を必要としています。生命と技術の関わりを軸に生命のあり方と意味を今一度考え直してみます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
130	秋	健康	生態学	續伯彦	水	2	3
【副題】 生命相互の関係を捉えなおしてみる。							
【講義内容】 ある空間に暮らす生命体群は、互いに競争しつつ依存し合って、動的なバランスを保っています。生命体群のバランスのあり方に見られる種々の現象把握を通じて、バランス実現の機構や原理について理解を深めることが学修の目的です。本講義は、総合政策学部向けを前提としているので、人間がその生活空間を全体として捉え、適切な役割を果たすための視点の提供に繋がることを念頭に、適切なテーマを選んで講義を進めます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
131	春	科学	化学 I	伊藤雅彦	水	3	6
【副題】 地球と生命の歴史							
【講義内容】 生命観の歴史・宇宙と地球生成の歴史・太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。最初に、生命観の歴史として、古代からの生命観の変遷を紹介する。次に、生命の誕生の場である宇宙・物質・地球の生成に関する話題を紹介する。さらに、現在の地球に残っている太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
132	秋	科学	化学 II	伊藤雅彦	水	3	6
【副題】 化学進化の実験的研究と宇宙科学・宇宙生物学							
【講義内容】 まず、化学進化の実験的研究(原始地球上で化学物質が生命に進化する過程を実験で再現する研究)について紹介する。次に、地球以外の場所での生命の可能性に関する話題として、宇宙科学・宇宙生物学をとりあげる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
133	春	科学	化学Ⅰ	伊藤雅彦	水	4	6
【副題】 地球と生命の歴史							
【講義内容】 生命観の歴史・宇宙と地球生成の歴史・太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。最初に、生命観の歴史として、古代からの生命観の変遷を紹介する。次に、生命の誕生の場である宇宙・物質・地球の生成に関する話題を紹介する。さらに、現在の地球に残っている太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
134	秋	科学	化学Ⅱ	伊藤雅彦	水	4	6
【副題】 化学進化の実験的研究と宇宙科学・宇宙生物学							
【講義内容】 まず、化学進化の実験的研究(原始地球上で化学物質が生命に進化する過程を実験で再現する研究)について紹介する。次に、地球以外の場所での生命の可能性に関する話題として、宇宙科学・宇宙生物学をとりあげる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
135	春	科学	生物学Ⅰ	小木曾学	水	2	6
【副題】 生物多様性を考える							
【講義内容】 東海地方には、この地域を中心に自生する特徴的な植物群「東海丘陵要素」が見られますが、その多くが人に知られることなく、絶滅の危機に瀕しています。生物学Ⅰでは、生命の誕生から遺伝を経て、進化にいたる原理を学習し、なぜ「東海丘陵要素」がこの地域に生育しているのか、東海地方の成り立ちとともに考えます。また、地球の生物圏でのエネルギーの循環についても理解します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
136	秋	科学	生物学Ⅱ	小木曾学	水	2	6
【副題】 生物多様性を考える							
【講義内容】 生物学Ⅱでは、遺伝子とは何か、を理解し、遺伝子レベルで生物多様性が生まれる仕組み、さらに分子進化から種の分化にいたる過程を考えます。また、地球温暖化、オゾン層の破壊、内分泌かく乱物質などの環境問題が生態系に与える影響についても学習し、この地域の多様性を守るために何をすべきか、何をしてはいけないか、を理解します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
137	春	科学	化学 I	来住準一	月	2	5
【副題】 化学が答える身のまわりの疑問							
【講義内容】 (目標)授業では、常に“なぜ？”を問いかけ、考えていきます。私たちが子どもの頃に持っていた「不思議だなあ〜」「なぜだろう」という気持ちを思い出し、なるほど、こんな事にも化学が関与していたのか、と納得していただければと考えます。一般の人にも理解できるように、分かり易く解説したいと思います。(授業内容)①ニセ科学にご用心(マイナスイオン、火渡りなど)②クッキングの科学(ポップコーン、ゼリー、トマトケチャップ、調味料、スポンジケーキ、石焼き芋、ステーキの焼き方、チャーハンのこつ、熟成など)③身近な食品のなぜ(牛乳はなぜ白い、あめ玉が湿ける理由、とろみなど)							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
138	秋	科学	化学 II	来住準一	月	2	5
【副題】 化学が答える身のまわりの疑問							
【講義内容】 (目標)授業では、常に“なぜ？”を問いかけ、考えていきます。私たちが子どもの頃に持っていた「不思議だなあ〜」「なぜだろう」という気持ちを思い出し、なるほど、こんな事にも化学が関与していたのか、と納得していただければと考えます。一般の人にも理解できるように、分かり易く解説したいと思います。(授業内容)①身のまわりの化学(もしヌに風船をつないだら、なぜ信号のストップは赤色か、ヤモリと宇宙遊泳、低気圧と高気圧、花火、洗濯、ドライクリーニング、シャボン玉、使い捨てカイロ、静電気、コピー、消しゴムで字が消せる理由、大気圧、乾電池など)②からだの疑問(ヒトはスターダスト、男は妊娠できるか(トリビアクイズ)、あなたの部屋が散らかる理由、ヒトの健康を化学ではかるなど)							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
139	春	科学	化学 I	来住準一	木	3	5
【副題】 化学が答える身のまわりの疑問							
【講義内容】 (目標)授業では、常に“なぜ？”を問いかけ、考えていきます。私たちが子どもの頃に持っていた「不思議だなあ〜」「なぜだろう」という気持ちを思い出し、なるほど、こんな事にも化学が関与していたのか、と納得していただければと考えます。一般の人にも理解できるように、分かり易く解説したいと思います。(授業内容)①ニセ科学にご用心(マイナスイオン、火渡りなど)②クッキングの科学(ポップコーン、ゼリー、トマトケチャップ、調味料、スポンジケーキ、石焼き芋、ステーキの焼き方、チャーハンのこつ、熟成など)③身近な食品のなぜ(牛乳はなぜ白い、あめ玉が湿ける理由、とろみなど)							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
140	秋	科学	化学Ⅱ	来住準一	木	3	5

【副題】 化学が答える身のまわりの疑問

【講義内容】

(目標)授業では、常に“なぜ？”を問いかけ、考えていきます。私たちが子どもの頃に持っていた「不思議だなあ～」「なぜだろう」という気持ちを思い出し、なるほど、こんな事にも化学が関与していたのか、と納得していただければと考えます。一般の人にも理解できるように、分かり易く解説したいと思います。(授業内容)①身のまわりの化学(もしヌに風船をつないだら、なぜ信号のストップは赤色か、ヤモリと宇宙遊泳、低気圧と高気圧、花火、洗濯、ドライクリーニング、シャボン玉、使い捨てカイロ、静電気、コピー、消しゴムで字が消せる理由、大気圧、乾電池など)②からだの疑問(ヒトはスターダスト、男は妊娠できるか(トリビアクイズ)、あなたの部屋が散らかる理由、ヒトの健康を化学ではかるなど)

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
141	春	科学	数学Ⅰ	南裕明	水	2	6

【副題】 思考ツールとしての数学(線形計画法・数列)

【講義内容】

連立不等式や数列など高校で習った範囲の数学を題材に現実場面での応用について紹介します。まず連立不等式をグラフを使って視覚化する方法を学び、さらに簡単な線形計画法の解法を紹介します。次に数列について学び、漸化式でローン、積立預金や薬物の血中濃度などを表現する方法を学んだ後、漸化式の解法を学びます。春学期のみの受講も可能です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
142	秋	科学	数学Ⅱ	南裕明	水	2	6

【副題】 思考ツールとしての数学(行列)

【講義内容】

数を並べたベクトル・行列の性質と応用について紹介します。まず行列の和、差、スカラー倍、積などの演算を学びます。さらに行列の演算の応用として社会ネットワーク分析について学びます。次に推移行列によって未来の変化や過去の状況を予測する方法を学んで、さらに固有値と固有ベクトルを導入することで推移行列による変化の結果を計算することが容易になることを学びます。秋学期のみの受講も可能です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
143	春	科学	化学Ⅰ	吉村正宏	金	3	6

【副題】 身の回りの化学:生活編

【講義内容】

化学の基礎を学びながら、日常の生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。世の中の様々な情報に対して科学的な見方が出来るようになることを目標とします。身近な話題として、「ダイヤモンド、水、衣服や洗濯、料理や食品、薬、プラスチック、材料、電池、犯罪捜査、香り、生命など」をテーマに、一話完結型で授業を進めます。春学期のみの受講も可能です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
144	秋	科学	化学Ⅱ	吉村正宏	金	3	6
【副題】 身の回りの化学:健康・環境編							
【講義内容】 生命の仕組みを学びながら、化学物質がもつ二面性(メリットとデメリット)を考えます。日常の生活での人と化学物質の関わりについて、自分で理解し判断できる力を養うことを目標とします。身近な話題として、「生命をつくる分子、細胞内の情報伝達、遺伝情報の仕組み、ヒトゲノム計画、ケミカルバイオロジー、抗がん剤、感染症、免疫、血液型、創薬科学、生命と環境など」をテーマに進めます。秋学期のみの受講も可能です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
145	秋	経済	財政学Ⅱ	竹内信仁	木	3	5
【副題】 所得分配の公平と社会保障							
【講義内容】 政府の果たさなければならない役割の1つとして社会の所得分配の公平がある。もし所得分配の公平が満たされていないと、社会の安定さらには経済の発展に大きな障害となる。本講義では、所得分配の公平が望ましいかの理論的考察を行う。その上で所得分配の公平を達成する手段である、税制度および社会保障制度の現状と課題について説明する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
146	春	経済	経済学A	宮原正人	月	2	2
【副題】 価格決定の仕組みを学ぶ							
【講義内容】 社会科学の基本科目のひとつが「経済学」であることは論を俟たないでしょう。その基礎理論的な部分を担う『経済学A』では私たちの身の回りにある経済現象を解き明かすことを目的に、需要・供給・市場そして価格という言葉 キーワードにして、具体例を中心にして学んでいく予定です。日常的にわれわれが目にする市場における個々の商品(財&サービス)が、需要と供給の関係により価格(と数量)が決定していることを、日々感じられるようになります。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
147	秋	経済	経済学B	宮原正人	月	2	2
【副題】 経済社会全体の仕組みを学ぶ							
【講義内容】 この『経済原論B』では『経済原論A』とは異なり、社会全体の視点から経済現象を解き明かすことを目的に、GDP、失業率、インフレなどという言葉 キーワードにして、具体例を中心にして学んでいく予定です。日々接する経済ニュースの多くは、政府(中央政府のこと)や地方自治体(地方政府という)、あるいは大企業の関連の話が多いが、これらの動きを理解できるようになります。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
148	春	情報処理	マルチメディア論	泉寛幸	火	3	10
【副題】 マルチメディアの要素技術・現状・応用・展望							
【講義内容】 本講義では、マルチメディアの要素技術、現状、応用、今後の展開について解説する。マルチメディアの要素技術として、人間の認知過程の研究や、音声処理技術、画像処理技術、コンピュータグラフィックス(CG)、アニメーション、通信・放送技術などについて、解説する。そして、それらの要素技術を組み合わせると、どのようなことが可能となるかを、社会でのマルチメディアの応用例をもとに説明する。マルチメディア検定3級・Webデザイナー検定3級程度の知識を身につけてもらうことを一つの目標としている。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
149	秋	情報処理	問題解決技法	泉寛幸	火	3	10
【副題】 QC七つ道具, 新QC七つ道具と図解表現							
【講義内容】 図解表現によって情報を構造化して表現する手法について説明する。情報を構造化した図解表現は問題解決としても、他者への情報伝達手段としても有効であることを理解してもらおう。具体的には、定量的問題解決法としてのQC七つ道具と、定性的問題解決法としての新QC七つ道具の説明を中心に行い、その周辺事項についても言及する。受講生には、身近な問題を図解表現するレポートを4回ほど提出してもらうことによって、情報の図解表現および問題解決の演習を行う。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
150	秋	情報処理	数理意思決定	稲垣充廣	木	4	3
【副題】 数値データ、数学的モデルを用いて最適解を求める							
【講義内容】 家を出かける際、曇り時々雨の天気予報で傘を持つか、降水確率50%と聞いてから判断するかします。意思決定、即ち判断の際に、数値データや数学的モデルに基づく定量化は、定性的な情報に較べ個人行動、企業のビジネス、行政の政策等においてよりの確な根拠を与えます。本講座では、オペレーションズリサーチ(OR)の学問分野に入る、行動選択、生産量決定、在庫調整など選択肢を含む問題を扱います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
151	春	情報処理	社会調査法a	木村英憲	月	4	5
【副題】 アンケート調査の裏にあるものを見る目を養いませんか							
【講義内容】 アンケート調査の結果がテレビに出ない日はないくらいです。でも中には都合のいいところだけ出しているものがあります。結果、だまされてしまうことがあります。この授業はアンケートの数字、%とか平均とか順番がどうやって出されているのか、そもそもどうい質問を何人の人にしてというところに遡って、調査結果をだまされない能力を伝授します。単にだまされないだけでなく、グラフや表に潜むパターンを見つけ出す能力(データマイニング力)もお教えします。情報の海から隠れたパターンを発見する手法です。手法は統計学を背景にしていますが、統計学も実はふだんの考え方を小難しく言っているだけなので、小難しい論理を解体して、スッキリ理解できるようにします。 ※なお、この授業ではミクシィというインターネット上の掲示板に感想や意見を書き込んでもらいますので、キーボードとインターネットが使えることが望ましいですが、初歩からお教えします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
152	秋	情報処理	社会調査法b	木村英憲	月	4	5
【副題】 音楽の魅力を調査する							
【講義内容】 ふだん何げなく見ているものも、ちょっと視点を変えて見ると異なった姿が浮かび上がってきます。鈴木という何の変哲もない苗字について講師の知り合いのアメリカ人がこんなことを言っていました。「風が吹くと鈴が鳴るように美しい音色を出す木だなんて、なんて美しい名前だ」と感動して言っていました。 何気なく聞いている音楽も歌詞もじっくり見てみると、私たちがなんとなく見ていることの美しさや素晴らしさを語っています。あるいは失恋や就活など人生は思い通りにいかないことだらけかもしれないかもしれません。思い通りにいかない人生を描いた音楽やドラマを見ると、気持ちが落ち着いたりします。現代社会では人々はどういうことで悩んだり、喜びを見出しているのか、このことを歌詞や映画、ドラマから浮かび上がらせる手法を身に着け、映画、音楽をもっと楽しく味わい、ひいては人生そのものの奥深さを味わってみませんか、みなさんにとって異文化でもある若い学生さんと一緒に？ ※なお、この授業ではミクシィというインターネット上の掲示板に感想や意見を書き込んでもらいますので、キーボードとインターネットが使えることが望ましいですが、初歩からお教えします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
153	春	情報処理	情報ネットワーク論	清水和美	火	1	3
【副題】 問題解決の手法を知る							
【講義内容】 社会活動において、情報システムは問題解決の役割を果たしています。本講義では、情報化社会の基盤となる通信ネットワークの構成・基本要素とシステム構築に必要な手法について概説します。それらの理論や検討手法は社会・企業で用いられ、特に調査・企画部門やマーケティング部門で役立つものです。授業の中でそれらを十分に伝え、演習課題も多く体験することで、社会の様々な場面での応用を期待します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
154	秋	政治	政治学原論	梅川正美	月	3	5
【副題】 政治についての心の習慣							
【講義内容】 日本における政治についての心の習慣について考えます。政治は上のひとがやるものとおもう「大人しいさん」。自分が出世することによって、政治を動かそうとする「元気さん」。上からひとびとを世話することで政治をしようとする「親分さん」。正義をもとめる「市民さん」。その他のタイプをふくめて、わたしたちの持っている考え方の習慣について、考えます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
155	秋	政治	政治学原論	梅川正美	木	2	5
【副題】 政治についての心の習慣							
【講義内容】 日本における政治についての心の習慣について考えます。政治は上のひとがやるものとおもう「大人しいさん」。自分が出世することによって、政治を動かそうとする「元気さん」。上からひとびとを世話することで政治をしようとする「親分さん」。正義をもとめる「市民さん」。その他のタイプをふくめて、わたしたちの持っている考え方の習慣について、考えます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
156	春	政治	比較政治	梅川正美	月	2	5
【副題】 主要諸国の政治比較							
【講義内容】 政治制度の基本について、特にイギリスを中心としながら、主要国を比較します。現在、イギリスは、EUをどのように離脱するか、離脱したあとは、どのような国にするか。スコットランドは独立するのだろうか。議会制民主主義はどうなるのか。などについて、考えます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
157	春	政治	西洋政治史	中谷毅	火	1	3
【副題】 ドイツ外交の歩み							
【講義内容】 第二次世界大戦後から現在までのドイツ政治史を外交政策に焦点を当てて考えます。1989年までの時代をドイツ・欧州の分断、西側統合政策、東方外交、ヨーロッパ平和秩序といったキー概念を中心に検討し、その後、1989年から1990年のドイツ統一劇を説明します。そして、グローバル化の時代といわれる今日、統一後のドイツがどのような課題を抱えながらヨーロッパで、世界でその地歩を築いているのかを考えます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
158	秋	政治	国際関係論	中谷毅	火	1	3
【副題】 ヨーロッパ統合の歴史							
【講義内容】 第二次世界大戦後のヨーロッパ史をヨーロッパの統合という視角から検討します。国際政治における最先端の実験であるヨーロッパ統合という現象を、20世紀の国際政治の変容という大きな流れの中に位置づけて考えます。1945年以降の統合の歴史が説明の中心になりますが、それまでの時代の統合前史にもある程度言及します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
159	春	政治	国際関係論a	福島崇宏	木	3	3
【副題】 国際問題を歴史と理論から考える(基礎編)							
【講義内容】 グローバル社会といわれる今日、私たちの生活と国際問題は切り離せなくなっています。本講では身近な国際問題を正確に理解するために、国際関係の歴史の変遷と理論を中心に学びます。歴史の変遷をもとに、軍事力に代表される力による平和、国際連合を中心とした話し合いによる平和など、平和の実現に向けた先人たちの知恵を学びます。最後に、集団的自衛権の行使容認で議論を呼んでいる、安全保障の問題について理解を深めます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
160	秋	政治	国際関係論b	福島崇宏	木	3	3
【副題】 国際問題を歴史と理論から考える(応用編)							
【講義内容】 国際関係論aで培った知識を基に、国際関係の鍵となるさまざまな問題について、歴史の変遷と今日的課題を中心に理解を深めます。具体的には、日本を取り巻く領土問題から始まり、核兵器の拡散、過激派組織によるテロ行為、貿易自由化などの経済問題、温暖化などの地球環境問題等々、幅広く取り組みます。問題自体は個別具体的に取り組みますが、これら諸問題が実際には密接につながっていることを意識しながら受講すると、より効果的です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
161	春	法律	メディアと法	飯野賢一	月	3	5
【副題】 メディアの表現の自由と個人の人権をどう調和させるのか							
【講義内容】 この講義では、新聞・テレビなどのメディアがどのような役割を果たしているのかについて、法学的な観点から検討していきます。また、メディアの活動が私たちのプライバシーや名誉といった人権と衝突するときに、どのように調整していくべきかについても考えてみたいと思います。近年、めざましい発展を遂げるインターネットの問題についても、扱う予定です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
162	春	法律	憲法入門	飯野賢一	水	2	5
【副題】 人権の問題を中心にした憲法入門							
【講義内容】 憲法は、大きく分けると人権に関する規定と統治機構に関する規定から成り立っています。この講義では、はじめに憲法の基本原理を確認したのち、人権規定の方に重点を置いて憲法の基本的な考え方を説明します。なぜ憲法入門を人権中心に講義するかといえば、人権が侵害されて困っている人がいることを知れば、憲法問題をより身近に感じてもらうことができるのではないかと考えるからです。講義では人権の歴史や観念についてみた後、プライバシーの権利や法の下での平等、信教の自由、表現の自由などについて、具体的な事件を取り上げて詳しく説明していきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
163	秋	法律	憲法Ⅰ(統治)	飯野賢一	水	2	5
【副題】 国の統治の仕組みを考える							
【講義内容】 この講義は、憲法の統治機構に関する基本を説明します。統治機構のメイン・テーマは、国会・内閣・裁判所といった国の組織が、どのような活動を行い、それぞれがどのような関係にあるのかを明らかにすることです。そのために、まず権力分立という考え方を学ぶ必要があります。さらに、こうした国家の組織に対して、国民がどのような係わり合いを持っているのか、とりわけ主権者である国民が、これらの機関に対してどのような民主的コントロールを及ぼすことができるのかを検討します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
164	春	法律	憲法Ⅱ(人権)A	飯野賢一	金	2	5
【副題】 人権の問題から考える個人と国家の関係							
【講義内容】 この講義では、現代社会における人権の問題を素材として、個人・社会・国家の関係について考えていきます。春学期では、思想及び良心の自由、信教の自由、表現の自由といった精神的自由に関する問題と、幸福追求権や法の下での平等の問題を扱います。より具体的には、公立学校での国旗国歌の強制は思想の自由を侵害しないのか、名誉毀損的表現や性的表現の規制は認められるのかといった問題を検討します。なお、この講義は、発展科目のため、憲法入門などで学んだ知識を前提として進めます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
165	秋	法律	憲法Ⅱ(人権)B	飯野賢一	金	2	5

【副題】 人権の問題から考える国家と個人の関係

【講義内容】

秋学期の人権の講義のはじめは、経済的自由や財産権、社会権などを中心にお話します。具体的には、職業を選択したり、営業をしたりする自由にどのような規制が認められるのか、「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」とはどのようなものか、公立学校での授業内容を決められるのは誰か、会社員や公務員がストライキをすることは認められるのか、という問題を扱います。ここまでお話した後、人権総論に戻り、人権享有主体性の問題や憲法の私人間適用の問題を扱います。この講義も、憲法入門で学んだ基礎知識を前提に進めます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
166	春	法律	刑事訴訟法A	石田倫識	木	3	10

【副題】 刑事裁判の諸問題(捜査法に関する判例を中心に)

【講義内容】

裁判員制度の導入を契機に、刑事裁判に対する関心は徐々に高まってきています。しかしながら、刑事裁判についての法教育は、陪審制や参審制など、国民の司法参加の制度を有する諸外国に比べて、なお不十分なもののように思います。本講義では、具体的なケースなどを通じて、刑事裁判の基本原則を学んでいきたいと思います。なお刑事訴訟法Aでは、いわゆる捜査法の領域に重点をおきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
167	秋	法律	刑事訴訟法B	石田倫識	木	3	10

【副題】 刑事裁判の諸問題(証拠法に関する判例を中心に)

【講義内容】

刑事訴訟法Bでは特に刑事証拠法の領域(挙証責任原則、自由心証主義、伝聞法則、自白法則・補強法則、違法収集証拠排除法則等)を重点的に採り上げます。刑事訴訟法A(捜査法)の知識をある程度前提としていますが、必要に応じて、捜査法についても補足いたします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
168	秋	法律	特殊講義Ⅵ/Ⅱ租税法B(応用)	小川正雄	火	3	5

【副題】 所得税法入門

【講義内容】

I 所得税法の基本事項 ①納税義務者 ②帰属 ③課税物件 ④課税標準 ⑤税率
 II 収入金額と必要経費 ①収入金額の原則 ②収入金額の特例 ③必要経費の原則 ④必要経費の特例 ⑤それぞれの計上時期と計上基準
 III 所得の種類 ①各種所得の種類 ②それぞれの特徴
 IV 所得の金額の総合と損益通算

講義中に不明な点があれば、その時に質問をしてください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
169	春	法律	法哲学A	堅田研一	月	2	5
【副題】 法の原理的考察							
【講義内容】 「法とは主権者の発する命令である」という学説の検討から出発して、「法とは何であるか」を原理的に考えていきます。オースティン、ケルゼン、ハート、ドゥウオーキンという、現代分析法理学と呼ばれる法哲学者の系譜をたどりながら、法と実力との違い、法と道徳との違い、ルールとして法を捉えることの意義、いわゆる道徳とは異なる法に固有の価値としての「正しさ」、といった法哲学の基本問題について考察していきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
170	秋	法律	法哲学B	堅田研一	月	2	5
【副題】 現代正義論							
【講義内容】 法が実現すべき価値といわれる「正義」とは何かについて考察します。近代法の基本的な価値は自由と平等であるといわれますが、この両者は必ずしも両立するわけではありません。この両者の対立をどのように調整するかをめぐって、現代の自由主義的な正義論が論争を繰り広げています。この論争を、とりわけロールズとノージックの対立を中心に検討します。さらに、自由主義を根本から批判する共同体主義と自由主義陣営との論争について考察します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
171	春	法律	法と社会	堅田研一	火	2	5
【副題】 自由主義と正義							
【講義内容】 近代国家の形成原理としての社会契約論、市場論、夜警国家、福祉国家、新自由主義といった、現代社会を原理的に考えるための基礎概念についてまず説明します。次に、現代の自由主義社会における正義と法について考えていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
172	春	法律	特殊講義ⅩⅠ 法思想史A	堅田研一	水	2	5
【副題】 古代・中世の法思想							
【講義内容】 現在の日本の法体系は近代法に属しますが、この講義では近代以前の、すなわち古代と中世の主な法思想について概説します。プラトン、アリストテレス、トマス・アクィナス等の法思想の説明が中心になります。近代法の限界について語られている現在、これらの思想を学ぶことは、近代法を考え直すきっかけになると思います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
173	春	法律	法学	堅田研一	木	2	5
【副題】 法学入門							
【講義内容】 法律学を初めて学ぶ受講生を対象に、近代法の基本的な思想、法体系の基本構造、憲法・民法・刑法などの主要な実定法の基本原則と概念、法源論など、これからより深く個々の実定法を学ぶための基礎固めを行います。実例を用いたり、難しい概念をできるだけわかりやすい言葉に置き換えるなどして、初学者にも理解ができるような説明を心がけます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
174	秋	法律	国家と宗教	堅田研一	木	2	5
【副題】 宗教判例を読む							
【講義内容】 国家と宗教との関係について原理的に考察します。まず、信教の自由の原則が形成された思想史の流れを振り返りながら、その原理的意義を考えます。次に、信教の自由と政教分離に関する代表的な日本の判例を取り上げ、検討していきます。この検討は、憲法学の成果を踏まえ、かつ信教の自由の原理的・思想史的意義を基に、国家と宗教とがどのように関係すべきかという原理的な問題設定の下で行います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
175	春	法律	政党史	栗田直樹	水	1	5
【副題】 昭和期の政党史							
【講義内容】 昭和期、とりわけその戦前・戦中期の政党史について、概略的な解説を行いたいと思います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
176	春	法律	地方政治	栗田直樹	月	2	5
【副題】 地方から見た昭和の政治史							
【講義内容】 昭和期の政治史を地方に視点を据えて学んでいきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
177	秋	法律	日本政治史	栗田直樹	月	1	5
【副題】 昭和期の政治史							
【講義内容】 昭和期、とりわけその戦前・戦中期の政治史について、政党を中心に概略的な解説を行ないたいと思います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
178	春		会社法 I (設立・株式等)A	黒野葉子	金	2	5
【副題】 会社法の基礎および会社の設立							
【講義内容】 この授業では、まず、会社の意義や会社法の目的、会社の種類といった会社法の総論的部分を学習します。その上で、株式会社制度を中心に、そのしくみと設立手続についてみていきます。具体的には、会社法の①「第1編 会社法総則」、②「第3編 持分会社」、③「第2編 株式会社」のうち、「第1章 設立」を扱います。授業は、会社法の基本事項につき、なぜそのように定められているのかということも考えながら進めていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
179	秋	法律	会社法 I (設立・株式等)B	黒野葉子	金	2	5
【副題】 株式に関する会社法上の基礎知識							
【講義内容】 この授業では、株式会社の社員たる地位としての「株式」について扱います。具体的には、株式の意義、株主の権利、株式の種類、株式の譲渡などについて学習します。授業は、会社法の基本事項につき、なぜそのように定められているのかということも考えながら進めていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
180	春	法律	特殊講義 X Ⅲ/V 企業法特講	黒野葉子	水	3	5
【副題】 企業買収をめぐる法的諸問題							
【講義内容】 近年、株式会社をとりまく環境は大きく変化し、わが国においても、M&Aが活発に行われるようになっていきました。そして、それに伴い、企業買収に関連して、会社法上、さまざまな新しい問題を生じ、そのような問題に関する重要な裁判例も多く出されています。そこで、この授業では、企業買収をめぐる会社法上の諸問題について、これに関する近時の裁判例を参照しつつ、法的な観点から検討します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
181	秋	法律	企業取引決済と法	黒野葉子	水	3	5
【副題】 決済のしくみと法ルール							
【講義内容】 この授業では、企業取引の決済手段をめぐる法ルールについて学びます。まずは、従来、企業取引決済の中心をなしてきた約束手形を中心に、手形法・小切手法の基礎的知識を身につけます。さらに、手形・小切手以外の支払手段として活用されている銀行振込みやクレジットカード、さらには近時利用が進んでいる電子マネーなどについても扱います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
182	春	法律	企業組織の運営と法	黒野葉子	金	3	5
【副題】 株式会社のガバナンス							
【講義内容】 この授業では、株式会社の「機関」について学習します。会社の「機関」は、まさに、法人たる会社を「動かす」部分です。株式会社は、「所有と経営の分離」のもと、出資者たる株主は業務執行には携わず、経営を取締役に委ねるかたちをとっており、株式会社においては、その経営の監視体制の整備が重要となります。そこで、この授業では、株式会社のガバナンスに焦点を当てて進めていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
183	秋	法律	企業組織の資金調達と法	黒野葉子	金	3	5
【副題】 株式会社のファイナンス							
【講義内容】 会社は、その事業を行うために資金を必要とします。この授業では、会社法が用意している資金調達のしくみについて学習します。ただし、現実には、そのしくみが資金調達以外の目的で利用される場合もあります。そこで、まずは、会社法の各制度についてオーソドックスな解説をした上で、実際にはそれらの制度がどのように利用されるのか、また、そこにどのような問題が起こりうるのかについてもみていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
184	春	法律	民法入門	神田桂	水	3	5
【副題】 民法の基礎を学ぶ							
【講義内容】 この講義では、まず、民法を学ぶ上での基礎的な知識を習得したうえで、民法の基本原則を中心に民法(財産法)の仕組みや考え方を学ぶ。次いで、民法第1編(総則)の1条から32条の2まで(たとえば、権利濫用、未成年者の民法上の扱い、後見制度等)を解説する(条文は、順不同で登場する)。 【受講上の注意】 ・六法(ポケット六法(有斐閣)等が望ましい)必携 ・授業は指定席制で行う ・授業はレジュメに従って講義形式で行い、小テストを複数回実施する ・この授業は予習がしてあることを前提として進行するため、受講生は事前にWeb Campus上にアップロードされる配布レジュメをプリントアウトする等の予習が必要となる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
185	春	法律	民法Ⅳ(契約)	神田桂	火	1	3
【副題】 契約法を学ぶ—契約総論(契約の成立・契約の効力・契約の解除)および契約各論(売買・賃貸借など)—							
【講義内容】 民法第3編「債権」のうちの第2章「契約」(521条から696条まで)を扱う。民法上の「契約」をめぐる規定につき具体例を踏まえつつ概略を理解することを目標とする。 【受講上の注意】 ・毎回六法必携であり、かつ「民事法入門」、「民法Ⅰ(総則)」で学ぶ知識については習得済みであることを前提として進行する。 ・授業はレジュメに従って講義形式で行い、レジュメの予習がしてあることを前提として進行するため、受講生は事前にWeb Campus上にアップロードされる配布レジュメをプリントアウトする等の予習が必要となる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
186	秋	法律	民法Ⅲ(債権総論)	神田桂	火	1	3
【副題】 債権総論を学ぶ —債権の目的・債権の効力・債権債務関係の移転・債権の消滅・多数当事者の債権債務関係—							
【講義内容】 民法第3編「債権」のうちの第1章「総則」(399条から520条まで)を扱う。民法上の「債権」に関する共通ルール(債権総論)につき具体例を踏まえつつ概略を理解することを目標とする。 【受講上の注意】 ・この講義は毎回六法必携であり、かつ「民事法入門」、「民法Ⅰ(総則)」で学ぶ知識については習得済みであることを前提として進行する。 ・授業はレジュメに従って講義形式で行い、レジュメの予習がしてあることを前提として進行するため、受講生は事前にWeb Campus上にアップロードされる配布レジュメをプリントアウトする等の予習が必要となる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
187	春	法律	民法Ⅳ(契約)	神田桂	金	3	3
【副題】 契約法を学ぶ—契約総論(契約の成立・契約の効力・契約の解除)および契約各論(売買・賃貸借など)—							
【講義内容】 民法第3編「債権」のうちの第2章「契約」(521条から696条まで)を扱う。民法上の「契約」をめぐる規定につき具体例を踏まえつつ概略を理解することを目標とする。 【受講上の注意】 ・毎回六法必携であり、かつ「民事法入門」、「民法Ⅰ(総則)」で学ぶ知識については習得済みであることを前提として進行する。 ・授業はレジュメに従って講義形式で行い、レジュメの予習がしてあることを前提として進行するため、受講生は事前にWeb Campus上にアップロードされる配布レジュメをプリントアウトする等の予習が必要となる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
188	秋	法律	民法Ⅲ(債権総論)	神田桂	金	3	3
【副題】 債権総論を学ぶ ―債権の目的・債権の効力・債権債務関係の移転・債権の消滅・多数当事者の債権債務関係―							
【講義内容】 民法第3編「債権」のうちの第1章「総則」(399条から520条まで)を扱う。民法上の「債権」に関する共通ルール(債権総論)につき具体例を踏まえつつ概略を理解することを目標とする。 【受講上の注意】 ・この講義は毎回六法必携であり、かつ「民事法入門」、「民法Ⅰ(総則)」で学ぶ知識については習得済みであることを前提として進行する。 ・授業はレジュメに従って講義形式で行い、レジュメの予習がしてあることを前提として進行するため、受講生は事前にWeb Campus上にアップロードされる配布レジュメをプリントアウトする等の予習が必要となる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
189	秋	法律	民法Ⅵ(不法行為等)	神田桂	水	3	3
【副題】 不法行為法を学ぶ							
【講義内容】 民法第3編「債権」(399条から724条まで)のうちの第5章「不法行為(709条から724条)を中心に、第3章「事務管理」(697条から702条)、第4章「不当利得」(703条から724条)を扱う。 民法の方規定や法制度の基本的な仕組みについて、具体例を踏まえつつ概略を理解することを目標とする。 【受講上の注意】 ・この授業は、「民事法入門」で学ぶ知識については習得済みであることを前提として進行する ・六法必携 ・授業はレジュメに従って講義形式で行い、レジュメの予習がしてあることを前提として進行するため、受講生は事前にWeb Campus上にアップロードされる配布レジュメをプリントアウトする等の予習が必要となる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
190	秋	法律	民法Ⅵ(不法行為等)	神田桂	金	1	3
【副題】 不法行為法を学ぶ							
【講義内容】 民法第3編「債権」(399条から724条まで)のうちの第5章「不法行為(709条から724条)を中心に、第3章「事務管理」(697条から702条)、第4章「不当利得」(703条から724条)を扱う。 民法の方規定や法制度の基本的な仕組みについて、具体例を踏まえつつ概略を理解することを目標とする。 【受講上の注意】 ・この授業は、「民事法入門」で学ぶ知識については習得済みであることを前提として進行する ・六法必携 ・授業はレジュメに従って講義形式で行い、レジュメの予習がしてあることを前提として進行するため、受講生は事前にWeb Campus上にアップロードされる配布レジュメをプリントアウトする等の予習が必要となる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
191	秋	法律	行政法 I (総論)A	小林明夫	木	4	5
【副題】 行政法の基礎を学ぶ							
【講義内容】 この講義は、行政法の全体像を把握・理解することを目的とする。行政法の分野には、憲法、民法、刑法などと異なり、「行政法」という名前の法典は存在しない。そのことは、行政法という法分野の複雑さ・龐大さを象徴するものであるが、この分野に属する無数の法令は、いずれも市民生活に密接な関わりを有しているものばかりである。この講義では、個々の法令というよりこれらを一貫した基本原則を理解することを主眼として進めていく。なお、本科目は憲法をはじめとする基本的な法律系科目を履修した上で受講することが望ましい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
192	秋	法律	行政法A	小林明夫	火	2	5
【副題】 行政法の基礎を学ぶ							
【講義内容】 この講義は、行政法の全体像を把握・理解することを目的とする。行政法の分野には、憲法、民法、刑法などと異なり、「行政法」という名前の法典は存在しない。そのことは、行政法という法分野の複雑さ・龐大さを象徴するものであるが、この分野に属する無数の法令は、いずれも市民生活に密接な関わりを有しているものばかりである。この講義では、個々の法令というよりこれらを一貫した基本原則を理解することを主眼として進めていく。なお、本科目は憲法をはじめとする基本的な法律系科目を履修した上で受講することが望ましい。(本科目の講義内容は「行政法 I (総論)A」と同様である。)							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
193	春	法律	地方自治と法	小林明夫	木	4	5
【副題】 地方自治の法としくみを学ぶ							
【講義内容】 日本国憲法が保障する地方自治とは何か、それを現実のものとするための地方自治の法としくみはどのようなものなのか、といった点を体系的に理解することがこの講義の目標である。このことから、憲法・地方自治法などの理解を中心として話を進めるが、その際には、担当教員の行政実務経験を踏まえ、現実の地方自治の現場で、どのように法が解釈運用され、また、自治立法の企画・立案がなされているのか等の実態にも目配りしながら、講義を展開していく予定である。なお、本科目は憲法をはじめとする基本的な法律系科目を履修した上で受講することが望ましい。(本科目の講義内容は「地方自治法」と同様である。)							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
194	春	法律	地方自治法	小林明夫	火	2	5
【副題】 地方自治の法としくみを学ぶ							
【講義内容】 日本国憲法が保障する地方自治とは何か、それを現実のものとするための地方自治の法としくみはどのようなものなのか、といった点を体系的に理解することがこの講義の目標である。このことから、憲法・地方自治法などの理解を中心として話を進めるが、その際には、担当教員の行政実務経験を踏まえ、現実の地方自治の現場で、どのように法が解釈運用され、また、自治立法の企画・立案がなされているのか等の実態にも目配りしながら、講義を展開していく予定である。なお、本科目は憲法をはじめとする基本的な法律系科目を履修した上で受講することが望ましい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
195	春	法律	特殊講義XIV自治体法務	小林明夫	木	2	5
【副題】 政策法務という「新大陸の法学」への招待							
【講義内容】 この講義では「政策法務」と呼ばれる分野を取り扱う。政策法務とは、「法を政策実現の手段と捉え、政策実現のためにどのような立法、法執行、争訟評価が求められるかを検討する理論及び実務における取組」であるとするのが学界における代表的な定義である。分権的行政システムへの指向性が時代の大きな流れとなっている現在、自治体は、法の執行に当たって、政策実現のために最も合理的な解釈運用を行わなければならない。また、地域に解決すべき問題がある場合には、自治体が独自の政策をつくり、これを実現するために、条例制定等の対応をとる必要がある。 本講義においては、理論と実務とを架橋するという政策法務の特質を意識しつつ、その考え方を紹介していく。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
196	春	法律	消費者と法	佐藤啓子	火	4	3
【副題】 「強い」消費者になる							
【講義内容】 消費者は「弱い」「保護されるべき」存在だと考えられてきました。また、不況になると悪徳商法によるトラブルが増えるとも言われています。もしトラブルが起きたらまずその対処が必要ですが、そもそもトラブルに巻き込まれない方がよいのではないのでしょうか。ある程度の法的な基礎知識に加えて、対処方法を学びます。なお、六法を持参してください。また、インターネットからいくつかの条文をプリントアウトしてほしいと要望するかもしれません。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
197	春	法律	民法Ⅴ(担保物権)	佐藤啓子	火	2	3
【副題】 債務を確実に実行してもらうための物的担保について							
【講義内容】 民法の295条から398条の22と、非典型担保を扱います。ここでは主に、民法の第2編「物権」の後半部分に当たります。物(動産・不動産)を中心に、人に対して債権の履行を促すシステムの一部を、学説と判例を中心に学びます。また、民法のこの範囲以外の理解も要求されますが、物権と債権の復習をしながら授業を進めます。民法の学習は条文あってこそ初めて可能ですので、指定された教材だけではなく、六法を必ず持参してください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
198	秋	法律	民法Ⅶ(親族)	佐藤啓子	火	1	3
【副題】 親族法を学ぶ							
【講義内容】 日本の法律には、「家族」をそのまま扱う習慣がありません。民法では、婚姻や夫婦関係についてと、親子関係についての条文があり、それを組み合わせて家族のことを考えます。現実社会では、昔と比べて家族像もずいぶん変わっており、またこれからも変わっていくでしょう。これまでとこれからの家族についての法的知識を習います。民事法入門で習った「人」についての内容が前提となります。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
199	秋	法律	民法Ⅶ(親族)	佐藤啓子	水	1	3
【副題】 親族法を学ぶ							
【講義内容】 日本の法律には、「家族」をそのまま扱う習慣がありません。民法では、婚姻や夫婦関係についてと、親子関係についての条文があり、それを組み合わせて家族のことを考えます。現実社会では、昔と比べて家族像もずいぶん変わっており、またこれからも変わっていくでしょう。これまでとこれからの家族についての法的知識を習います。民事法入門で習った「人」についての内容が前提となります。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
200	秋	法律	行政法Ⅰ(総論)A	杉原丈史	火	2	5
【副題】 行政活動をめぐる法的統制の基本構造							
【講義内容】 社会全体の利益、すなわち公益を実現するために、国・自治体が市民に対して行う規制や給付などの行政活動は、市民の日々の生活を直接左右するものである以上、法に基づく公正かつ民主的な統制が不可欠である。こうした統制の基本的な仕組みを明らかにした上で、それが現代の複雑多様な行政活動にどこまで対応できているのかを分析する。本科目は、憲法を始めとする基本的な法律系科目を履修した上で受講することが望ましい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
201	春	法律	行政法Ⅰ(総論)B	杉原丈史	水	2	5

【副題】 行政過程を通じた行政の活動形式に対する法的統制の構造

【講義内容】

行政法Ⅰ(総論)Aの講義で明らかとなった法律による行政の限界を克服すべく提唱された重要な行政法理論である行政過程論の立場から、行政過程全体を通じていかなる活動形式が用いられ、それに対してどのような法的統制がなされているかにつき、近年の立法・判例の動向をふまえながら、その現状と課題を分析していく。本科目は、「行政法Ⅰ(総論)A」を履修した上で受講することが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
202	秋	法律	行政法Ⅱ(各論)	杉原丈史	金	2	5

【副題】 行政活動に対する私人の利益救済に関する法的仕組み

【講義内容】

行政は、膨大な人員・設備と強力な権限を有する公的組織によって実施される以上、違法になされた場合はもちろん、適法であっても、個々人の権利・利益を侵害する危険性を常に有している。個人のこうした危険に対して、必要な救済手段を保障するために発達してきた行政争訟法および国家補償法の現状を分析する。本科目は、「行政法Ⅰ(総論)A・B」を一通り履修した上で受講することが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
203	秋	法律	行政法B	杉原丈史	水	2	5

【副題】 行政過程を通じた行政の活動形式に対する法的統制の構造

【講義内容】

行政法Aの講義で明らかとなった法律による行政の限界を克服すべく提唱された重要な行政法理論である行政過程論の立場から、行政過程全体を通じていかなる活動形式が用いられ、それに対してどのような法的統制がなされているかにつき、近年の立法動向をふまえながら分析していく。よって、本科目は、「行政法A」を履修した上で受講することが望ましい。なお、講義内容は「行政法Ⅰ(総論)B」と同様である。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
204	春	法律	特殊講義Ⅵ行政紛争と法	杉原丈史	火	2	5

【副題】 行政紛争の法的解決を目的とした様々な手続きや仕組み

【講義内容】

消費者被害、建築紛争、環境問題など、現代社会における様々な法的紛争は、本来それを予防すべき行政活動が違法に行われてしまったり、逆に十分行われていなかったりすることに起因する場合が多い。本科目では、そうした「行政の失敗」をいかに是正・改善し、紛争に対して適正な解決をもたらすことができるかという観点から、現行法における行政紛争解決目的による様々な手続きや仕組みを幅広く検討する。本科目は、少なくとも「行政法A」を履修した上で受講することが望ましい。また、講義内容は、「行政法Ⅱ(各論)」と相当程度重複する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
205	春	法律	外国法A	鈴木慎太郎	金	2	5
【副題】 アメリカ法制度の基本を学ぶ							
【講義内容】 この講義では、「外国法」としてアメリカ法を学びます。各回の講義では、アメリカの統治構造や立法過程、司法制度の概要とその特徴、法律家のあり方、ロースクールなど法曹養成制度の概要、憲法・民法・刑法の分野でのアメリカ法に特徴的な制度や考え方などを説明します。アメリカの法制度を多角的な観点から検討することでその全体像を把握し、また日本法とアメリカ法を比較することで日本法の理解を深めることも目標とします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
206	秋	法律	外国法B	鈴木慎太郎	金	2	5
【副題】 判例から読み解くアメリカ社会							
【講義内容】 アメリカの法制度は判例を中心に形成されています。この講義では、1つの判例を1ないし2回にわたって検討し、私たち日本人の法感覚と比較しながら、アメリカ法の原理やその背景にあるアメリカ社会の価値観を理解することをめざします。検討する判例は、表現の自由、信教の自由や生命倫理の問題に関するものです（※アメリカ法制度の全体構造についての説明は「外国法A」で行い、この講義では行いませんのでご注意ください）。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
207	秋	法律	特殊講義ⅩⅡ 法思想史B	鈴木慎太郎	水	2	5
【副題】 近代の法思想：日本法の「水源」を求めて7人の哲学者を訪ねる							
【講義内容】 現代の日本の法制度の根幹は、近代の西欧で誕生したものを引き継いでいます。この講義では、そのような日本法の「水源」ともいえる近代の法思想を学びます。具体的には、近代の法思想形成に大きな貢献をしたと考えられる7人の哲学者（ホッブズ、ロック、ルソー、カント、ベンサム、ヘーゲル、マルクス）の法思想を中心に解説します。7人の哲学者との「対話」を通して、現代の日本の法制度の根幹について改めて考える講義です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
208	秋	法律	法と倫理	鈴木慎太郎	火	2	5
【副題】 法学から生命倫理を考える							
【講義内容】 先端的な医療が次々と開発されている現代社会においては、そうした新しい医療の社会的受容が課題となっています。この講義では、臓器移植医療、生殖補助医療、遺伝子医療などの進展に伴って生じる生命倫理の問題に対し、法的思考を用いてどのような解決が考えられるのかを検討します。こうした現代的な課題を考えることを通して、法の可能性と限界、法と倫理の関係など、「法」に対する理解を深めることが、この講義のねらいです。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
209	春	法律	法学	鈴木慎太郎	水	2	5

【副題】 はじめて法を学ぶ人のための法学入門

【講義内容】

この講義は、さまざまな法を理解し、学ぶための基礎固めを行う講義です。法律学にはじめて触れる受講生を対象に、法の基本的な考え方、法体系の基本構造、憲法・民法・刑法などの主要な実定法の基本原理と概念、法源論、法解釈の方法などをわかりやすく説明します。受講生は法学の初学者であることが前提ですので、実例を用いたり、難しい概念をできるだけわかりやすい言葉に置き換えるなどして、理解しやすい講義をめざします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
210	春	法律	法学	鈴木慎太郎	木	2	5

【副題】 法学入門

【講義内容】

法律学を初めて学ぶ受講生を対象に、近代法の基本的な思想、法体系の基本構造、憲法・民法・刑法などの主要な実定法の基本原理と概念、法源論、法解釈の方法など、これからより深く個々の実定法を学ぶための基礎固めを行います。実例を用いたり、難しい概念をできるだけわかりやすい言葉に置き換えるなどして、初学者にも理解ができるような説明を心がけます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
211	春	法律	家族と福祉	鈴木伸智	木	3	3

【副題】 子どもと高齢者をめぐる法律問題

【講義内容】

本講義では、まず、子どもと家族との関わり合いという視点から、民法の親子法を中心に、生殖補助医療、子どもの権利条約、児童虐待などについて解説する。次いで、高齢者とその家族にかかわるさまざまな法的問題を取り上げ、民法および特別法の視点から検討する。講義のスケジュールについては、子どもの問題と高齢者の問題との比率が、7対3程度になると思われる。なお、受講に際しては、「現代社会と家族」を聴講済みであることが望ましい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
212	秋	法律	現代社会と家族	鈴木伸智	木	3	5

【副題】 家族をめぐる法律問題

【講義内容】

人の社会生活の基盤となるのは家族であるといわれる。この家族をめぐる紛争が生じた場合、解決の基準の一つとなるのが民法第4編「親族」・第5編「相続」である。「現代社会と家族」では、この両編について解説する。なお、「親族」・「相続」をより深く学びたい場合は、本講義ではなく、法律学科の民法Ⅶ（親族）および民法Ⅷ（相続）を受講することをお勧めする。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
213	秋	法律	特殊講義 X V 家族法	鈴木伸智	金	2	3
【副題】 家族法を掘り下げる							
【講義内容】 本講義を開講した目的は、「民法Ⅶ(親族)」および「民法Ⅷ(相続)」ではカバーしきれなかった内容をより詳細に伝えることにある。したがって、受講に際しては、上記2科目を聴講済みであることが望ましい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
214	春	法律	民法入門	鈴木伸智	水	3	3
【副題】 民法の基礎知識							
【講義内容】 われわれは、生涯を通じて民法にかかわっている。物の売り買いや貸し借り、交通事故の際の治療費などの請求、不動産をめぐるトラブル、結婚や離婚、相続、これらはみな、基本的には、民法にかかわる問題である。本講義では、まず、いわゆる「民事法」についての基本的な知識を習得したうえで、民法の基本原理を中心に民法(財産法)の仕組みや考え方を学ぶ。次いで、民法総則編の法人までを解説する(条文は、順不同で登場する)。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
215	春	法律	民法Ⅷ(相続)	鈴木伸智	金	2	5
【副題】 相続をめぐる法律問題							
【講義内容】 民法第5編に規定される相続法は、死亡した人の財産を「いつ、どこで、誰が、どのように承継するか」を定めるルールである。わが国では、この「誰が」という点に着目し、親族法と相続法とを合わせて、家族法と呼ぶことがある。一方で、相続法は、財産の「承継」という意味では、財産法の一部とみられることもできる。このことから分かるように、相続法を理解するためには、親族法だけでなく、財産法の知識も必要である。受講に際しては、少なくとも「民法Ⅶ(親族)」を聴講済みであることが望ましい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
216	春	法律	倒産処理法	高木敬一	水	3	5
【副題】 破産手続の概要を学ぶ							
【講義内容】 債務者が経済的に破綻した場合、多数存在する利害関係人との間を包括的に処理する制度が必要となる。これが倒産処理手続と呼ばれる一連の手続である。この講義は倒産処理手続全般を対象とするが、時間の制約もあるので、そのなかでも中核的な存在である破産手続に焦点をあてて解説する。まず、倒産処理手続の全体像を概観した後、破産手続の開始、破産手続の機構、破産債権者など、破産手続の基本的な仕組みや枠組みを講義する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
217	秋	法律	紛争解決と法	高木敬一	月	2	5

【副題】 民事紛争はどのような手続きによって解決されているか？

【講義内容】

社会生活を送っていると、しばしば紛争に巻き込まれるが、これを適切に解決しないと、平穏な生活を送れない。国家や社会は紛争を解決するために多くの制度を置いている。その代表が民事訴訟であるが、それ以外にもADRと総称される多くの裁判外紛争解決手続が存在している。この講義では、民事訴訟との対比から、ADRがどのような特徴を持っているかを知り、我が国における紛争解決手続の全体像を理解することを目指す。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
218	春	法律	民事訴訟法A	高木敬一	金	3	5

【副題】 民事訴訟の審理を学ぶ

【講義内容】

訴訟というとまず思い浮かべるのは、両当事者が裁判官の面前で互いに主張を闘わせ、証拠を挙げあうという審理の場面であろう。このイメージが正確か否かは別として、少なくとも民事訴訟手続のなかで、審理が中核的な位置にあることは確かである。この講義では、民事訴訟の審理の進め方、その基本的な考え方を学ぶ。具体的には、主要事実と間接事実、証拠調べ、証明責任、裁判上の自白、弁論主義などを取り上げて解説する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
219	秋	法律	民事訴訟法B	高木敬一	金	3	5

【副題】 第一審及び上訴審の手続き、判決効を学ぶ

【講義内容】

この講義では、まず第一審の審理を主に手続的な面から概観し、口頭弁論の方式やそれをめぐる原則、弁論の準備などに言及する。その後、民事訴訟における当事者の問題を、民事訴訟法入門で言及できなかった項目を中心に講義する。次いで、上訴手続について、民事訴訟法入門での学修を踏まえてより深く解説する。次に、確定判決の効力のうち既判力について概観し、最後に時間が許せば当事者について言及する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
220	秋	法律	民事訴訟法入門	高木敬一	水	3	5

【副題】 民事訴訟法の基礎と判決手続の概要を学ぶ

【講義内容】

この講義では、民事訴訟を理解するための第一歩として、民事訴訟の基本的な考え方、手続の流れなどを学び、それを通じて民事訴訟法の基礎を知り、判決手続の概要を理解することを目指す。そこで、まず民事訴訟の基礎概念を学んだ後、民事訴訟を類型毎に概観する。その後、判決手続の流れを、訴えの提起から第一審手続、更には上訴手続まで通観する。最後に時間が許せば、民法を踏まえつつ、当事者の訴訟上の能力について言及する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
221	春	法律	国際機構と法	尋木真也	月	4	5
【副題】 国際機構の組織と法的役割							
【講義内容】 国際社会には、国連をはじめとする約400の国際機構が存在するといわれる。これらの国際機構は、設立文書と呼ばれる条約(たとえば国連は「国連憲章」)に基づき設立され、また設立文書に基づき国際社会の平和や発展のために多様な活動を行っている。本講義は、国際機構の法的側面について学ぶことを主眼とする。なお、さまざまな国際機構に通底するルールを学ぶために、主として国連および国際連盟を素材として取り上げる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
222	秋	法律	国際紛争と法	尋木真也	月	4	5
【副題】 国際法による平和の追求							
【講義内容】 私たち人類は、20世紀には二度の世界大戦を経験し、21世紀には多くのテロに直面している。こうした現実を受け、国際社会は戦争を禁止し、紛争の平和的解決を義務づけた。しかし、それでもなお生じてしまう戦争やテロに対応するため、国連は集団的安全保障制度を実現し、また国際人道法による戦争の災禍の緩和も図られてきている。本講義は、こうした平和の実現のための国際的取組みについて学ぶことを主眼とする。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
223	春	法律	国際法 I (総論)A	尋木真也	木	2	10
【副題】 国際社会における法の役割							
【講義内容】 国際社会においては、領土問題(竹島・尖閣諸島問題等)、環境問題(京都議定書・パリ協定等)、経済問題(TPP等)、安全保障問題(シリア空爆等)など、常にさまざまな問題が生じている。こうした諸問題の規律を行うのが、国際法である。国際法 I (総論)Aでは、主に国際法の基礎となる法源(条約・慣習法)や国際法主体、管轄権などの学習を通じて、こうした国際問題に通底する法の基礎理論や共通規則について勉強する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
224	秋	法律	国際法 I (総論)B	尋木真也	木	2	10
【副題】 国際社会における法の役割							
【講義内容】 国際社会においては、領土問題(竹島・尖閣諸島問題等)、環境問題(京都議定書・パリ協定等)、経済問題(TPP等)、安全保障問題(シリア空爆等)など、常にさまざまな問題が生じている。こうした諸問題の規律を行うのが、国際法である。国際法 I (総論)Bでは、人権、環境、安全保障等の個別の論点につき、国際法がいかなる規律を及ぼしているかについて勉強する。本講義は、基本的に国際法 I (総論)Aを受講していることを前提に進める。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
225	春	法律	国際法 I (総論)A	尋木真也	木	3	10
【副題】 国際社会における法の役割							
【講義内容】 国際社会においては、領土問題(竹島・尖閣諸島問題等)、環境問題(京都議定書・パリ協定等)、経済問題(TPP等)、安全保障問題(シリア空爆等)など、常にさまざまな問題が生じている。こうした諸問題の規律を行うのが、国際法である。国際法 I (総論)Aでは、主に国際法の基礎となる法源(条約・慣習法)や国際法主体、管轄権などの学習を通じて、こうした国際問題に通底する法の基礎理論や共通規則について勉強する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
226	秋	法律	国際法 I (総論)B	尋木真也	木	3	10
【副題】 国際社会における法の役割							
【講義内容】 国際社会においては、領土問題(竹島・尖閣諸島問題等)、環境問題(京都議定書・パリ協定等)、経済問題(TPP等)、安全保障問題(シリア空爆等)など、常にさまざまな問題が生じている。こうした諸問題の規律を行うのが、国際法である。国際法 I (総論)Bでは、人権、環境、安全保障等の個別の論点につき、国際法がいかなる規律を及ぼしているかについて勉強する。本講義は、基本的に国際法 I (総論)Aを受講していることを前提に進める。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
227	秋	法律	金融担保と法	田中淳子	月	4	5
【副題】 債権保全のための担保制度							
【講義内容】 本講義で扱う担保法は、民法295条から398条の22に規定されている典型担保はもちろん、非典型担保(変則担保)、さらには、債権譲渡や相殺予約、代理受領や振込指定のように条文の規定はあるが、本来予定されていない担保的機能を果しているものを対象とする。本講義では判例を素材とした設問を利用しながら理解の定着を図る。講義には事前予習が必要(レジュメはWebCampusに掲示)。六法必携、教科書『民法講義 III 担保物権〔第2補訂版〕』(成文堂、2007)使用。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
228	春	法律	民法 II (物の利用と法)	田中淳子	月	4	5
【副題】 財貨の帰属秩序を学ぶ							
【講義内容】 たとえば、土地を利用する場合、賃貸借契約に基づく利用と所有権あるいは地上権に基づく利用とでは物は利用できるがその内容は同じではない。そこで、本講義では、債権法と物権法との差異や所有権の法的性質を学びます。また10種類の物権の特色が理解できるよう判例を用いながら理解を深めます。講義には事前予習が必要(レジュメはWebCampusに掲示、各自印刷して講義に持参)です。六法必携、教科書『民法講義 II 物権法〔第3版〕』(成文堂、2006)使用。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
229	秋	法律	民法Ⅱ(物権)	田中淳子	月	2	5
【副題】 財貨の帰属秩序を学ぶ							
【講義内容】 本講義で扱う物権の範囲は、民法175条から294条である。債権法と物権法との差異や所有権の法的性質を学びます。本講義の目標は、①民法典に規定されている10種類の基礎的知識を修得すること、②各物権における理論的問題点について判例・学説の議論を通じて理解することとする。講義には予習が必要(レジュメ等はWebCampusに掲示。各自印刷の上講義に持参)です。六法必携。教科書『民法講義Ⅱ 物権法〔第3版〕』(成文堂、2006年)使用。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
230	秋	法律	憲法Ⅰ(統治)	仲哲生	金	2	5
【副題】 日本国憲法の統治のしくみ							
【講義内容】 日本国憲法における国会、内閣、裁判所など統治のしくみについて講義しますが、可能な限り、現実の統治の姿にふれながらお話したいと思います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
231	春	法律	憲法入門	仲哲生	火	4	5
【副題】 日本国憲法の基本原理							
【講義内容】 近代から現代までの憲法の発展とわが国の憲法史(明治憲法と日本国憲法の制定過程)および日本国憲法の基本原理を中心に、平和主義、人権保障、民主主義について講義します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
232	春	法律	憲法入門	仲哲生	金	2	5
【副題】 日本国憲法の基本原理							
【講義内容】 近代から現代までの憲法の発展とわが国の憲法史(明治憲法と日本国憲法の制定過程)および日本国憲法の基本原理を中心に、平和主義、人権保障、民主主義について講義します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
233	秋	法律	人権論	仲哲生	火	4	5
【副題】 日本国憲法の人権保障の意義							
【講義内容】 日本国憲法の人権保障のしくみと意義を、わが国の現実の姿を考慮しながら講義します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
234	秋	法律	刑事法入門	野村健太郎	木	2	5
【副題】 刑罰の意味、刑事法の基本原則							
【講義内容】 死刑、懲役刑、罰金刑などの刑罰は、科される側からしてみれば、「殺される」「刑務所に閉じこめられる」「お金を奪われる」といった「苦痛」を意味します。ただでさえ犯罪によって人が苦しんだのに、なぜ、わざわざ刑罰を科して、苦しむ人をさらに増やすのか、それをこの講義では考えてみたいと思います。また、不当な処罰を防ぐために確立されてきた基本原則についても、学んでいくことにします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
235	秋	法律	刑法(各論)	野村健太郎	木	4	5
【副題】 各種犯罪はどのような場合に成立するのか							
【講義内容】 刑法は、各条文で「殺人罪」「窃盗罪」などの犯罪を規定し、それぞれの犯罪にふさわしい刑の重さを定めています。刑罰を科するためには、「何らかの犯罪」ではなく、「どの犯罪が成立するのか」をはっきりさせなければなりません。この講義では、刑法(総論)で学んだことを前提に、それぞれの犯罪がどのような場合に成立し、どのような場合には成立しないのかを、考えていきます。※この講義は半期科目です。刑法各論についてより広く学びたい方は、刑法Ⅱ(各論)A・Bのほうを受講してください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
236	春	法律	刑法Ⅰ(総論)A	野村健太郎	金	2	5
【副題】 なぜ刑罰を科すのか、どのような場合に刑罰を科してよいのか(1)							
【講義内容】 死刑、懲役刑、罰金刑などの刑罰は、科される側からしてみれば、「殺される」「刑務所に閉じこめられる」「お金を奪われる」といった「苦痛」を意味します。ただでさえ犯罪によって人が苦しんだのに、なぜ、わざわざ刑罰を科して、苦しむ人をさらに増やすのでしょうか。この講義では、この疑問について考えたうえで、刑罰を科してよい場合と、科してはいけない場合とを、感情に流されず冷静に区別するための方法を、考えていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
237	秋	法律	刑法Ⅰ(総論)B	野村健太郎	金	2	5
【副題】なぜ刑罰を科すのか、どのような場合に刑罰を科してよいのか(2)							
【講義内容】 春学期に引き続き、刑罰を科してよい場合と、科してはいけない場合とを、感情に流されず冷静に区別するための方法を、考えていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
238	春	法律	刑法Ⅱ(各論)A	野村健太郎	火	2	5
【副題】各種犯罪はどのような場合に成立するのか(1)							
【講義内容】 刑法は、各条文で「殺人罪」「窃盗罪」などの犯罪を規定し、それぞれの犯罪にふさわしい刑の重さを定めています。刑罰を科すためには、「何らかの犯罪」ではなく、「どの犯罪が成立するのか」をはっきりさせなければなりません。この講義では、刑法総論で学んだことを前提に、それぞれの犯罪がどのような場合に成立し、どのような場合には成立しないのかを、考えていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
239	秋	法律	刑法Ⅱ(各論)B	野村健太郎	火	2	5
【副題】各種犯罪はどのような場合に成立するのか(2)							
【講義内容】 春学期に引き続き、それぞれの犯罪がどのような場合に成立し、どのような場合には成立しないのかを、考えていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
240	秋	法律	特殊講義Ⅹ国際人権法/国際人権と法	初川満	木	1	5
【副題】国内人権保障の国際的監視システムについて学ぶ							
【講義内容】 人権を人間の法的権利と定義し、法的枠組みによる人権の保障について考える。まず、人権とは歴史的にいかなるものかを学び、しかる後に国際社会が人権問題をいかに扱い、いかにして保障しようとしているかを学ぶ。なお、本講義では、特に戦後国際的関心事となった人権の保障について、国際社会はいかに国際基準に基づいた国内人権保障監視システムを発達させてきたかを見て行く。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
241	秋	法律	損害賠償と法	前田太朗	水	3	5
【副題】 損害賠償法の機能を理解し、全体構造を理解する							
【講義内容】 本講義では、民法典において定められている損害賠償の規定を見ていくことで、損害賠償法の機能およびその全体構造を理解することを目的とする。ときに、抽象的な議論が不法行為法においては錯綜するが、そうした学問的な機微に触れながら、実際の日常生活において有用なルールが形成されていることが理解できる講義を心がける。 [受講上の注意] ・六法は必携 ・授業は、指定される次回の予習範囲を教科書等で確認し、前日までにWebcampusにアップロードされるレジュメに目を通しておくこと ・アウトプットの練習としてレポート課題の提出を求める可能性がある。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
242	春	法律	民法法入門	前田太朗	水	3	5
【副題】 民法の基礎を学ぶ							
【講義内容】 この講義では、まず、民法を学ぶ上での基礎的な知識を習得したうえで、民法の基本原則を中心に民法(財産法)の仕組みや考え方を学ぶ。次いで、民法総則編の1条から32条の2まで(たとえば、権利濫用、未成年者の民法上の扱い、後見制度等)を解説する。 [受講上の注意] ・本講義は、指定席制とする。 ・15時10分までに着席しておくこと。遅刻は欠席扱いとする。また、担当教員に無断で退室をした場合も同様とする。 ・六法を必ず携帯すること。 ・授業中の私語は禁止する。 授業中の携帯電話・ゲーム機等の操作は禁止する。違反した者は平常点を0点とする。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
243	春	法律	民法 I (総則)	前田太朗	木	2	5
【副題】 民法の基本事項・共通事項を学ぶ							
【講義内容】 本講義の対象範囲は、民法総則と呼ばれる学問領域である。また、この講義は法学部における専門科目として開講されるものであるから、必然的に、その内容も専門科目としての質を維持した上で行われる。具体的に対象となるのは、法律行為および時効となる。とくに法律行為は、契約締結過程の問題と重なることから、消費者契約および契約総則の部分も関連する限り取扱い、受講者の理解が深まる講義を行いたいと考えている。 [受講上の注意] ・六法は必携 ・授業は、指定される次回の予習範囲を教科書等で確認し、前日までにWebcampusにアップロードされるレジュメに目を通しておくこと ・アウトプットの練習としてレポート課題の提出を求める可能性がある。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
244	春	法律	民法Ⅰ(総則)	前田太郎	木	4	5
【副題】 民法の基本事項・共通事項を学ぶ							
【講義内容】 本講義の対象範囲は、民法総則と呼ばれる学問領域である。また、この講義は法学部における専門科目として開講されるものであるから、必然的に、その内容も専門科目としての質を維持した上で行われる。具体的に対象となるのは、法律行為および時効となる。とくに法律行為は、契約締結過程の問題と重なることから、消費者契約および契約総則の部分も関連する限り取扱い、受講者の理解が深まる講義を行いたいと考えている。 [受講上の注意] ・六法は必携 ・授業は、指定される次回の予習範囲を教科書等で確認し、前日までにWebcampusにアップロードされるレジュメに目を通しておくこと ・アウトプットの練習としてレポート課題の提出を求める可能性がある。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
245	秋	法律	民法Ⅲ(財産取引と法)	前田太郎	木	3	3
【副題】 具体例を通じて契約法を理解する							
【講義内容】 本講義の対象は、契約法と呼ばれる学問領域である。改正が予定されている領域であるため、現行の解釈論とともに改正案を講義の対象とすることで、契約法の理解を深めていきたい。六法は必携である。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
246	春	法律	刑法(総論)	三上正隆	木	3	5
【副題】 個々の犯罪と刑罰に共通する一般的性質についての検討							
【講義内容】 個々の犯罪と刑罰に共通する一般的性質を学ぶことを通して、刑法総論の基礎的な知識を修得するとともに、社会に生起する諸問題につき、理論的観点及び複眼的視点から検討し、一定の解答を与える能力の獲得を目指します。「刑法(総論)」では、犯罪体系論、構成要件(因果関係及び不作為犯等)、違法(正当防衛及び緊急避難等)、責任(責任能力[原因において自由な行為を含む]及び故意・事実の錯誤等)、未遂犯及び共犯を取り上げる予定です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
247	春	法律	刑法Ⅰ(総論)A	三上正隆	月	4	5

【副題】 個々の犯罪と刑罰に共通する一般的性質についての検討

【講義内容】

個々の犯罪と刑罰に共通する一般的性質を学ぶことを通して、刑法総論の基礎的な知識を修得するとともに、社会に生起する諸問題につき、理論的観点及び複眼的視点から検討し、一定の解答を与える能力の獲得を目指します。「刑法Ⅰ(総論)A」では、刑事法入門(刑事手続の流れ等)、刑罰論(刑罰の種類・正当化根拠等)、刑法の基本原則(罪刑法定主義及び責任主義等)、犯罪体系論及び構成要件(因果関係等)を取り上げる予定です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
248	秋	法律	刑法Ⅰ(総論)B	三上正隆	月	4	5

【副題】 個々の犯罪と刑罰に共通する一般的性質についての検討

【講義内容】

個々の犯罪と刑罰に共通する一般的性質を学ぶことを通して、刑法総論の基礎的な知識を修得するとともに、社会に生起する諸問題につき、理論的観点及び複眼的視点から検討し、一定の解答を与える能力の獲得を目指します。「刑法Ⅰ(総論)B」では、違法(違法性の実質、正当防衛及び緊急避難等)、責任(責任能力〔原因において自由な行為を含む〕及び故意・事実の錯誤等)、未遂犯及び共犯を取り上げる予定です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
249	春	法律	刑法Ⅱ(各論)A	三上正隆	火	4	5

【副題】 個々の犯罪の特徴及び固有の成立要件についての検討

【講義内容】

刑法典各則に規定されている個々の犯罪の特徴及び固有の成立要件を学ぶことを通して、刑法各論の基礎的な知識を修得するとともに、社会に生起する諸問題につき理論的観点及び複眼的視点から検討し、一定の解答を与える能力の獲得を目指します。「刑法Ⅱ(各論)A」では、生命・身体に対する罪(殺人罪及び傷害罪等)、自由に対する罪(監禁罪等)、人格的法益に対する罪(名誉毀損罪等)及び財産に対する罪(窃盗罪等)等を取り上げる予定です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
250	秋	法律	刑法Ⅱ(各論)B	三上正隆	火	4	5

【副題】 個々の犯罪の特徴及び固有の成立要件についての検討

【講義内容】

刑法典各則に規定されている個々の犯罪の特徴及び固有の成立要件を学ぶことを通して、刑法各論の基礎的な知識を修得するとともに、社会に生起する諸問題につき理論的観点及び複眼的視点から検討し、一定の解答を与える能力の獲得を目指します。「刑法Ⅱ(各論)B」では、財産に対する罪(強盗罪、詐欺罪及び横領罪等)及び放火罪等を取り上げる予定です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
251	春	法律	特殊講義 V / I 租税法A(基礎)	水野恵子	火	3	5
【副題】 租税基本原則と所得課税							
【講義内容】 本講義は、普段の生活における課税のあり方を考えるための基礎理論として、租税基本原則(租税法律主義、租税公平主義)を解説する。この原則にもとづいて、とりわけ所得税の身近な問題などを素材に、所得課税のあり方を考える力を養うことを目的とする。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
252	春	法律	会社法 I (設立・株式等)A	南川和範	火	1	5
【副題】 会社法の基礎的知識・理解と文章表現力の養成							
【講義内容】 この授業においては、「会社法」を取り扱います。会社法は、大きく「総論」、「設立」、「株式」、「機関」、「資金調達」、「組織再編行為」に分野分けできますが、会社法 I Aでは「設立」までを取り扱う予定です。法学部生に対する教育効果を最優先にし、単なる「講義」ではなく、授業時間中にレポートを作成させる形をとります。したがって、いわゆる「講義」を望まれる方にはこの授業は不向きです。テキストは特に指定しません。適宜レジュメを配布します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
253	秋	法律	会社法 I (設立・株式等)B	南川和範	火	1	5
【副題】 会社法の基礎的知識・理解と文章表現力の養成							
【講義内容】 この授業においては、「会社法」を取り扱います。会社法は、大きく「総論」、「設立」、「株式」、「機関」、「資金調達」、「組織再編行為」に分野分けできますが、会社法 I Bでは「株式」を取り扱う予定です。法学部生に対する教育効果を最優先にし、単なる「講義」ではなく、授業時間中にレポートを作成させる形をとります。したがって、いわゆる「講義」を望まれる方にはこの授業は不向きです。テキストは特に指定しません。適宜レジュメを配布します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
254	春	法律	会社法 II (機関・組織再編等)A	南川和範	木	2	5
【副題】 会社法の基礎的知識、理解と文章表現力の養成							
【講義内容】 本講義においては、「会社法」を取り扱います。「会社法 II A」においては、会社の運営の担い手(会社の機関)に関する法規制を取り上げます。法学部生に対する教育効果を最優先にし、単なる講義ではなく、授業時間中にレポートを作成させる形をとります。したがって、いわゆる「講義」を望まれる方にはこの授業は不向きです。テキストは特に指定しません。適宜レジュメを配布します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
255	秋	法律	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)B	南川和範	木	2	5

【副題】 会社法の基礎的知識、理解と文章表現力の養成

【講義内容】

本講義においては、「会社法」を取り扱います。「会社法ⅡB」においては、「会社法ⅡA」に引き続いて機関に関する法規制を取り上げるとともに、会社はどのように資金を調達するか(資金調達)、会社の成果はどのように明らかにされるか(会社の計算)および合併などの組織再編(会社の組織再編行為等)等を取り上げます。法学部生に対する教育効果を最優先にし、単なる講義ではなく、授業時間中にレポートを作成させる形をとり、したがって、いわゆる「講義」を望まれる方にはこの授業は不向きです。テキストは特に指定しません。適宜レジュメを配布します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
256	春	法律	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)A	村上康司	水	3	5

【副題】 会社法の基礎知識・理解

【講義内容】

本講義は、会社法典を大きく二分し、その後半部分を取り扱う。会社法典は、①総論、②設立、③株式、④機関、⑤資金調達、⑥計算、⑦組織再編行為に分類することができる。会社法Ⅱで取り扱われるのは、④⑤⑥⑦である。このうち、Aでは、④が取り扱われる。法律学科の講義であるから、会社法典を体系的に講述していくが、複雑な会社法典をなるべくかみくだいて解説していきたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
257	秋	法律	会社法Ⅱ(機関・組織再編等)B	村上康司	水	3	5

【副題】 会社法の基礎知識・理解

【講義内容】

本講義は、会社法典を大きく二分し、その後半部分を取り扱う。会社法典は、①総論、②設立、③株式、④機関、⑤資金調達、⑥計算、⑦組織再編行為に分類することができる。会社法Ⅱで取り扱われるのは、④⑤⑥⑦である。このうち、Bでは、⑤⑥⑦が取り扱われる。法律学科の講義であるから、会社法典を体系的に講述していくが、複雑な会社法典をなるべくかみくだいて解説していきたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
258	春	法律	企業取引形態と法	村上康司	水	2	5

【副題】 企業取引に関する基礎知識・理解

【講義内容】

本講義は、企業の行う取引について、その取引形態ごとの特色を意識して学習することを目的とする。企業取引は、今日の経済社会を支える重要な役割を負っており、商人間だけにとどまらず、広く一般市民もその恩恵にあずかっている。講義は、具体的な取引事例(証券会社や宅地建物取引業者など)をベースに、それぞれの法律関係を整理していきたい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
259	秋	法律	特殊講義Ⅸ/Ⅲ金融商品取引法	村上康司	水	2	5
【副題】 金融商品取引に関する基礎知識・理解							
【講義内容】 本講義は、金融商品取引を規制する金融商品取引法の基礎的な知識の習得を目標とする。さまざまな金融商品のうち、特に有価証券に関して、企業・投資家・証券会社といったそれぞれの立場からのかかわりを通じて、市場の基本的な仕組みを理解できるように講義を展開していきたい。また、近時問題となっている事例等も積極的に紹介していきたい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
260	春	法律	現代社会と保険	山野嘉朗	水	3	5
【副題】 損害保険・生命保険・傷害(疾病)保険の仕組みと法制度							
【講義内容】 ①保険および保険契約の仕組み・特色，②損害保険契約・生命保険契約・傷害疾病保険契約，③保険業法につき，配布資料を使用して学習します。教科書は『現代保険・海商法30講』(中央経済社，第9版，平成25年)を使用します。法律の授業ですから，講義には六法(最新版であれば，小型のものでよい)を必ず持参してください。保険法についてのより詳しい知識を身につけたい方は，本講義よりも法律学科で開講されている保険法(A)(B)の受講をお勧めします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
261	秋	法律	交通災害と補償	山野嘉朗	水	3	5
【副題】 交通事故の民事責任と自動車保険(自賠責保険・任意保険)							
【講義内容】 交通事故の被害者は，①誰に対し，どのような法的根拠に基づいて損害賠償を請求することができるか(責任論)，また，その損害はどのように算定されるのか(損害論)②自動車保険の仕組み，③紛争解決方法について配布資料を使用して学習します。教科書は藤村和夫＝山野嘉朗『概説・交通事故賠償法』(日本評論社，第3版，2014年)を使用します。法律の授業ですから，講義には六法(最新版であれば，小型のものでよい)を持参してください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
262	春	法律	商取引法A	山野嘉朗	木	1	5
【副題】 消費者取引の仕組みと法制度							
【講義内容】 この講義では、商取引の中でも、訪問販売や通信販売に代表される消費者取引の仕組みと法制度(消費者契約法・特定商取引法・金融商品販売法等)について、配布資料を使用して解説します。教科書は特に使用しませんが、法律の授業ですから、講義には六法(最新版であれば、小型のものでよい)を必ず持参してください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
263	秋	法律	商取引法B	山野嘉朗	木	4	5
【副題】 企業取引と決済							
【講義内容】 この講義では、企業同士の取引に関するルールを学習します。取引形態のうち売買については、商取引法Aで取り上げているので、ここでは、取次(問屋)・媒介(仲立人)・代理(代理商)を法的角度から分析します。次いで、物流に関する運送業、倉庫営業について学習し、さらに電気通信業と信託業も取り上げます。最後に、企業取引の決済手段としての手形・小切手の基本的な法律関係を学びます。なお、手形に代わる決済方法として、近時その利用が拡大している電子債権やビットコイン等の仮想通貨・電子マネー・クレジットカードにも言及する予定です。毎回、詳細な資料を配付するので、教科書はとくに使用しません。参考書については、授業の中で紹介します。法律の授業ですから、六法(最新版であれば、小型のものでよい)は必ず持参してください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
264	春	法律	保険法A	山野嘉朗	木	3	5
【副題】 保険契約総論・損害保険契約							
【講義内容】 保険および保険契約の仕組み・特色ならびに損害保険契約(火災保険契約、自動車保険契約等)につき、配布資料を使用して学習します。教科書は『現代保険・海商法30講』(中央経済社、第9版、平成25年)を使用します。法律の授業ですから、講義には六法(最新版であれば、小型のものでよい)を必ず持参してください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
265	秋	法律	保険法B	山野嘉朗	木	3	5
【副題】 生命保険契約・傷害疾病保険契約・保険業法							
【講義内容】 生命保険契約・傷害疾病保険契約および保険業法につき、配布資料を使用して学習します。教科書は『現代保険・海商法30講』(中央経済社、第9版、平成25年)を使用します。法律の授業ですから、講義には六法(最新版であれば、小型のものでよい)を持参してください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
266	春	その他	男女共生社会論	岩田和男	木	4	5
【副題】 今までの男女のあり方から現代の家族・社会を考える							
【講義内容】 前半は、男女共生が現代社会の目標となるのに大きな役割を果たしたフェミニズムが、ジェンダー論へと名称を変え、幅広く人権問題を議論する学問の範疇へと進化した経緯を、分かり易く解説します。後半は、男女に関わる現況を確認したうえで、なぜ外国のように日本は一気に「男女共生社会」とならないのか、その要因を歴史的・共時的に考察、これから男女共生に向けて変化していくための筋道を、韓国の取り組みなどを参考に考えていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
267	春	その他	産業と科学 I	遠藤哲也	水	1	6
【副題】 ボールペンの科学							
【講義内容】 本講義は、4名の教員(哲学・生物学・言語学・心理学)が自分の得意な切り口から「ボールペン」について語っていく講義です。次の4テーマに分けて進めていきます。①そもそもボールペンとは何か？②良いボールペンとは何か？③ボールペンをたくさん売るには？④付加価値から考えるボールペン。また最後の2回を使って、受講者自ら一つのテーマを選び、得意な分野、好きな方向から学術的・多角的に分析したレポートを作成します。 ※秋の内容と同一です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
268	秋	その他	産業と科学 I	遠藤哲也	水	1	6
【副題】 ボールペンの科学							
【講義内容】 本講義は、4名の教員(哲学・生物学・言語学・心理学)が自分の得意な切り口から「ボールペン」について語っていく講義です。次の4テーマに分けて進めていきます。①そもそもボールペンとは何か？②良いボールペンとは何か？③ボールペンをたくさん売るには？④付加価値から考えるボールペン。また最後の2回を使って、受講者自ら一つのテーマを選び、得意な分野、好きな方向から学術的・多角的に分析したレポートを作成します。 ※春の内容と同一です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
269	秋	その他	現代教育論	榊原博美	火	3	3
【副題】 戦後日本の学校教育の問題点を探る							
【講義内容】 本講義では、現代社会の問題について、その背景にあると考えられる学校教育の問題を、歴史的な視点、グローバルな視点、教育現場の現状などさまざまな視点から捉え、自由な発想でその解決策を探る。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
270	春	その他	生涯学習社会論	榊原博美	火	3	5
【副題】 生涯学び続けることの意義を問う							
【講義内容】 本講義では、誰もが生涯にわたって自由に学習し、その成果が自己発見と自己実現に活かされ、社会に還元されることによって積極的に社会からも評価される持続可能な生涯学習社会の構築・実現に向けて、ユネスコの生涯学習理念に学びつつ日本における政策の問題点を探りながら、21世紀の鍵となるまさに生涯的な学習のあり方について実践的に学ぶ。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
271	春	その他	国際社会論	杉山知子	水	1	5
【副題】 欧米諸国と中東地域: 政治と宗教を中心として							
【講義内容】 この授業では、19世紀後半から現在にいたるまで、歴史的に欧米諸国が中東地域にどのようなかかわりを持ってきたのか、欧米諸国を中心とした国際政治環境のもと、中東地域の国々がどのような政治を行ってきたのか、それによって国際社会がどのように変化していったのかについて講義をします。現在国際社会が抱える難民問題やテロなどを考えるうえでの歴史的背景と国際社会のこれまでの対応を考えていきたいと思います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
272	秋	その他	国際関係史	杉山知子	水	1	5
【副題】 20世紀の戦争と平和について考える							
【講義内容】 この授業では、20世紀に起きた代表的な戦争である第一次世界大戦、第二次世界大戦をとりあげ、その歴史的経緯、戦後の国際関係の変化について講義をします。国際関係を中心としつつも、欧米諸国や日本の国内政治の変化とその変化が対外政策・国際関係にどのような影響を与えていったのかについても考えていきたいと思います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
273	春	その他	地域政策	村田尚生	火	3	10
【副題】 市民の立場からのまちづくり							
【講義内容】 近代都市はいかに効率化するか、生産性をあげるかを目標に様々なものを切り捨ててきた。その結果、地域コミュニティが崩壊し、防犯・防災や福祉、教育、環境など、様々な面で問題がおこっている。こうした問題を解決するためには、行政まかせになってきた地域政策を市民の立場から検証し、市民が主体的に考え、実践していくことが求められる。そのための基礎知識として、本講義は地域における政策のあり方について様々な側面から考える。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
274	秋	その他	コミュニティ論	村田尚生	火	3	10
【副題】 持続可能な地域コミュニティのあり方を考える							
【講義内容】 「無縁社会」という言葉が象徴するように、現代の日本社会は様々な関係性がとぎれ、孤独死や自殺、ひきこもりなど人々の暮らしは不安の中にある。こうした中、2011年3月におこった東日本大震災では避難と復興を通して人と人の「絆」が見直され、コミュニティの存在価値が改めて認められつつある。そこで、これからのコミュニティのあり方について考え、希薄化したコミュニティの関係を再生し持続可能とするための方策について検討する。							

6.講義概要(シラバス)

名城公園キャンパス

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
275	春	言語	ビジネス英語 I A	梶浦雅己	木	1	2

【副題】 TOEICの英語力を養います。中級程度から始められます。

【講義内容】

TOEICで規定されているビジネス英語力の内、リスニングとリーディングを向上させるための授業です。パソコンの自学学習が中心です。毎回情報処理教育センター管理教室でパソコンを使って授業を行います。学生の個人別英語力に応じて、自分に適した進度で学習をしていただきます。内容はTOEICに準じた問題を解いていただきます。初回に詳しく説明しますが、履修人数は制限しますので、初回のオリエンテーションを欠席しないようにしてください。授業回数14回のうちにリーディング10課題、リスニング10課題、演習テスト5課題、選択問題5課題を各自のペースに合わせて学習してもらいます。最低25課題が完了しないと単位修得を認めません。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
276	秋	言語	ビジネス英語 I B	梶浦雅己	木	1	2

【副題】 TOEICの英語力を養います。

【講義内容】

TOEICで規定されているビジネス英語力の内、リスニングとリーディングを向上させるための授業です。パソコンの自学学習が中心です。毎回情報処理教育センター管理教室でパソコンを使って授業を行います。学生の個人別英語力に応じて、自分に適した進度で学習をしていただきます。内容はTOEICに準じた問題を解いていただきます。初回に詳しく説明しますが、履修人数は制限しますので、初回のオリエンテーションを欠席しないようにしてください。授業回数14回のうちにリーディング10課題、リスニング10課題、演習テスト5課題、選択問題5課題を各自のペースに合わせて学習してもらいます。最低25課題が完了しないと単位修得を認めません。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
277	春	文化・歴史	社会思想史	田中秀夫	木	3	20

【副題】 啓蒙思想と現代思想を考える

【講義内容】

近代から現代にかけての社会思想史において重要な活躍をした思想家について考察します。取り上げる思想家は16世紀のマキアヴェッリ、17世紀のホブズ、ロック、18世紀のヒューム、モンテスキュー、ルソー、カント、19世紀のベンサム、トクヴィル、ミル、ヘーゲル、マルクス、20世紀のウェーバー、アレント、フーコー、ハーバーマスなどの予定です。ただし、ラインナップは一部、変更があるかもしれません。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
278	春	健康	人間と環境 I	来住準一	水	1	5
【副題】 食品の科学							
【講義内容】 (目標)食品の基礎知識を学び、有機野菜やハーブなどの天然物は必ずしも安全ではなく、すべての食品にリスクが存在することを理解する。(授業内容)①健康情報の正しい読み方(天然モノは安全か、メディアバイアス、みのもんた症候群、フードファディズムなど)②リスクとハザード(狂牛病、ダイオキシン、リスクのトレードオフ、風評被害など)③身近な食品(バターvs.マーガリン、和牛vs.国産牛、発酵vs.腐敗など)							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
279	秋	健康	人間と環境 II	来住準一	水	1	5
【副題】 食品の科学							
【講義内容】 (目標)食品の基礎知識を学び、有機野菜やハーブなどの天然物は必ずしも安全ではなく、すべての食品にリスクが存在することを理解する。(授業内容)①食の安全をどう考えるか②食品の表示(賞味期限vs.消費期限、無糖vs.砂糖不使用、減農薬vs.低農薬③身近な食品(水道水vs.ミネラルウォーター、せんべいvs.おかき、コピー食品、健康食品など)④食生活と疾患(むし歯、がん、メタボなど)							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
280	春	科学	化学 I	伊藤雅彦	火	3	6
【副題】 地球と生命の歴史							
【講義内容】 生命観の歴史・宇宙と地球生成の歴史・太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。最初に、生命観の歴史として、古代からの生命観の変遷を紹介する。次に、生命の誕生の場である宇宙・物質・地球の生成に関する話題を紹介する。さらに、現在の地球に残っている太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
281	秋	科学	化学 II	伊藤雅彦	火	3	6
【副題】 化学進化の実験的研究と宇宙科学・宇宙生物学							
【講義内容】 まず、化学進化の実験的研究(原始地球上で化学物質が生命に進化する過程を実験で再現する研究)について紹介する。次に、地球以外の場所での生命の可能性に関する話題として、宇宙科学・宇宙生物学をとりあげる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
282	春	科学	化学Ⅰ	伊藤雅彦	火	4	6
【副題】 地球と生命の歴史							
【講義内容】 生命観の歴史・宇宙と地球生成の歴史・太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。最初に、生命観の歴史として、古代からの生命観の変遷を紹介する。次に、生命の誕生の場である宇宙・物質・地球の生成に関する話題を紹介する。さらに、現在の地球に残っている太古の生命の痕跡に関する話題を紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
283	秋	科学	化学Ⅱ	伊藤雅彦	火	4	6
【副題】 化学進化の実験的研究と宇宙科学・宇宙生物学							
【講義内容】 まず、化学進化の実験的研究(原始地球上で化学物質が生命に進化する過程を実験で再現する研究)について紹介する。次に、地球以外の場所での生命の可能性に関する話題として、宇宙科学・宇宙生物学をとりあげる。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
284	春	科学	化学Ⅰ	吉村正宏	火	1	6
【副題】 身の回りの化学:生活編							
【講義内容】 化学の基礎を学びながら、日常の生活に関わる身の回りの物質を化学的立場から捉え、化学が果たしている役割を考えます。世の中の様々な情報に対して科学的な見方が出来るようになることを目標とします。身近な話題として、「ダイヤモンド、水、衣服や洗濯、料理や食品、薬、プラスチック、材料、電池、犯罪捜査、香り、生命など」をテーマに、一話完結型で授業を進めます。春学期のみの受講も可能です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
285	秋	科学	化学Ⅱ	吉村正宏	火	1	6
【副題】 身の回りの化学:健康・環境編							
【講義内容】 生命の仕組みを学びながら、化学物質がもつ二面性(メリットとデメリット)を考えます。日常の生活での人と化学物質の関わりについて、自分で理解し判断できる力を養うことを目標とします。身近な話題として、「生命をつくる分子、細胞内の情報伝達、遺伝情報の仕組み、ヒトゲノム計画、ケミカルバイオロジー、抗がん剤、感染症、免疫、血液型、創薬科学、生命と環境など」をテーマに進めます。秋学期のみの受講も可能です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
286	春	経済	アジア経済論	李泰王	水	2	10
【副題】 最強ものづくりの日韓経済							
【講義内容】 この科目では、製造業の競争力で世界をリードしている日本と韓国のもので、それぞれが持つ強みと課題を明らかにする。そこで、「詰め合わせ型」ものづくりという概念を使って自動車(家電)ものづくりとインフラ重工業ものづくりを区別することによって、製造業の可能性を模索する。(テキスト:李泰王『「ものづくり」自動車産業論』中央経済社)							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
287	春	経済学	開発経済学A	李泰王	水	1	10
【副題】 新興国の経済発展の諸問題							
【講義内容】 今日の世界では、先進国の発展と新興国の混乱が同時進行している。特に、アジア・アフリカなどの低開発新興国は、貧困、所得不均衡、教育衛生問題、環境汚染、内戦、など、様々な課題を抱えている。こうした問題が先進国のグローバル化と深く結びついていることを理論と事例に基づいて検証したい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
288	秋	経済学	開発経済学B	李泰王	火	1	10
【副題】 韓国経済の構造と課題							
【講義内容】 戦後、目覚ましい成長を達成した韓国の経済と企業の仕組みについて考察する。政府主導型の経済モデルは、国民所得の飛躍的な上昇を実現したが、財閥の肥大化など負の遺産を残し、こうした経済構造の歪みとその是正が大きな課題となっている。この科目では、産業と企業システムの日・米・韓比較を通じて、韓国経済の今後を展望したい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
289	春	経済	経済学特講Ⅳ	池上彰	水	4	10
【副題】 (仮題)日本と世界の経済を現代史の中で考える							
【講義内容】 未定							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
290	春	経済	会計学A	伊藤徳正	水	2	5
【副題】 会計の基礎 I							
【講義内容】 会計とは、企業などの経済主体の経済活動について、それらと関わりを持つ人々が、事情を分かった上で判断や意思決定ができるように、会計情報を作成して、彼らに説明する社会的な行為である。この講義では、会計とは何かから始め、会計の基本的な知識と考え方の習得を目指す。単に覚えるだけでなく、考え、理解することが重要である。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
291	秋	経済	会計学B	伊藤徳正	水	2	5
【副題】 会計の基礎 II							
【講義内容】 会計とは、企業などの経済主体の経済活動について、それらと関わりを持つ人々が、事情を分かった上で判断や意思決定ができるように、会計情報を作成して、彼らに説明する社会的な行為である。この講義は会計学Aから連続したものであり、会計の基本的な知識と考え方の習得を目指す。単に覚えるだけでなく、考え、理解することが重要である。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
292	春	経済	金融論A	内田滋	水	2	5
【副題】 初めて学ぶ金融論 I							
【講義内容】 本講義では、初めて金融に触れる方を対象に金融論の初歩を概説します。初めて学ぶ方にも無理なく理解できるような講義内容、レベルとなりますが、入門クラスのマイクロ経済学・マクロ経済学の知識があれば一層望ましいです。調整がつけば、保険・証券関係(分野未定)のゲスト講師による講座を開く機会を設けるかもしれません。なお、春学期は、制度的な内容が主となります。本学の平均レベルの学生の理解度に合わせた内容、スピードで講義を展開しますので、その点を考慮して履修をご検討ください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
293	秋	経済	金融論B	内田滋	水	2	5
【副題】 初めて学ぶ金融論 II							
【講義内容】 本講義では、初級レベルの金融論について講述します。初歩的なファイナンス理論も部分的に取り上げる予定です。また、入門クラスのマイクロ経済学・マクロ経済学の知識があれば一層望ましいです。調整がつけば、保険・証券関係(分野未定)のゲスト講師による講座を開くかもしれません。なお、秋学期は、理論および政策的な内容が主となります。本学の平均レベルの学生の理解度に合わせた内容、スピードで講義を展開しますので、その点を考慮して履修をご検討ください。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
294	春	経済	商学特論Ⅲ(野村証券提供講座)	内田滋	水	3	7

【副題】 資本市場の役割と証券投資

【講義内容】

ねらい:本講座では、実務経験が豊富な野村証券のスタッフの方々をお招きし、資本市場の基礎概念と投資の考え方について講義していただきます。それを通して、資産運用に関する基礎知識を身に付けるとともに、自己責任時代に必要な投資の心構えを学んでいただきたいと思います。 講座の進め方:①ゲスト講師による講義 → ②質疑応答 → ③ミニ・レポートの作成 成績評価:毎回、提出していただくミニ・レポートの内容によって評価します。 履修要件:本学の学生にとって良好な受講環境を維持するため、開放講座の受講生の方にも、毎回のミニ・レポートの作成と提出をしていただきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
295	春	経済学	ミクロ経済学Ⅲ	岡谷良二	金	4	20

【副題】 ミクロ経済学の基礎

【講義内容】

この授業では、経済学を学習する際に必要となる基本的知識としてのミクロ経済学の基礎的内容について講義します。教科書として『ミクロ経済学の力』を用います。論理的な思考を着実に実行する力と、平均的な高校普通科卒業程度の数学の力が必要とされる内容になりますので、受講を計画する際に、教科書の内容を見て受講者自身のこの分野に対する向き不向きを確認する必要があると思います。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
296	春	経済学	公共経済学A	岡谷良二	金	5	20

【副題】 ミクロ経済学の応用

【講義内容】

公共経済学Aは、ミクロ経済学の基本的な知識を前提として、公共財に関するミクロ経済理論について講義をします。私たちの社会には公共財と呼ばれる財が多く存在します。公共財はどのようなものなのか、それがあるとなぜ問題が生じるのかということミクロ経済学を用いて説明できるようになることがこの授業の目標です。内容の習得にはミクロ経済学の基本的な知識と、平均的な高校普通科卒業程度の数学の知識が必要となりますので十分に注意してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
297	秋	経済学	公共経済学B	岡谷良二	金	5	20

【副題】 ミクロ経済学の応用

【講義内容】

公共経済学Bは、ミクロ経済学の基本的な知識を前提として、外部性に関するミクロ経済理論について講義をします。私たちの社会には環境問題などの外部性に起因する問題が多く存在します。外部性はどのようなものなのか、それがあるとなぜ問題が生じるのかということミクロ経済学を用いて説明できるようになることがこの授業の目標です。内容の習得には、ミクロ経済学の基本的な知識と、平均的な高校普通科卒業程度の数学の知識が必要となりますので十分に注意してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
298	春	経済	国際ビジネス論A	梶浦雅己	水	1	3
【副題】 国際ビジネスとはなにか							
【講義内容】 とくに外資系企業や貿易関係、海外勤務を志望する諸君よ来たれ。いわゆるグローバル社会が到来し、今やあらゆる商品やサービスは国境を越えて流通しています。こうした環境において、国際ビジネスを展開する多国籍企業がいかなるビジネスとマーケティングをおこなっているのかを明らかにするのが国際マーケティング論です。講義内容はマーケティング論を履修した前提で進めますので、マーケティング論を履修していない学生には難しいと思います。Aは国際ビジネスの基礎を中心に、グローバル世界とは何かを学びます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
299	秋	経済	国際ビジネス論B	梶浦雅己	水	1	3
【副題】 国際ビジネスとはなにか							
【講義内容】 とくに外資系企業や貿易関係、海外勤務を志望する諸君よ来たれ。いわゆるグローバル社会が到来し、今やあらゆる商品やサービスは国境を越えて流通しています。こうした環境において、国際ビジネスを展開する多国籍企業がいかなるビジネスとマーケティングをおこなっているのかを明らかにするのが国際マーケティング論です。Bは国際マーケティング戦略の基本を学びます。マーケティング論を履修した前提で進めますので、履修していない学生には難しいと思います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
300	秋	経済	産業組織論	河合伸	水	4	6
【副題】 不完全競争市場における企業行動と規制の分析							
【講義内容】 娯楽産業、外食産業、通信産業などにおける価格設定を、独占や寡占などの不完全競争市場における企業の利潤追求行動として分析します。また電気・ガス・水道などの巨額の設立費用を要する費用逓減産業における問題点や規制の在り方について考察します。そして、ゲーム論を用いた企業間のカルテルの分析や合併について学びます。受講するにあたってマイクロ経済学の完全競争市場における余剰分析の基礎知識があることが望ましいです。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
301	秋	経済	経済学特講V	神田真秋	木	2	10
【副題】 最近の諸問題から、政治・経済・地域社会の動きを捉える							
【講義内容】 知事・市長の経験から、現実には生起する課題や問題を取り上げ、それらの検討を通じて、必要な知識と多面的なものの見方、またその背景にある真実を見抜く力を養う。政治に関心がある方を大いに歓迎する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
302	秋	経済	エリア・リサーチ I	葛西正裕	金	1	3

【副題】 産学連携による講義を通じて、中部経済の概要や地域経済の分析手法を学ぶ

【講義内容】

本講義は、地域経済の振興を担うシンクタンク(政策研究機関)と連携し、地域経済を分析するために必要な知識や事例等を学習します。元シンクタンク研究員の本学専任教員が全体の取りまとめを行うのと同時に、中部経済に関連する施設を見学するフィールドワークも予定しています。なお、パソコンを用いる授業もありますのでExcelやPowerPoint等の基本的な操作ができる必要があります。また、グループでのリサーチも予定しております。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
303	春	経済	都市経済学A	神頭広好	水	3	5

【副題】 都市の立地構造

【講義内容】

まず、都市が発展するメカニズムについて、都市化の経済および地域特化の経済から成る集積の経済について説明する。ついで、最適都市モデル、地代及び公共財の生産に関わる都市モデルを紹介する。さらに、空間的経済理論にもとづいている農業立地モデル、工業立地モデル、商業立地モデル、住宅立地モデル等について講義する。最後に、これらの立地モデルを整理することで、大都市圏の立地構造を明らかにする。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
304	秋	経済	都市経済学B	神頭広好	水	3	5

【副題】 都市の立地とまちづくり

【講義内容】

都市における代表的公共財を観光資源として、観光都市の性格について説明する。その際、観光都市における観光資源の格差に関する分析方法、最適な観光都市の性格について論じる。また、観光ホテルの立地から観光都市の性格を探る。ついで、都市・地域産業とまちづくりの在り方について触れる。その際、観光資源としての道の駅、アウトレットモール、ショッピングセンターおよびコンビニの商圈についてGISを用いて分析する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
305	春	経済	一般経済史A	後藤俊明	月	4	10

【副題】 資本主義の歴史的発展とその構造

【講義内容】

経済史の基礎知識を学び、現代の経済社会の状況を歴史的視角から把握できる力(歴史的思考力)を身につけることを目的とします。この講義では、まず経済史学の基本的枠組について解説したのち、ヨーロッパの近代を特徴づける資本主義経済の基本的構造を理論的に説明します。ついで、資本主義の発展段階について解説します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
306	春	経済	西洋経済史A	後藤俊明	水	3	10
【副題】 ヨーロッパにおける資本主義の展開							
【講義内容】 この講義の目的は、ヨーロッパ近現代の歴史を資本主義経済の展開を中心に概説するなかで、歴史的思考力を磨くことにあります。まず、近代資本主義を歴史的に理解するための方法として、段階論的認識と類型論的認識について解説します。ついで、段階論的認識にもとづいて、ヨーロッパの資本主義の胎動、誕生、発展、確立、変容について講述します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
307	秋	経済	西洋経済史B	後藤俊明	水	3	10
【副題】 近現代ドイツの経済と社会							
【講義内容】 この講義では、類型論的認識の方法的視点からヨーロッパ近現代の経済社会の歴史過程を概説します。その場合、現代史の問題関心から後発型近代化によって色濃く刻印されたドイツに着目します。18世紀以降のプロイセン・ドイツの後発型近代化の歴史的展開過程を概観し、とりわけ後発型近代化に孕まれた問題性とその現代史的帰結をめぐる諸問題について講述します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
308	春	経済	現代産業論A	近藤智	火	5	10
【副題】 産業・経済の成り立ちと産業間のつながり							
【講義内容】 アダム・スミスが有名な『国富論』の冒頭で指摘したように、1国の経済は、人々の分業によって生産性を大いに高め発展してきました。一方、分業それ自体もまた、経済発展につれてますます細分化し多様化してきました。こうして複雑化し高度化した経済における、分業としての各経済活動を、体系的に分類し整理したのが産業です。現代産業論Aでは、人々の分業を契機とした産業・経済の成り立ちと、分業を通じた産業間のつながりを切り口として、経済の構造について理解する議論を展開します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
309	秋	経済	現代産業論B	近藤智	火	5	10
【副題】 産業構造変化と日本経済							
【講義内容】 1国の産業構造は、各産業における生産技術の革新と、各産業が生産する財・サービスに対する需要の変化という、需給両面の変化によって影響を受け変化します。そして産業構造の変化は、人々の雇用、所得、働き方などの雇用労働問題から、地域経済の盛衰といった地域経済問題、また1国全体の経済成長にまで、広範かつ深い影響を及ぼします。現代産業論Bでは、日本における産業構造と経済の変化の関係をテーマの軸として、議論を展開します。(ただし、地域経済問題は別途地域経済論で扱います)							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
310	春	経済	地域経済論	近藤智	金	2	10

【副題】 戦後日本における地域経済の盛衰と今後の課題

【講義内容】

戦後日本における地域経済の盛衰は、日本全体における産業構造の変化、都市間交通インフラの整備と発展、全国総合開発計画(全総)に代表される国土計画の3つと、特に密接に関わってきたと言ってもよいでしょう。地域経済論ではまず、上記3つを主な要因とした地域経済の盛衰について、理論と歴史・事例・データを踏まえながら議論を展開します。次いで、今後に予想される地域経済の状況と課題について、いくつかの地域類型ごとに議論します。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
311	春	経済	経済政策論A	酒井邦雄	火	3	10

【副題】 民主主義社会における経済政策

【講義内容】

政府は国民が安心して快適な生活を送れるように様々な経済政策を行う。市場は資源配分に関し、効率的であるので、多くの財・サービスの配分は市場で行われる。市場で効率的に配分できない、財・サービスもあり、市場の失敗と言われる。このようなとき、政府は規制や市場ができるだけ効率的に働くように手助けをする。このような政府の行動が経済政策である。民主主義社会では政府は国民の意見を反映した経済政策を行う。春学期では、民主主義社会の諸問題、市場の失敗、政府の政策を説明する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
312	秋	経済	経済政策論B	酒井邦雄	火	3	10

【副題】 具体例で考える日本の経済政策

【講義内容】

秋学期では、現在日本で行われている経済政策に関して、具体例で理論と政策を説明する。現在、世界は不安定化し、混乱している。経済に関しても、従来の理論で説明できない問題も生じている。これらの問題も取り上げる。非正規問題、少子・高齢化問題、年金問題、TPPの問題等緊急に解決すべき問題がある。これらの問題もできるだけわかりやすく、補足資料を用いて説明する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
313	春	経済	経済学特講Ⅱ	関根佳恵	火	3	20

【副題】 現代の食とアグリビジネス

【講義内容】

グローバル化時代のキー・アクターであるアグリビジネス(農業関連産業)の事業展開により、既存の農業・食料市場の構造はどのように変化しているのだろうか。また、私たちの日々の食生活にどのような影響を与えているのだろうか。そして、そこにはどのような問題が生起していて、どのような解決方向が模索されているのか。本講義では、これらの問題について学び、理解を深めるとともに、当該分野における問題意識を高めることを目的とする。受講生は、農業経済学AおよびBを受講していることが望ましい。 ※授業レベル:初級

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
314	春	経済	農業経済学A	関根佳恵	火	2	20
【副題】 グローバル化時代の食料・農業・農村問題							
【講義内容】 現代社会における農業は食料の生産のみでなく、環境保全、農村地域の振興、持続的な国土開発等における多面的機能の発揮が期待されている。しかし、グローバル資本主義の下で、食料安全保障、環境保全、エネルギー問題、都市と農村の乖離、過疎化等、農業を取り巻く課題は山積している。本講義では、受講生が、複雑に重なり合う現代の食料・農業・農村問題の現状を理解するとともに、日本および世界で展開されている食料・農業・農村政策を批判的に検討する力を身につけることを目的とする。 ※授業レベル:初級							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
315	秋	経済	農業経済学B	関根佳恵	火	2	20
【副題】 グローバル化時代の食料・農業・農村問題							
【講義内容】 現代社会における農業は、農産物の生産のみではなく、その流通や加工、販売、技術開発、金融にいたるまで、関連産業を含めるとたいへん裾野の広い産業である。本講義では農業経済学Aで得た基礎知識をもとに、受講生が、農業の生産構造と生産要素、経営形態、農産物流通や食品産業、食品安全、農業金融等をめぐる諸課題について理解するとともに、関連政策を批判的に検討する力を身につけることを目的とする。受講に当たっては、農業経済学Aを受講していることが望ましい。 ※授業レベル:初級							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
316	春	経済	経済学史A	田中秀夫	水	2	10
【副題】 アダム・スミスはなぜ経済学者となったのか							
【講義内容】 1723年にスコットランドに生まれたアダム・スミスはグラスゴウ大学で道徳哲学をはじめとする当時の最新の学問を学んでからオックスフォード大学に留学し、1752年には母校グラスゴウ大学の道徳哲学教授となった。1759年には『道徳感情論』を出版した。その後、スミスは1764年には大学を辞め、フランスに旅立ち、郷里に戻って『国富論』を書いた。それはなぜか。そして『国富論』は近代社会の原理を解明し、母国の現状を鋭く批判する書物となった。それはなぜか。講義では『国富論』の新解釈を紹介する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
317	秋	経済	経済学史B	田中秀夫	水	2	10
【副題】 15人の経済学者とともに経済学を考える							
【講義内容】 15回の講義に合わせて15人の経済学者(広義の)を取り上げる。縦割りの通説史はとらない。それぞれの経済学者がどのような時代背景のもとに、どのような問題意識で、どのような理論を編み出したのかについて、いわゆる文脈主義的に分析する。15人はペティー、ロック、モンテスキュー、チュルゴー、リカード、マルサス、ミル、リスト、マルクス、マーシャル、ウェーバー、ヴェブレン、ケインズ、ロビンズ、ハイエクを予定している。経済学の多様性、多元性、豊饒性を浮かび上がらせたい。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
318	春	経済	生命保険論	田畑康人	火	2	5
【副題】 消費者側から見る生命保険							
【講義内容】 「生命保険(life insurance)」は世界中にあります。日本の生命保険は日本独特の考え方があり、それがいい面にも悪い面にもつながります。生命保険の基本的特徴を理解し、契約締結から終了までを消費者としてどのようにすればよいか講義していきます。また、企業の従業員保障としての生命保険・年金の問題についても言及し、21世紀の保険消費者のあり方を理解してほしいと思います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
319	秋	経済	損害保険論	田畑康人	火	2	5
【副題】 消費者側から見る損害保険							
【講義内容】 「損害保険」ということばはぴったりの英語がないという意味で日本独特ですが、その基本的な考え方は世界に通じます。損害保険の基本的特徴を理解した上で、私たち一般消費者に身近な火災保険や地震保険、火災と損害賠償そして最後に自動車保険について説明していきます。最後の部分では特に交通事故と損害賠償責任について深く理解してほしいと思います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
320	春	経済	保険論A	田畑康人	月	2	5
【副題】 現代社会におけるリスクと保険							
【講義内容】 保険はリスク対策の1つとして生成・発展してきました。しかし日本人は危険認識も曖昧で、保険に関する十分な知識もないのが実情です。ここでは「リスクや危険とは何か」を探り、それに対してどのように対処していくかを考えていきます。各種の保険や保険の仕組みについてもできるだけ取り上げ、一般消費者としてもどのように保険と付き合うか、理解できるようにしたいと思います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
321	秋	経済	保険論B	田畑康人	月	2	5
【副題】 保険の限界と21世紀の保険政策							
【講義内容】 保険論Aで身につけた基礎的知識を前提に、現代保険および保険の経営形態や国家による保険政策に焦点を合わせていきます。リスク対策としての保険の限界(地震保険など)を理解した上で、保険企業の破綻や消費者保護の問題など、幅広く検討していきます。そして20世紀末までの国家による保険政策と21世紀の政策を比較し、保険企業の倒産や保険金の不払い問題、保険料の取り過ぎ問題などについても言及します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
322	春	経済	社会政策論A	玉井金五	水	3	5
【副題】 現代日本の雇用保障							
【講義内容】 「現代日本の雇用保障」をテーマにします。現在注目されつつある高齢者雇用、女性雇用、障害者雇用などを中心として、これまでの取り組み、現状と問題点、今後の対策という形で論じていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
323	秋	経済	社会政策論B	玉井金五	水	3	5
【副題】 現代日本の生活保障							
【講義内容】 「現代日本の生活保障」をテーマにします。日々の労働と生活は、すべての人にとって基本となるものですが、日常的には多くの労働問題、生活問題が生起しています。最低賃金制度、外国人労働者、日雇・ホームレスなどに焦点を当てて論じていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
324	春	経済	現代経済学A	多和田眞	火	4	10
【副題】 ミクロ経済学の基礎							
【講義内容】 経済理論の二本柱の一つであるミクロ経済学の基礎的な内容を説明する。主な内容は需要と供給、消費者の行動、企業の行動、市場の均衡、ゲームの理論である。理論的な説明であるので、中学生レベルの連立方程式や数学的なグラフを使用する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
325	秋	経済	現代経済学B	多和田眞	火	4	10
【副題】 マクロ経済学の基礎							
【講義内容】 経済理論の二本柱の一つであるマクロ経済学の基礎的な内容を説明する。主な内容は国民総生産、財市場の均衡、貨幣市場の均衡、財政政策と金融政策である。これらの内容を日本経済の現状と関連付けて説明していく。理論的な説明であるので、中学生レベルの連立方程式や数学的なグラフを使用する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
326	春	経済	国際経済学A	多和田眞	火	3	10
【副題】 国際貿易論の基礎							
【講義内容】 国際貿易の理論と現状について説明する。はじめにリカードの比較優位論によって貿易がなぜ生じるのか、貿易はどの国がどの財を輸出するのか、貿易によって経済は豊かになるかといった問題を考える。これを基本として現代の貿易の特徴について論じ、最後に現代の国際貿易体制と戦後日本の貿易の歩みを説明する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
327	秋	経済	国際経済学B	多和田眞	火	3	10
【副題】 国際マクロ経済学の基礎							
【講義内容】 国際収支の基本と為替の決定について初めに学び、そのあと、国際貿易や国際的な金融取引のある場合のマクロ経済理論を説明する。そしてそのような経済での財政政策や金融政策について説明する。最後に現代の国際通貨制度とアジア通貨危機やリーマン・ショックに見られるような国際的な金融危機の問題や近年の日本の国際的な金融取引について説明する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
328	春	経済	経済学特講VI	中山厚	木	5	10
【副題】 金融を通じて日本経済を診断する							
【講義内容】 いかなる経済主体にあっても金融と無縁であることはできない。本講義では金融にかかる学説や理論を理解することよりも、実際に世の中で生じている現象、問題を分析し、その原因と対策を考察する。 講師が金融監督当局において携わったブルーデンス政策(健全性確保)を中心に、政府、企業、家計の取るべき行動を検討することを通じFinancial literacyを養成することを目標とする。 金融にかかる諸問題、金融危機、貸し渋り、不良債権問題等に興味のある者、国、自治体、企業等で財務関係に従事する者にも金融良識として有用な講義としたい。予定テキスト 岩田規久男「テキストブック金融入門」又は「金融」東洋経済新報社							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
329	秋	経済	経済学特講VII	中山厚	木	5	10
【副題】 財政を通じ日本経済を診断する							
【講義内容】 本講義では我が国経済の最大のリスクである国家財政について、現状を認識し、原因を分析し、対策を検討する。我が国の財政状況は先進国中最悪であり、将来に巨大な負担を先送りするとともに、その持続可能性が危惧されている。我が国財政の問題点を単に財政制度とその運用に求めるのではなく、国の在り方から公的資源配分の将来像を検証していく。講師が長年財務官僚として携わってきた国の「財政」を題材に、実証的なデータを基に問題点を把握し、解決策を探る総合戦略的な構想力を養成することを目標とする。予定テキスト 湯本雅士 日本の財政はどうなっているのか 岩波書店							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
332	春	経済	労働経済学A	野村友和	木	3	10
【副題】 労働経済学の基礎理論							
【講義内容】 本講義は、雇用や賃金などの労働に関する諸問題を、主にミクロ経済学の理論に基づいて分析し、さまざまな政策の意図や効果を理解することを目的とする。まず分析ツールとなるミクロ経済学の基礎理論を復習し、家計による労働供給の決定、企業による労働需要の決定、労働市場の機能など、労働経済学の基礎を学ぶ。その後、最低賃金や解雇規制、高齢者継続雇用の義務化などの労働政策にどのような意図や効果があるのか、またそれらの政策にどのような限界があるのかを議論する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
333	秋	経済	労働経済学B	野村友和	木	3	10
【副題】 日本の労働市場に関する実証分析							
【講義内容】 本講義は、労働経済学の基礎理論を前提に、少子高齢化、就職氷河期、非正規労働、男女間や学歴間の賃金格差、ワーク・ライフ・バランスなど、日本の労働市場の諸問題について、統計データを用いた実証分析と政策評価を行うことを目的とする。まず分析ツールとなる記述統計分析や回帰分析といった政策評価のための統計分析の基礎を講義する。その後、実習形式で、就業構造基本統計調査、労働力調査、賃金構造基本統計調査など、労働に関する統計データを入手し、いくつかのテーマを選んで実証分析を行う。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
334	秋	経済	一般経済史B	二谷智子	月	4	10
【副題】 世界経済の歴史							
【講義内容】 経済史の基礎知識を学び、現代の世界経済の状況を歴史的視角から考察します。その場合、近年のアジア地域の経済成長を念頭におき、ヨーロッパとアジアとの比較の視点を持ちつつ、西アジア・南アジア・東南アジアなどアジアの諸地域からみた世界経済の歴史を学びます。教科書は、金井雄一・中西聡・福沢直樹編『世界経済の歴史』名古屋大学出版会、2010年を使用します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
335	春	経済	日本経済史A	二谷智子	金	3	10
【副題】 前近代の日本経済史							
【講義内容】 経済史の基礎知識を学び、現代の日本経済の状況を歴史的視角から考察することにより、自分なりの歴史観を身につけることを目標にします。本講義では、古代から19世紀までの日本経済の変容を、主に対外関係、経済政策、生産・流通構造、生活環境の視点から学んでいきます。教科書は中西聡編『日本経済の歴史』名古屋大学出版会、2013年を使います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
336	秋	経済	日本経済史B	二谷智子	金	3	10
【副題】 近現代の日本経済史							
【講義内容】 経済史の基礎知識を学び、現代の日本経済の状況を歴史的視点から考察することにより、自分なりの歴史観を身につけることを目標とする。本講義では20世紀の日本経済の変容を、主に対外関係、経済政策、生産流通構造、生活環境の視点から学んでいきます。教科書は、中西聡編『日本経済の歴史』名古屋大学出版会、2013年を使います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
337	春	経済	国際貿易論A	細川潔			10
【副題】							
【講義内容】 未定							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
338	秋	経済	国際貿易論B	細川潔			10
【副題】							
【講義内容】 未定							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
339	秋	経済	ファイナンス論	水野伸昭	木	3	5
【副題】 ファイナンス理論の基礎を学ぶ							
【講義内容】 ファイナンスとは、資本市場における資産価値の決定、企業における資金調達、投資家による資産運用など、資金の流れに伴う幅広い領域を対象とします。その内容は、資産の運用サイドからみた投資理論(インベストメント)と調達サイドからみた企業財務論(コーポレート・ファイナンス)の二つに大別されます。この講義では、これら2つの分野に関して基礎を学びます。なお、この講義は「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」、「金融論」の知識があることを前提とします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
340	春	経済	国際金融論A	水野伸昭	金	3	5
【副題】 国際金融の基礎を学ぶ1							
【講義内容】 この講義は、国際金融の基礎である、国際収支や外国為替の仕組みなどを体系的に理解できるようになることを目標とします。現実には起こっている国際金融の複雑な問題を正しく理解するには、関連する理論のほか諸制度の枠組みに関する知識を身に付けることが必要です。この講義では、国際金融に関する基礎的な用語や理論を中心に学ぶとともに、適宜、時事的な問題についても議論します。なお、この講義は「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」、「金融論」の知識があることを前提とします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
341	秋	経済	国際金融論B	水野伸昭	金	3	5
【副題】 国際金融の基礎を学ぶ2							
【講義内容】 この講義は、国際金融論Aで学んだ知識をもとに、世界で現実には起こっている国際金融の問題を体系的に理解できるようになることを目標とします。現実には起こっている国際金融の複雑な問題を正しく理解するには、関連する理論のほか諸制度の枠組みに関する知識を身に付けることが必要です。この講義では、国際金融に関する基礎理論や制度を中心に学ぶとともに、適宜、時事的な問題についても議論します。なお、この講義は「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」、「金融論」、「国際金融論A」の知識があることを前提とします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
342	秋	経済	マクロ経済学	宮原正人	火	3	2
【副題】 日本経済全体を理解するためのマクロ経済学							
【講義内容】 マクロ経済学を日本経済の具体的事例を使いながらステップ・バイ・ステップ方式でわかり易く解説。一国の経済はつねに流れています。家計・企業・政府などは相互に依存し、影響しあっています。一見するとその関係は非常に複雑に絡み合っているようにみえます。ところが、GDP、公共事業、外国為替等のいくつかのキーワードの中身を理解するとその糸はほぐれてくるはずで、ここでは、わかり易いグラフとおもに日本経済の実例を使いながらステップ・バイ・ステップ方式で講義を進めていきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
343	春	経済	マクロ経済学Ⅲ	宮原正人	木	3	2
【副題】 マクロ経済学の全体像を掴むために…							
【講義内容】 閉鎖体系のもとでの財市場の均衡(45°線分析)と貨幣市場の均衡を考慮してIS=LM分析を、さらに労働市場の均衡を加えて、AD=AS分析を学習してきた学生を対象としている。「マクロ経済学Ⅲ」では、それらを発展させて、開放体系下のオープンマクロ経済学として、IS=LM=BPモデルの基礎的な考え方を、さらに短期理論として発展してきたケインズモデルの長期化した分野として始まった経済成長論を学習する。その際には、新古典派理論にも言及する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
344	春	経済学	経済統計学A	宮原正人	火	4	2
【副題】 平均・分散を理解する							
【講義内容】 統計学の基本を学習します。分布の中心の尺度である平均、散らばりの尺度である分散、標準偏差等に関して、本質的な考え方を繰り返して学ぶことからスタートします。コンピュータソフトEXCELを使用しますので、エクセルをある程度自在に他人に頼らずに、操作できること、また若干の数学的知識(Σの計算ができること等)を具有することが受講の最低条件です。春学期のこの科目では相関係数とその検定までは学習する予定です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
345	秋	経済学	経済統計学B	宮原正人	火	4	2
【副題】 回帰分析の初歩と応用							
【講義内容】 春学期の経済統計学Aをスタート台といたしますので、そこまでのレベルにあることを前提に受講してください。ここでは、回帰分析を主要テーマにして講義を進めていきます。T検定や、p値の考え方を学びます。また、その他の有用な検定に関してもいくつかを取りあげて学習する予定です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
346	春	経済	日本経済論A	三好向洋	月	5	5
【副題】 日本の財政・社会保障・労働							
【講義内容】 この授業では、先進国の中でも最も早く進む少子高齢化が日本経済に与える影響、特に財政・社会保障と労働問題にどのような影響があるのかについて考察する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
347	秋	経済	日本経済論B	三好向洋	月	5	5
【副題】 国際経済と日本							
【講義内容】 この授業では、近年貿易赤字国になった日本の経済について、特に国際経済とのかかわりに重点を置いて解説する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
348	春	経済	環境経済学A	吉田文和	金	2	20
【副題】「戦後日本の環境・公害問題」							
【講義内容】 なぜ、環境破壊や公害汚染問題がおきるのか。日本の代表的な公害問題、水俣病、イタイイタイ病、四日市大気汚染などの事例に即して検討し、その教訓を明らかにして、福島原発事故以降の日本の実態に生かす道を探る。テキストは吉田文和『環境経済学講義』(岩波書店)を使用する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
349	秋	経済	環境経済学B	吉田文和	金	2	20
【副題】「地球温暖化とエネルギーの経済学」							
【講義内容】 異常気象などを引き起こしながら進行しつつある地球温暖化の現状と、今後の展望について検討し、さらに再生可能エネルギーを省エネの可能性について明らかにする。日本のみならず、欧米・アジアの比較も行う。テキストは吉田文和『環境経済学講義』(岩波書店)を使用する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
350	秋	経済	経済学特講Ⅲ	吉田文和	金	3	20
【副題】「原子力と再生可能エネルギーの展望」							
【講義内容】 原子力の今後と再生可能エネルギーの展望について、日本とドイツなどを比較しながら、福島原発事故以降の展開に則して、検討する。テキストは、吉田文和『ドイツの挑戦』(日本評論社)を使用する。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
351	春	経済	財政学A	吉田雅彦	金	3	5
【副題】日本の財政制度							
【講義内容】 財政学の基本は、政府の歳入と歳出構造をみることです。政府は、財政を通じて民間経済に深く関与しており、そのウェイトは小さくありません。本講義では、予算制度、歳出構造、および歳入構造(租税制度)を中心に解説します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
352	秋	経済	財政学B	吉田雅彦	金	3	5
【副題】 日本の財政問題							
【講義内容】 現代の日本の財政問題としては、財政赤字、社会保障財政、および地方分権化があげられます。財政赤字の要因やその経済的影響、高齢化社会における社会保障財政の持続性、国と地方との間における新たな財政的関係について解説します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
353	春	経済	地方財政論A	吉田雅彦	木	2	5
【副題】 地方財政の仕組みと動向							
【講義内容】 地方財政とは地方公共団体が予算を通じて行う経済活動で、国家財政とともに車の両輪をなしています。本講義では、第一に、地方財政の制度的な仕組みとその財政的規模を見ます。第二に、現在直面している課題として、地方分権の推進、介護保険の導入で注目される地域福祉財政を解説します。第三に、歳出・歳入構造より、地方財政が健全であるかどうかを見る財政指標を解説します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
354	秋	経済	地方財政論B	吉田雅彦	木	2	5
【副題】 地方税と国と地方の財政調整問題							
【講義内容】 地方は独自の地方税収では歳出を賄うことができず、地方債の発行や、国からの地方交付税および国庫支出金などの交付に依存しています。本講義では、第一に、地方税原則と地方税体系を見ます。第二に、地方の債務である地方債の意義や現状を見ます。第三に、国と地方の財政調整を見ることによって、地方分権と地方の自立を検討します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
355	春	経済	計量経済学A	渡邊隆俊	木	2	3
【副題】 「計量経済学の基礎を学ぼう－Excelによる記述統計と最小二乗法－」							
【講義内容】 計量経済学は、経済理論や数学を用いて経済モデルを構築し、現実に観測された経済データを用いて統計的にモデルを推定、検定し、シミュレーションを行う学問です。春学期の講義では、Excelを使ってデータの加工やモデルの推定などを行います。これらの学習を通じて、記述統計、最小二乗法の基礎を修得してもらいます。予定テキスト：白砂堤津耶(2007)『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学 第2版』日本評論社。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
356	秋	経済	計量経済学B	渡邊隆俊	木	2	3
【副題】「計量経済学の基礎を学ぼう－Excelによる重回帰モデルと検定－」							
【講義内容】 計量経済学の枠組みで、より複雑な経済モデルを構築し、シミュレーションを行います。なお、「計量経済学A」を履修した方を対象として講義を進めますが、この講義からの受講も歓迎します。これらの学習を通じて、最小二乗法、重回帰モデル、回帰モデルの検定等の基礎を修得してもらいます。予定テキスト：白砂堤津耶(2007)『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学 第2版』日本評論社。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
357	秋	経済	欧米経済論	未定	火	2	10
【副題】							
【講義内容】 未定							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
358	春	経済	金融システム論	未定	水	3	3
【副題】							
【講義内容】 未定							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
359	秋	経済	金融政策論	未定	水	3	3
【副題】							
【講義内容】 未定							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
360	春	経済	金融論A	未定	水	4	3
【副題】							
【講義内容】 未定							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
361	秋	経済	金融論B	未定	水	4	3
【副題】							
【講義内容】 未定							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
362	春	経済	経済学特講 I	未定	金	4	10
【副題】							
【講義内容】 未定							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
363	春	経済	社会保障論	未定			5
【副題】							
【講義内容】 未定							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
364	春	経済	中部経済論	未定	金	4	10
【副題】							
【講義内容】 未定							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
365	春	経営	小売経営論A	青木均	火	1	5
【副題】 小売業者の社会的役割							
【講義内容】 私たちに最も身近な産業である小売業の経営問題を扱う講義です。小売業者が社会で果たしている役割について解説していきます。小売業者の種類、小売業者の存立根拠、小売業者の生産者に対する役割、小売業者の消費者に対する役割、小売業者の街づくりへの貢献などを扱います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
366	秋	経営	小売経営論B	青木均	火	1	5
【副題】 小売マーケティング戦略							
【講義内容】 小売業者のマーケティング戦略について解説していきます。マーケティング戦略は売れるための仕組みづくりとも言われています。ターゲット設定、消費者の購買行動、店舗開発、仕入れ・品揃え、価格決定、プロモーションなどを扱います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
367	春	経営	金融論	荒井耕一郎	金	2	5
【副題】 わが国の金融市場と金融機関の特徴と今後の動向							
【講義内容】 本講義では、①わが国の金融機関の特徴、②わが国の高度成長を支えた金融システムの特徴、③金融の根幹を成す決済の原理と決済システムの特徴、④わが国の証券市場の概観などを講義しながら、金融のグローバル化の進展という大きな環境変化のもとで、競争力の再構築を迫られているわが国の金融市場や金融機関について考えていきます。また講義期間中に少なくとも2回出題する課題に回答していただきます。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
368	秋	経営	国際金融論	荒井耕一郎	金	2	5

【副題】 世界経済を理解する視点を養う

【講義内容】

本講義では、①外国為替市場の概観と為替ヘッジの基本的な仕組み、②1997年7月に起きたアジア通貨危機の原因と東アジア地域連帯に向けた動き、③欧州単一通貨ユーロ導入の歴史、④統合と分断の試練に揺れる欧州の今後の動向、⑤2008年9月のリーマン・ショックに起因する世界金融危機の原因と特徴、⑥中国人民元の最近の動向などについて考えて行きます。また講義期間中に少なくとも2回出題する課題に回答していただきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
369	春	経営	生産管理論Ⅰ	岩田憲明	月	3	3

【副題】 生産技術の発展

【講義内容】

産業革命以後のモノづくりの技術の歴史について述べる。最近の技術である3Dプリンター、ヒト型ロボット、AI、IoTについて説明する。設備投資の経済計算、損益分岐点分析についても説明する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
370	秋	経営	生産管理論Ⅱ	岩田憲明	月	3	3

【副題】 トヨタ生産システム

【講義内容】

生産管理は工場長の仕事。良いモノを安く時間通りに造って納めるのが工場長の仕事。そのための管理技術の歴史を授業で説明する。TQC/QCサークル、トヨタ生産システム/かんばん方式、セル生産システム/一人屋台生産方式について述べる。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
371	春	経営	企画論	鵜飼宏成	金	5	5

【副題】 未来デザイン考程を使い「何を成すべきか？」を見つけだそう！

【講義内容】

新しいことを始める際に欠かせない企画書。人に説明するときだけでなく、自分の考えをまとめる際にも非常に有効です。でも、意外とどのように考えたらいいのか、自分だけのアイデアってどのように創り出すのかで悩んでいる人を多く知っています。この講座は、「何を成すべきか？」に悩んでいる人のために存在しています。単なる問題解決手法ではなく、これからの未来をデザインする方法を用意いたしました。是非、トライアルしてみてください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
372	秋	経営	事業計画論	鵜飼宏成	金	5	5

【副題】「自分のアイデア」をテストマーケティングで検証し、意味あるビジネスプランを作成しよう！

【講義内容】

自分のアイデアは、どのくらい人に受け入れられるのだろうか？自分のアイデアに対し、人は何円支払ってくれるのだろうか？こんな疑問をお持ちの方、是非、この講義を受講してみてください。ご自身の商品や事業アイデアを使いながら、アイデア検証ステップ、テストマーケティング方法、事業計画書の作成方法などを実習形式で学んでいきます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
373	春	経営	財務会計論A	佐藤倫正	金	3	10

【副題】 21世紀の財務会計：現代会計の論点

【講義内容】

2000年の会計ビッグバンは日本の会計に「連結」「時価」「キャッシュフロー」を持ち込みました。その後、IASBによる会計基準の国際統一が進展し、財務会計をめぐる環境が大きく変化しています。その過程で「新会計モデル」と呼ばれる新しい会計が姿を現わしつつあります。会計の歴史的発展をふまえながら、資本主義経済が変容していく中で会計が果たす役割について考えます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
374	秋	経営	財務会計論B	佐藤倫正	金	3	10

【副題】 21世紀の財務会計：現代会計の大転換

【講義内容】

2008年の米国のリーマン・ショック以降、資本主義の形が株主重視からステークホルダー重視に転換する動きも出てきました。今、IASBによる新しい会計の概念フレームワークが姿を現そうとしています。この講義では、そのような会計を「現代会計」ととらえ、その企業主体論とキャッシュフロー会計を取り上げて、非営利法人会計をも対象に含めながら、会計が促す新しい資本主義の可能性を考えます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
375	秋	経営	サービスマネジメント	田尾雅夫	金	5	10

【副題】 高齢社会をどのようにマネジメントするか

【講義内容】

超高齢社会が到来する。その社会をどのように設計するか、その社会のためにどのような資源を、どのように確保するのか、経営学として応えなければならない。講義としては、まずサービスとは何かを述べ、とくにヒューマン・サービス(医療や看護、介護など)について講義を行い、それが、今後、なぜ、どのように不足に至るかを述べて、それへの対策を経営学の視点から論じる。経営学では、資源の適切な活用が議論されるが、サービスマネジメントでは、それを担う人たち=サービスワーカーの意欲や適性が問題となる。ヒトという資源にとくに注目したい。

それらの議論に踏まえて、介護サービスの担い手としてのホームヘルパーという職業に焦点を当て、在宅介護の仕組みや問題点を事例に踏まえて議論したい。聴講する人たちのなかには、体の不自由な高齢者(おじいさんやおばあさん)と同居している場合も多いと思う。また開放講座で聴講している人のなかには、実際、苦勞している人もいるかもしれない、その人たちの介護を経営学(あるいは組織論)の観点から論じたい。また、制度的な問題にも言及するので、地方公務員などの職種に関心があれば、聴講を薦めたい。

テキストは別途指定する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
376	春	経営	公共経営論	田尾雅夫	金	5	10

【副題】 公共サービスの経営学

【講義内容】

公共サービス、または行政サービスといわれているものについて論じる。とくにサービスの提供過程と、それに発給主体である基礎自治体(市町村)の仕組みについて、経営学の立場から基礎的な知識を提供したい。主な内容としては、公共性とは何か、ガバナンスの本来の意味、基礎自治体の役割、首長の位置づけと議会との関係、行財政改革の経過と行方、市民活動や市民参加の意義、アカウントビリティ、行政評価の限界などについて述べる。テキストとして用いる「公共経営論」(木鐸社)のなかに詳細な記述があるが、それをできる限り分かりやすく説明したいと考える。

開放講座としては、基礎自治体に関係した仕事をしている人たち、あるいは、これから関係しよう(たとえば就職)としている人たちに向けて、参考になるような知識を講じたい。近くの自治体の職員で、この時間だけでも来聴できるようであれば、意見交換も含めて大いに歓迎したい。またボランティアやNPOなどの市民活動で、外部からそれに関わっている人たち(春学期でのNPO経営論の聴講生も含めて)にも、基礎自治体の成り立ちがどのようなものであるかが理解できれば、いっそう活動しやすくなるのではないかと考える。

なお、講義は、前述のテキストの目次に沿って行いが、学生の理解に合わせて、確認テストなどを行うが、その場合は事前に伝えるので欠席されてもよい。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
377	春	経営	国際経営論 I	丹下博文	金	3	10

【副題】 国際経営に関する体系的な基礎理論の習得

【講義内容】

21世紀になり企業経営に関する国際化またはグローバル化の新しい時代が到来した。例えば企業経営に関しては少子高齢化による国内市場の縮小傾向を反映し、従来の輸出型企業だけでなく内需型と呼ばれる企業までが国際事業展開を指向するようになってきた。さらに中堅企業や中小企業も国際化を余儀なくされているのが実態であろう。このような潮流を背景に、本講座では国際経営に関する体系的な基礎理論の習得を目標とする。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
378	秋	経営	国際経営論Ⅱ	丹下博文	金	3	10

【副題】 激変する国際情勢下における国際経営の課題

【講義内容】

21世紀になり経済のグローバル化を背景に国際情勢が激変している。それは地球環境問題の深刻化、日中間における政治的緊張の高まり、アジア市場の急拡大、新興国の台頭などをみても明白であろう。このような新しい国際環境のもとで日本企業は国際化やグローバル化を推進しなければ、もはや存続・発展が不可能な時代が訪れたと言って過言ではない。そこで本講義では、激変する国際情勢下における国際経営の課題を検討する。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
379	春	経営	管理会計論A	中澤優介	水	1	5

【副題】 伝統的管理会計の知識・手法を学ぶ

【講義内容】

管理会計論(AおよびB)では、管理会計に関する包括的な知識の獲得を目的とします。管理会計論Aでは、管理会計の基礎的な手法や考え方について学習します。＜受講上の注意＞秋学期開講の管理会計論Bと併せて受講することで、管理会計の知識を包括的に学習できます。授業は、アルバイト以外の実務経験がない学生を主たる対象として進めるため、講義内容は企業の管理会計の仕組みの初歩的な部分になります。この点について、受講の際には注意してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
380	秋	経営	管理会計論B	中澤優介	水	1	5

【副題】 近年の管理会計のトピックとその手法について学ぶ

【講義内容】

管理会計論(AおよびB)では、管理会計に関する包括的な知識の獲得を目的とします。管理会計論Bでは、主として戦略管理会計という仕組みのもと、近年登場もしくは注目されている管理会計手法を学習します。＜受講上の注意＞春学期開講の管理会計論Aと併せて受講することで、管理会計の知識を包括的に学習できます。授業は、アルバイト以外の実務経験がない学生を主たる対象として進めるため、講義内容は企業の管理会計の仕組みの初歩的な部分になります。この点について、受講の際には注意してください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
381	春	経営	原価会計論A	中澤優介	月	1	5

【副題】 原価計算の基礎および実際原価計算を学ぶ

【講義内容】

原価会計論(AおよびB)では、原価の概念および計算方法について、包括的な知識の獲得を目的とします。原価会計論Aでは主に、実際原価計算の手法について学習します。＜受講上の注意＞秋学期開講の原価会計論Bと併せて受講することで、原価計算の知識を包括的に学習できます。日商簿記検定2級(工業簿記)を受験する学生を主な対象としているので、日商簿記検定3級程度の知識を前提とします。受講の際は電卓を毎回持参するようにしてください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
382	秋	経営	原価会計論B	中澤優介	月	1	5

【副題】 コストマネジメントのための原価計算を学ぶ

【講義内容】

原価会計論(AおよびB)では、原価の概念および計算方法について、包括的な知識の獲得を目的とします。原価会計論Bでは、コストマネジメントのための原価計算の具体的な手法について学習します。＜受講上の注意＞春学期開講の原価会計論Aと併せて受講することで、原価計算の知識を包括的に学習できます。日商簿記検定2級(工業簿記)を受験する学生を主な対象としているので、日商簿記検定3級程度の知識を前提とします。受講の際は電卓を毎回持参するようにしてください。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
383	秋	経営	財務諸表分析	松田修	金	2	10

【副題】 財務諸表を利用した企業特性の分析

【講義内容】

本講義では、簿記、会计学等の会計関連科目で学んだ知識を応用し、実際の企業経営の良し悪しを分析する際に有用となる実践的知識の修得をねらいとしています。具体的には、投資者や債権者といった企業の外部者の視点から、公表財務諸表に基づいて、企業の収益性、安全性、成長性などといった経営特性を分析する方法、および企業価値を評価する方法の修得を目標としています。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
384	春	経営	財務会計論A	松田修	金	4	10

【副題】 財務諸表作成の原理と方法

【講義内容】

財務会計論では、財務諸表の作成にかかわるルールとその背景にある会計理論について学びます。財務会計論Aでは財務諸表作成全般にかかわるルールを中心に主要な論点について取り上げます。そして講義の受講を通じて、財務諸表を作成、あるいは読解するための会計力を養成することを目標とします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
385	秋	経営	財務会計論B	松田修	金	4	10

【副題】 財務諸表作成の原理と方法

【講義内容】

財務会計論では、財務諸表の作成にかかわるルールとその背景にある会計理論について学びます。財務会計論Bでは、財務会計論Aで学んだ内容を発展させ、財務諸表の作成と読解にかかわる理論をより深く学びます。そして講義の受講を通じて、財務諸表を作成、あるいは読解するための会計力を養成することを目標とします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
386	春	情報処理	データベース I	中野健秀	金	2	3
【副題】 データベース入門							
【講義内容】 データベースというものに初めて触れる初心者を対象とします。講義は、はじめにデータ間の関係、正規化などのデータ分析や、データ定義・操作を行うSQLについて学びます。コンピュータでの演習においては、Accessを使って実際にデータベースを扱い、ビジネスの現場で活用できるようになることを目標とします。情報処理の演習科目としてのレベルは初級程度です。※ パソコンによる実習を行います。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
387	秋	情報処理	データベース II	中野健秀	金	2	3
【副題】 データベース応用							
【講義内容】 情報処理 II Aからの継続として、さらに効率よいデータベースの作成方法、活用方法を学びます。Accessで作成したデータベースをマクロ・VBAを構築することによって、受講者が処理の自動化・ユーザインタフェースの作成を自由自在に扱えるようになることを目標として講義を行います。情報処理の演習科目としてのレベルは中級程度です。※ パソコンによる実習を行います。※ 「データベース I」を受講し内容を理解した人が対象です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
388	春	情報処理	データ分析 I	中野健秀	木	2	3
【副題】 ビジネス実務におけるデータ分析							
【講義内容】 IT化が進んだ今日、企業活動の現場では、様々なデータが溢れています。膨大なデータから価値ある情報を読み取り活用する能力は、全ての企業人にとって必須と言えるでしょう。本講義では、Excelを用いてビジネス実務に沿ったデータ分析を行います。様々な関数を学び応用し、分析結果のグラフ化までを行います。情報処理の演習科目としてのレベルは中級程度です。※ パソコンによる実習を行います。※ エクセルの簡単な操作ができること(数式入力など)を条件といたします。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
389	秋	情報処理	データ分析 II	中野健秀	木	2	3
【副題】 ビジネス実務におけるデータ分析 その2							
【講義内容】 マクロやプログラミング言語「VBA」を活用し、効率よくデータ処理業務を進める技術の習得を目指します。マクロおよびVBAの作成や編集、変数や制御構造、分岐処理などをビジネスデータの使用により実習を行います。情報処理の演習科目としてのレベルは中級程度です。※ パソコンによる実習を行います。※ 「データ分析 I」を受講し内容を理解した人が対象です。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
390	春	情報処理	データ分析 I	中野健秀	木	3	3

【副題】 ビジネス実務におけるデータ分析

【講義内容】

IT化が進んだ今日、企業活動の現場では、様々なデータが溢れています。膨大なデータから価値ある情報を読み取り活用する能力は、全ての企業人にとって必須と言えるでしょう。本講義では、Excelを用いてビジネス実務に沿ったデータ分析を行います。様々な関数を学び応用し、分析結果のグラフ化までを行います。情報処理の演習科目としてのレベルは中級程度です。※ パソコンによる実習を行います。※ エクセルの簡単な操作ができること(数式入力など)を条件といたします。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
391	秋	情報処理	データ分析 II	中野健秀	木	3	3

【副題】 ビジネス実務におけるデータ分析 その2

【講義内容】

マクロやプログラミング言語「VBA」を活用し、効率よくデータ処理業務を進める技術の習得を目指します。マクロおよびVBAの作成や編集、変数や制御構造、分岐処理などをビジネスデータの使用により実習を行います。情報処理の演習科目としてのレベルは中級程度です。※ パソコンによる実習を行います。※ 「データ分析 I」を受講し内容を理解した人が対象です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
392	春	情報処理	情報リテラシーA	法雲俊邑	水	4	5

【副題】 パソコンの基本操作、ワープロ、インターネットの利用

【講義内容】

学生生活をはじめにあって、レポートや論文を書くためだけでなく、インターネットを使って情報を取得したり、携帯電話などのメールとは格段に情報量の違うパソコン経由でのeメールなどができるようになっておくことが、みなさんの生活を豊かにする一助になるのは間違いありません。本講義では、ユーザとしてどのようにコンピュータと接していくと有益かつ便利かを学びます。授業の内容は、まず倫理問題をとりあげ、コンピュータ社会においては、していけないこと、しなければならないことなどについて考えます。続いてタッチタイピングを学習し(したがって、この部分の熟練は各自の努力にかかっています)、文書作成やeメールを利用できるようになっていただきます。そして、インターネットにアクセスし、さまざまな情報を取得する検索方法などを学びます。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
393	秋	情報処理	情報リテラシーB	法雲俊邑	水	4	5
【副題】 Excelによる表計算の基礎、データの分析							
【講義内容】 『情報処理概論A』は、パソコンの基礎的な取り扱い方を学んだのに対して、この『情報処理概論B』は、大学生として今後の学習・研究活動に役立つ、そして多くの先輩たちが社会にでてもっとも役立ったと言っている「表計算ソフト」のExcelの操作方法に習熟していただきます。なお、表計算とはみなさんご存知の集計用紙のようなものですが、手書きの集計用紙では合計や平均などをいちいち電卓やそろばんで計算しなければならなかったのに対して、簡単な操作ですべてを一瞬のうちに計算し、その上グラフなどを描いてくれるとても便利なソフトウェアです。 授業の内容は、Excelへのデータの入力方法、データのコピーなどを学んだあと、グラフを描き、データを分類し、利用し、場合によってはその簡単な分析方法まで学習します。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
394	秋	情報処理	コンピュータシステム論	吉田聡	火	4	5
【副題】 コンピュータのハードウェアとソフトウェア(中級)							
【講義内容】 コンピュータは教育機関・研究機関や企業の現場だけでなく、家庭においても必要不可欠なものとなっています。本講義では、まずコンピュータ内部で扱われる情報表現について学び、さらにコンピュータを構成するハードウェア、システムソフトウェアなどの概要について学びます。この講義は、情報処理技術者試験における出題範囲(「コンピュータシステム」と「コンピュータ科学基礎」)にも対応しています。※ パソコンによる実習はありません。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
395	春	情報処理	プログラミング入門	吉田聡	水	3	5
【副題】 プログラミングを体験しよう							
【講義内容】 社会の様々な分野においてコンピュータは欠かすことのできないものとなっていますが、実際にコンピュータを動作させているのはプログラムです。プログラムを作成するための言語の1つであるJavaは、パソコン以外にもスマートフォンや組込みシステムなどでも多く用いられ、情報化社会の最先端をいくプログラム言語といわれています。本講義では、Javaを用いたプログラミングの基本的な考え方を学びます。※ パソコンによる実習を行います。※ パソコンの基本操作(キーボード操作、インターネットへのアクセス、フォルダやファイルの整理)ができる人を対象としています。							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
396	秋	情報処理	プログラミング I	吉田聡	水	3	5

【副題】 オブジェクト指向プログラミング

【講義内容】

システムを効率的に開発する手法の1つに「オブジェクト指向」があります。「プログラミング入門」で扱ったJavaはオブジェクト指向に対応したプログラミング言語とされています。本講義では、「プログラミング入門」で学んだJavaの基本的な考え方をもとに、Javaが持つ特徴の1つであるオブジェクト指向プログラミングについて学びます。※ パソコンによる実習を行います。※ 「プログラミング入門」を受講し、内容を理解した人が対象です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
397	春	情報処理	プログラミング II	吉田聡	水	2	3

【副題】 プログラミング中級

【講義内容】

プログラミングを行う際には、プログラムの大小にかかわらず「どのような順序で処理をすればよいのか」、「この処理を行うにはどのようなデータが必要か」といった、プログラミングの論理的な思考が必要になります。そのためには、アルゴリズムを理解し、使いこなすための演習が重要になります。本講義では、Javaの文法とプログラムのアルゴリズムについて学び、比較的複雑なプログラムを作成したり、作成済みのプログラムを解析したりするためのテクニックを学びます。※ パソコンによる実習を行います。※ 昨年度までに「プログラミング I」を受講し、内容を理解した人が対象です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
398	秋	情報処理	プログラミング III	吉田聡	水	2	3

【副題】 GUIプログラミング

【講義内容】

これまで、授業ではコマンドライン上で動作するJavaアプリケーションの作成を行ってきました。しかし、最近は多くのコンピュータでグラフィカルユーザーインターフェース(GUI)を用いており、単にプログラムが実行できるだけでなく、プログラムの第一印象(見栄え)も重要となっています。本講義ではJavaを用いたGUIプログラミングの基本的な考え方について学びます。また、グラフィックを活用した簡単なゲームの作成も行う予定です。※ パソコンによる実習を行います。※ 昨年度までに「プログラミング I」を受講し、内容を理解した人が対象です。

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
399	秋	法律	NPO経営論	田尾雅夫	木	3	10
【副題】 NPOの経営管理							
【講義内容】							
<p>超高齢社会が到来する。高齢化がいつそう進行することによって社会的資源がいつそう不足に向かうことになる。行政によるサービスだけではこの社会を支えることができなくなる。私たち自身による自助や共助が欠かせなくなる。そして今すぐにそのプレゼンスが大きくなりつつあるボランティア活動、そしてNPO(非営利組織)やNGO(非政府組織)が、この社会で閉める役割の重要性はいつそう大きくなる。</p> <p>そのNPOの経営管理について、どのように理解すればよいか、どのように経営管理をすればよいかを考える。理論を学習するだけではなく、実際にそのような活動にボランティアとして参加することで体験的に学んでほしいと考える。</p>							

講義番号	学期	ジャンル	科目名	担当者	曜日	時限	人数
400	春	その他	イノベーション論	内藤勲	木	2	5
【副題】 イノベーションとモノ・コト・ことば							
【講義内容】							
<p>ソニーが開発したウォークマンは音楽の楽しみ方を一変させました。携帯電話の普及は待ち合わせの仕方を変えました。このようにイノベーションは社会を変化させます。イノベーションという社会生態学的な変化は、三つの側面から見ることができます。一つはモノの変化です。もう一つはコトの変化です。そして三つ目がことばの変化です。三つの変化からイノベーションという社会変化に迫ります。</p>							